

# 令和6年度活動報告書

(アニュアルレポート)

---

# 目次

|     |                        |    |
|-----|------------------------|----|
| 第1章 | はじめに                   | 1  |
| 第2章 | 水道企業団の概要               | 2  |
| 1   | 事業概要                   | 2  |
| 2   | 沿革                     | 5  |
| 3   | 基本理念・基本方針              | 5  |
| 4   | 広域計画                   | 6  |
| 第3章 | 取組内容（令和6年度・令和7年度上半期まで） | 7  |
| 1   | 上質な水道サービスの提供           | 7  |
| 2   | 施設・維持管理の最適化            | 9  |
| 3   | 組織・管理体制の強化             | 14 |
| 第4章 | 組織/ガバナンス               | 16 |
| 1   | 組織                     | 16 |
| 2   | 議会                     | 16 |
| 3   | 企業長・副企業長               | 18 |
| 4   | 監査委員                   | 18 |
| 5   | 選挙管理委員会                | 19 |
| 第5章 | 財務                     | 21 |

---

## 第1章 はじめに

---

広島県水道広域連合企業団（以下「水道企業団」という。）は、令和4年11月に、広島県、竹原市、三原市、府中市、三次市、庄原市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、熊野町、北広島町、大崎上島町、世羅町及び神石高原町の15団体（以下「構成団体」という。）が設立した特別地方公共団体です。令和5年4月1日に構成団体から水道事業等を承継し、事業運営を開始しました。

現在、水道企業団では、住民の皆様には水道水を供給する水道事業、市町などに水道用水を供給する水道用水供給事業、企業に工業用水を供給する工業用水道事業を経営しており、令和5年1月に策定した「広島県水道広域連合企業団広域計画」（以下「広域計画」という。）に基づき、計画的に事業を運営しています。

「令和6年度活動報告書（アニュアルレポート）」は、住民の皆様には広域計画の取組状況や経営状況を広くお知らせすることを目的に作成しており、

- ・水道企業団の概要や基本理念
- ・令和6年度から7年度上半期（9月30日）までの取組状況
- ・令和6年度の収支状況や経営分析

などについて掲載しています。

水道事業は、人口減少などに伴う給水収益の減少、高度経済成長期に整備した施設の更新費用の増加、経験豊かな職員の退職時期の到来など、現在、様々な課題を抱えています。こうした諸課題に対し、地域の暮らしや産業を支えるライフラインである水道を、将来にわたって維持・発展させ、安定的に水道サービスを提供するためには、経営努力はもとより、住民の皆様には水道企業団を取り巻く現状や課題、今後の方向性などについて御理解いただくことが重要と考えております。本報告書が、水道事業の現状と未来を考える契機となれば幸いです。

水道企業団では、住民の皆様の信頼に応え、将来にわたり安全・安心・良質な水を安定供給できるよう、引き続き取り組んでまいります。

## 第2章 水道企業団の概要

### 1 事業概要

水道企業団では、地域の暮らしと産業を支えるため、水道水を供給する「水道事業」、市町や水道企業団内の事業に水道用水を卸売りする「水道用水供給事業」、企業向けに工業用水を供給する「工業用水道事業」を運営しています。

#### (1) 水道事業

竹原市、三原市、府中市、三次市、庄原市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、熊野町、北広島町、大崎上島町、世羅町及び神石高原町の14市町で水道事業を実施しています。令和6年度は、564千人に対し、1日平均193千 $\text{m}^3$ の水道水を給水しました。

なお、水道事業の会計と料金は、市町ごとに区分して運営しています。

令和7年3月31日現在

| 給水人口  | 給水面積                | 施設    |         | 1日平均給水量<br>(令和6年度) | 月額料金/<br>20 $\text{m}^3$ |
|-------|---------------------|-------|---------|--------------------|--------------------------|
|       |                     | 浄水場   | 管路延長    |                    |                          |
| 564千人 | 1,278 $\text{km}^2$ | 156か所 | 7,066km | 193千 $\text{m}^3$  | 3,036円<br>～ 5,049円       |

#### (2) 水道用水供給事業

広島市、呉市、尾道市、福山市、大竹市、海田町、愛媛県今治市及び上島町の8市町と、水道企業団内の7事業（竹原、三原、東広島、廿日市、江田島、熊野、大崎上島）に対し、水道用水を卸売りしています。令和6年度は、1日平均212千 $\text{m}^3$ の水道用水を供給しました。

令和7年3月31日現在

| 給水先           | 施設  |       | 1日平均給水量<br>(令和6年度) |
|---------------|-----|-------|--------------------|
|               | 浄水場 | 管路延長  |                    |
| 8市町、水道企業団内7事業 | 7か所 | 363km | 212千 $\text{m}^3$  |

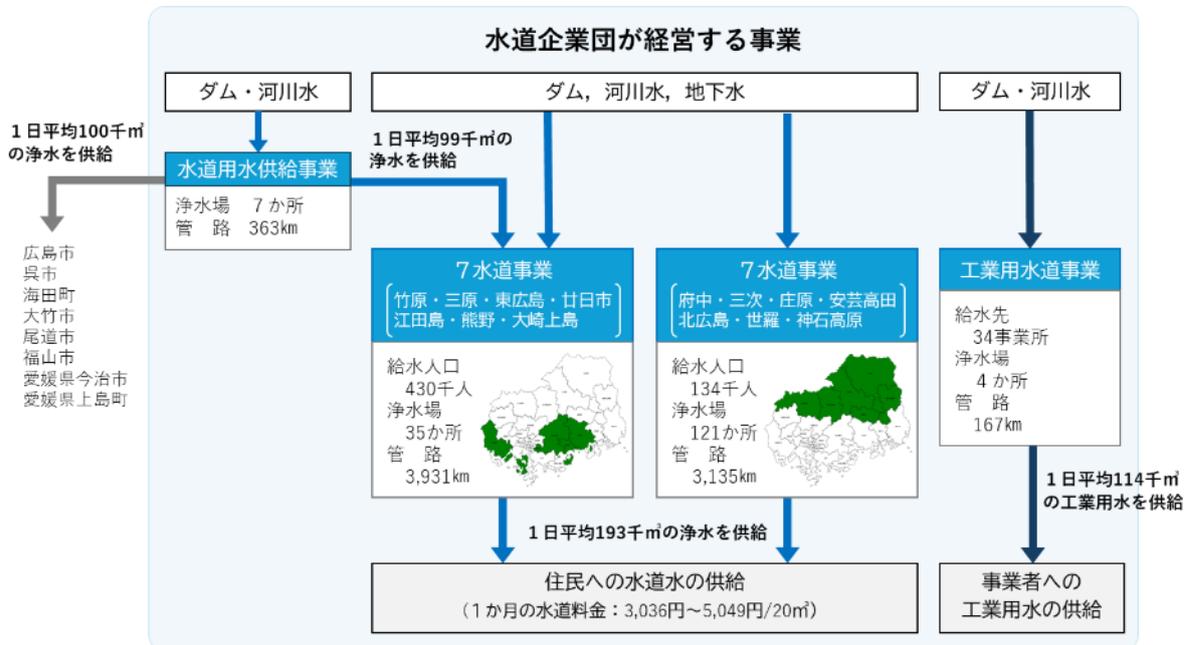
#### (3) 工業用水道事業

広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、東広島市、府中町及び海田町の企業に対し、工業用水を給水しています。令和6年度は、34事業所に対し、1日平均114千 $\text{m}^3$ の工業用水を供給しました。

令和7年3月31日現在

| 給水先   | 施設  |       | 1日平均配水量<br>(令和6年度) |
|-------|-----|-------|--------------------|
|       | 浄水場 | 管路延長  |                    |
| 34事業所 | 4か所 | 167km | 114千 $\text{m}^3$  |

【水道企業団が経営する事業】



【参考】各事業の概要

| 区分                       | 竹原市水道事業               | 三原市水道事業               | 府中市水道事業              | 三次市水道事業               |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|
| 給水区域<br>(給水人口)           | 竹原市<br>(22,221 人)     | 三原市<br>(78,129 人)     | 府中市<br>(27,545 人)    | 三次市<br>(41,506 人)     |
| 1日平均給水量                  | 14,282 m <sup>3</sup> | 28,341 m <sup>3</sup> | 7,687 m <sup>3</sup> | 15,942 m <sup>3</sup> |
| 施設                       | 主な水源                  | 用水供給、井戸等              | 芦田川、<br>井戸等          | 馬洗川、井戸等               |
|                          | 浄水場                   | 5か所                   | 7か所                  | 28か所                  |
|                          | 管路延長                  | 284km                 | 910km                | 940km                 |
| 月額料金(20 m <sup>3</sup> ) | 3,036 円               | 3,993 円               | 4,526 円              | 4,708 円               |

| 区分                       | 庄原市水道事業              | 東広島市水道事業              | 廿日市市水道事業              | 安芸高田市<br>水道事業        |
|--------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 給水区域<br>(給水人口)           | 庄原市<br>(24,220 人)    | 東広島市<br>(170,943 人)   | 廿日市市<br>(110,624 人)   | 安芸高田市<br>(19,593 人)  |
| 1日平均給水量                  | 8,162 m <sup>3</sup> | 50,906 m <sup>3</sup> | 36,326 m <sup>3</sup> | 7,045 m <sup>3</sup> |
| 施設                       | 主な水源                 | 西城川、井戸等               | 松子山貯水池、<br>松板川、用水供給等  | 永慶寺川、<br>用水供給、井戸等    |
|                          | 浄水場                  | 11か所                  | 9か所                   | 10か所                 |
|                          | 管路延長                 | 558km                 | 1,371km               | 754km                |
| 月額料金(20 m <sup>3</sup> ) | 3,790 円              | 3,840 円               | 3,277 円               | 4,048 円              |

| 区分                       | 江田島市水道事業             | 熊野町水道事業              | 北広島町水道事業             | 大崎上島町<br>水道事業        |
|--------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 給水区域<br>(給水人口)           | 江田島市<br>(20,002 人)   | 熊野町<br>(21,534 人)    | 北広島町<br>(8,667 人)    | 大崎上島町<br>(6,579 人)   |
| 1日平均給水量                  | 7,033 m <sup>3</sup> | 5,429 m <sup>3</sup> | 4,661 m <sup>3</sup> | 3,641 m <sup>3</sup> |
| 施設                       | 主な水源                 | 太田川、三高ダム、<br>用水供給等   | 用水供給                 | 江の川、井戸等              |
|                          | 浄水場                  | 3か所                  | 1か所                  | 17か所                 |
|                          | 管路延長                 | 295km                | 154km                | 320km                |
| 月額料金(20 m <sup>3</sup> ) | 5,049 円              | 4,753 円              | 3,481 円              | 4,345 円              |

| 区分                       | 世羅町水道事業              | 神石高原町<br>簡易水道事業      | 水道用水供給事業               | 工業用水道事業                |
|--------------------------|----------------------|----------------------|------------------------|------------------------|
| 給水区域<br>(給水人口)           | 世羅町<br>(8,740 人)     | 神石高原町<br>(3,811 人)   | 9市6町                   | 34事業所                  |
| 1日平均給水量                  | 2,747 m <sup>3</sup> | 1,250 m <sup>3</sup> | 212,165 m <sup>3</sup> | 113,601 m <sup>3</sup> |
| 施設                       | 主な水源                 | 目谷ダム、山田川、<br>井戸等     | 安田川、仙養ダム、<br>井戸等       | 太田川、<br>沼田川等           |
|                          | 浄水場                  | 10か所                 | 20か所                   | 7か所                    |
|                          | 管路延長                 | 278km                | 222km                  | 363km                  |
| 月額料金(20 m <sup>3</sup> ) | 3,520 円              | 4,220 円              | —                      | —                      |

## 2 沿革

| 年月       | 沿革  |
|----------|---|
| 平成28年10月 | ・広島県が、水道事業の広域連携の検討を開始   |
| 平成30年1月  | ・県において、「広島県水道広域連携案」を策定<br>〔広域連携の効果が最も期待できる「事業統合」を全県で目指すことを基本に、市町と県による協議組織を設置し、検討に着手することが必要〕   |
| 平成30年4月  | ・水道事業を経営する21市町と県で、「広島県水道広域連携協議会」を設置   |
| 令和2年6月   | ・広島県水道広域連携協議会の意見を踏まえ、県において、「広島県水道広域連携推進方針」を策定<br>〔<br>・広域連携の基本的な枠組として、県と市町で企業団を設立し、県内水道事業の経営組織を企業団に一元化する「統合による連携」が適当<br>・事情により統合に参画できない市町は、統合以外の連携も選択可<br>〕 |
| 令和3年4月   | ・県と統合に賛同した市町で、「広島県における水道事業の統合に関する基本協定」を締結<br>・知事と市町長で構成する「広島県水道企業団設立準備協議会」を設置   |
| 令和4年7月   | ・広島県水道企業団設立準備協議会において水道企業団の基本理念や組織、業務運営、施設整備、財政運営などを取りまとめた「広島県水道企業団事業計画」を策定  |
| 9月       | ・14市町と県の9月議会で、水道企業団の設立に係る議案が可決  |
| 10月      | ・14市町長と知事が総務大臣に対し、水道企業団設立許可を申請（4日）  |
| 11月      | ・総務大臣から14市町長と知事に、水道企業団の設置が許可（18日）   |
| 令和5年4月   | ・水道企業団が、14市町から14水道事業、県から水道用水供給事業及び工業用水道事業を譲り受け、水道企業団による事業運営が開始（1日）  |

## 3 基本理念・基本方針

### 【基本理念】 ～ 水道企業団の目的・責務 ～

- 水道企業団は、多様な背景を持つ市町と県が統合し、相乗効果を発揮するとともに、環境の変化に的確に対応しながら、安全、安心、良質な水を適切な料金で安定供給する水道システムを構築することで、住民福祉の向上と地域経済の発展に寄与する。
- 水道企業団は、水道変革のフロントランナーとして、ノウハウや技術力を活用し、国内外の水道の発展に貢献する。

### 【基本方針】 ～ 水道企業団の取組の方向性 ～

- 1 上質なサービスの提供
- 2 施設・維持管理の最適化
- 3 組織・管理体制の強化

## 4 広域計画

広域計画は、地方自治法第 291 条の 7 に基づき、議会の議決を経て策定する基本計画で、基本理念と基本方針を踏まえ、令和 14 年度までの取組を定めています。

### 1 計画期間

令和 5 年度から令和 14 年度までの 10 年間

### 2 主な内容

水道企業団では、基本理念の実現に向け、令和 5 年 1 月に、広域計画を策定しました。この広域計画は、水道企業団の現状や経営環境を踏まえ、将来の方向性と経営方針を明確にし、課題に対応するための施策の方向性をとりまとめ、持続可能な水道事業の実現に向けた道筋を示しています。

現在、この計画に基づき、全体最適の観点から、デジタル化による住民サービスの向上、市町の枠を超えた施設の再編整備や、維持管理業務の効率化に取り組んでいます。

### 3 目標

- インターネットによる給水契約や給水装置工事の受付開始、コンビニエンスストアの収納取扱店舗の拡大、スマートフォンによる決済の導入など新規サービスの開始
- 広域運転監視システムや A I を活用した管路劣化予測システムの導入など D X の推進
- 海底管の二重化や緊急時連絡管の整備などバックアップ機能の強化、構成団体間の支援体制や市町との緊密な連携体制の構築、応急給水体制の充実
- 水道の専門知識や技能を有する人材の確保

| 指標                 | 令和 14 年度                   |
|--------------------|----------------------------|
| 水道料金（供給単価・水道事業の平均） | 245 円/m <sup>3</sup> 以下    |
| 基幹管路の耐震化率          | 55.1%                      |
| 現状より収支が改善している事業数   | すべての事業の経常収支比率が、令和 2 年度より改善 |

#### 【指標の設定の考え方】

水道料金…単独経営を維持した場合、令和 14 年度に平均 280 円/m<sup>3</sup>まで上昇が見込まれる水道料金を 245 円/m<sup>3</sup>以下に抑制  
基幹管路の耐震化率…全国平均以下の耐震化率を、令和 14 年度までに全国平均以上に引き上げ

#### 【参考】目標の達成状況

| 達成指標             | R 4 年度               | R 5 年度               | R 6 年度               |
|------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 水道料金             | 220 円/m <sup>3</sup> | 225 円/m <sup>3</sup> | 228 円/m <sup>3</sup> |
| 基幹管路の耐震化率        | 32.5%                | 34.4%                | 37.0%                |
| 現状より収支が改善している事業数 | 4 / 16 事業            | 5 / 16 事業            | 4 / 16 事業            |



### (3) 工業用水道事業の料金改定

工業用水道事業は、水道事業や水道用水供給事業と同様に、施設の老朽化が進むとともに、電気料金の高騰や物価上昇の影響を受け、維持管理費が大幅に増加しています。

水道企業団では、これまでコスト縮減など、経営努力を続けてきましたが、今後も安定した工業用水の供給を維持し、施設更新や維持管理を着実に進めていくため、沼田川工業用水道事業において、令和7年4月1日から17.3%の料金改定を実施しました。

| 区分  | 定量給水                 | 一般給水                 |                     | 少量給水     |                      |
|-----|----------------------|----------------------|---------------------|----------|----------------------|
|     |                      | 基本料金                 | 使用料金                | 基本料金     | 使用料金                 |
| 改定前 | 30.7円/m <sup>3</sup> | 26.3円/m <sup>3</sup> | 6.4円/m <sup>3</sup> | 6,760円/日 | 9.0円/m <sup>3</sup>  |
| 改定後 | 36.0円/m <sup>3</sup> | 30.2円/m <sup>3</sup> | 8.3円/m <sup>3</sup> | 7,700円/日 | 11.6円/m <sup>3</sup> |
| 増減額 | 5.3円/m <sup>3</sup>  | 3.9円/m <sup>3</sup>  | 1.9円/m <sup>3</sup> | 940円/日   | 2.6円/m <sup>3</sup>  |

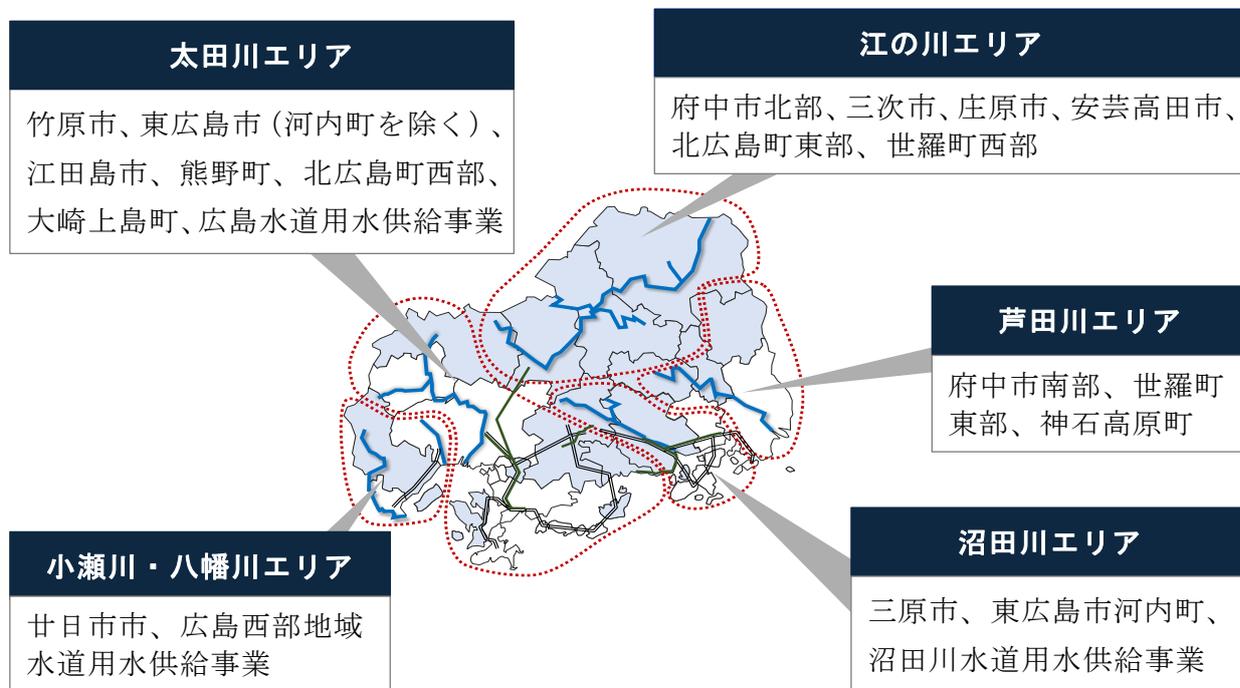
【工業用水道事業概略図】



## 2 施設・維持管理の最適化

### (1) 施設の再編整備

水道企業団では、河川流域を基本に設定した5つのエリアごとに、将来の水需要の減少を見据えて施設能力の最適化を図っています。具体的には浄水場や配水池<sup>4</sup>の統廃合などの再編整備を行うことで、水運用の効率化や将来の更新費・維持管理費の縮減に取り組んでいます。



### ○ 浄水場新設に伴う送水管整備

安芸高田市八千代町から山県郡北広島町にかけて、「土師広域浄水場新設に伴う送水管整備工事」を実施しました。水道企業団では、土師ダム（安芸高田市）を水源とする「土師広域浄水場（仮称）」の新設を計画していますが、この送水管は、土師広域浄水場と北広島町を繋ぐ送水管で、同浄水場の完成後は、北広島町内の壬生、新郷、本地の各浄水場を廃止し、将来の更新費や維持管理費などのコスト縮減や、断水リスクの軽減を図っていきます。



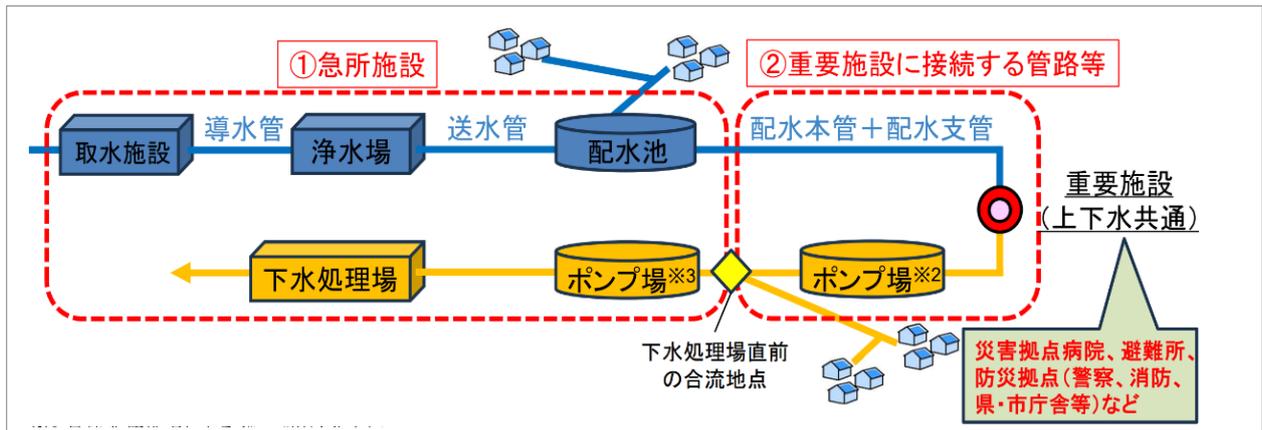
送水管整備工事の様子

<sup>4</sup> 浄水場で作られた水をためておく施設のこと。

## (2) 危機管理対策

水道は経済や住民生活を支えるライフラインであり、ひとたび大規模な断水や水質事故が発生すれば、住民生活や地域経済に甚大な影響を及ぼします。加えて、大規模な自然災害の発生リスクも近年高まっており、危機管理対策の強化は喫緊の課題となっています。

このため水道企業団では、浄水場や浄水場に直結する管路など、被災時に機能を失えば広範囲に影響を及ぼす重要施設の耐震化を着実に進めるため、令和7年1月に「上下水道耐震化計画」（計画期間：令和7年度から令和11年度までの5年間）を策定しました。現在は、この計画に基づき、管路等の計画的な更新を進め、災害に強い水道の構築を図っています。



上下水道耐震化計画の対象施設

### ○ 基幹管路<sup>5</sup>の耐震化

災害や事故による断水リスクを軽減するため、令和14年度までに老朽化した基幹管路の耐震化率を全国平均以上の55.1%まで引き上げることを目標に耐震性のある管路に更新することとしています。令和6年度は「安芸灘ライン管路更新工事」など18.0kmの基幹管路を耐震管に更新し、耐震化率は、前年度から2.6%向上して37.0%となりました。



安芸灘ライン管路更新工事の様子



八幡川ライン管路更新工事の様子

<sup>5</sup> 導水管、送水管及び配水本管（口径250mm以上又は口径250mm未満であっても、幹線の役割を持つ配水管）のこと。

## ○ バックアップ機能の強化

地震や落雷により停電が発生すると、浄水場などの施設の運転が継続できず、水道水の供給に支障が生じる恐れがあります。

こうしたリスクを軽減するため、三次市の寺戸浄水場において「非常用発電機更新工事」を実施しました。今回の更新により、三次市域では停電時でも浄水場の運転を継続でき、より安定した水道水の供給が可能となりました。



非常用発電機

## ○ 危機管理体制の強化

水道施設で事故や災害が発生した際に迅速な対応ができるよう、水道企業団で定期的に危機管理訓練を実施しています。この訓練では、本部と事務所間の連絡・指示体制を確認・強化し、緊急時の情報伝達や意思決定の迅速化を図っています。

さらに、大規模災害に備え、本部における業務継続計画（BCP）<sup>6</sup>を策定しました。災害時に給水管理や浄水場の運転など必要不可欠な業務を継続できる体制を明らかにし、今後は、この計画に基づき、人員配置や、資材・設備の確保などを整備していくこととしています。



危機管理訓練

<sup>6</sup> 企業が自然災害やシステム障害、テロ攻撃などの緊急事態に直面した際に、重要な業務を継続し、早期に復旧させるための計画のこと。

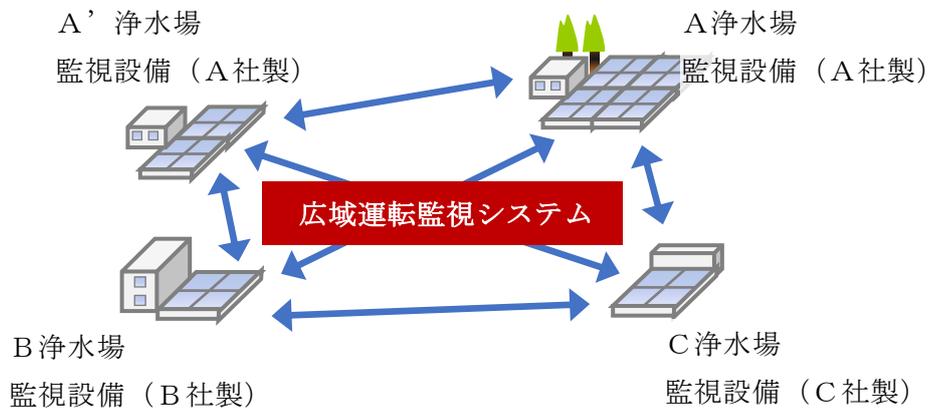
### (3) DX（デジタルトランスフォーメーション）<sup>7</sup>の推進

水道事業は、人に依存する業務が多く、特に運転監視は経験に基づく判断が求められています。水道企業団では、運転監視業務のシステム化を進め、運転監視員の負担の軽減をはじめ業務の効率化を進めています。

#### ○ 広域運転監視システム

運転監視システムは、市町ごとに異なっており、水道企業団全体で施設や設備の運転状況を把握することが困難な状況にあります。そこで、運転監視業務の効率化・省力化を目的に、水道企業団では、複数の浄水場等の運転監視を一つの監視拠点で行う広域運転監視システムの整備を段階的に進めています。

その第一段階として、水道用水供給事業及び工業用水道事業の9施設について、令和7年10月から稼働を開始しました。市町水道事業の施設についても、順次、広域運転監視システムへの統合に向けた設計に着手する予定です。



#### ○ 薬品注入自動化システム

浄水場の薬品注入作業について、水道企業団では、AIを活用して自動化することで、薬品使用量の最適化や、運転監視員の負担軽減を目指しています。令和7年4月から、水道用水供給事業の白ヶ瀬浄水場（広島市佐伯区）で実運用を開始しました。



薬品注入自動化システム

<sup>7</sup> デジタル技術の活用により、社会や暮らしがより良い方向になるよう変革していく取組のこと。

#### (4) 指定管理業務<sup>8</sup>の拡大

水道企業団では、民間の創意工夫を活用し、業務水準の向上と効率化を図るため、広島西部地域水道用水供給水道事業及び沼田川工業用水道事業・沼田川水道用水供給水道事業で、指定管理者制度を導入しています。

令和7年4月1日から指定管理者制度の業務範囲を拡大し、施設の更新を新たに追加しました。施設を日常的に管理する指定管理者が、過去の修繕内容や点検結果などの情報を基に更新工事の必要性や実施時期、整備内容の適否を判断することで、最適な更新工事の実施と更新費用の抑制を図っていくこととしています。

| 区分    | 令和5～6年度                                     | 令和7年度～9年度まで   |
|-------|---|---|
| 対象施設  | 広島西部地域水道用水供給水道<br>沼田川水道用水供給水道<br>沼田川工業用水道   | 変更なし  |
| 指定管理者 | 株式会社水みらい広島                                  |   |
| 契約期間  | 令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで                  |   |
| 業務内容  | 水道施設の運転管理、水質管理、<br>料金の徴収代行、窓口対応、<br>施設の維持修繕 | 水道施設の運転管理、水質管理、<br>料金の徴収代行、窓口対応、<br>施設の維持修繕 <b>及び更新</b> |

#### (5) 浄水発生土<sup>9</sup>の活用

水道事業は、浄水処理の過程において環境負荷の大きい工程が多数含まれており、公営企業<sup>10</sup>の社会的使命として、環境に配慮した水づくりを積極的に進める必要があります。

その取組の一環として、水道企業団では、浄水発生土の有効活用を進めています。浄水発生土は産業廃棄物として埋め立て処分されることが一般的でしたが、一部の浄水場では、天日乾燥させて改良土として再利用しています。

この改良土は、水質浄化剤や土壌改良として活用されており、河川の水質改善や土壌汚染の軽減、廃棄物処理に伴うCO<sub>2</sub>排出の抑制など、環境保全に貢献しています。また、浄水発生土の処分コスト削減にも寄与しています。

<sup>8</sup> 体育館や博物館など、住民の福祉向上を目的とした「公の施設」の管理について、民間事業者等のノウハウを活用することで、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応していくことを目的とした制度のこと。

<sup>9</sup> 水道水を作る過程で生じる土でにごり成分を沈めたものを乾燥させたもの。

<sup>10</sup> 水道事業や交通事業、病院事業などの地方公共団体が経営する企業のこと。

### 3 組織・管理体制の強化

#### (1) 人材育成

基本理念を実現するためには、高い意欲と能力を備えた職員の育成が不可欠です。令和6年度は、「人材育成方針」に基づき、職場外研修の体系を見直したほか、日々の実務を通じて必要な知識や技術を学ぶOJT（On the Job Training）について手引きを作成するなど、研修体制の充実を図りました。

#### (2) プロパー職員の募集開始

現在、水道企業団の職員の多くは構成団体からの派遣職員で構成されていますが、経験や知識を継承していくためには、水道の専門家の確保が求められています。

このため、水道企業団では、職員の独自採用に向け、令和6年度に勤務条件などの整理を進め、令和7年度から、電気、機械、土木、情報・通信の専門知識がある方を対象とした「水道技術職」の募集を開始しました。



#### (3) 広報

水道企業団では、住民の皆様へ、経営状況や取組内容を正しく伝え、信頼の醸成に繋げるため、「広報戦略」を策定し、現在、この戦略に基づき、ホームページの運用やパンフレットの作成、水道週間（6月1日～7日）でのイベント実施など、積極的な情報発信に取り組んでいます。

| 事務所    | イベント・行事        | 開催日時            |
|--------|----------------|-----------------|
| 廿日市事務所 | 水道パネル展         | 6月1日（日）～6月7日（土） |
| 東広島事務所 | 蛇口パッキン無料配布     | 6月2日（月）～6月6日（金） |
|        | デジタルサイネージによる広報 | 6月1日（日）～6月7日（土） |
| 竹原事務所  | 蛇口のケレップの交換     | 6月2日（月）～6月6日（金） |
|        | 成井浄水場施設見学      | 6月中（土日を除く）      |
| 三原事務所  | 浄水場の見学など       | 6月7日（土）         |
| 三次事務所  | 浄水場施設見学会       | 随時実施            |
| 庄原事務所  | 浄水場施設見学会       | 随時実施            |

水道週間の取組

#### (4) 構成団体や県内水道事業者との連携

水道企業団では、毎年度「市町長会議」を開催し、取組状況や翌年度の予算について、構成団体の市町長と情報共有を図っています。

また、県内7つの水道事業者とは、県が策定した「広島県水道広域連携推進方針（令和2年6月）」に基づき、統合以外の連携の取組として、研修の共同実施を行っています。令和6年度は、広島市や福山市が主催する技術研修に職員が参加するとともに、8月には、水道企業団が主催する「初任者技術研修会」に、広島市、尾道市及び安芸太田町の職員が参加するなど、県全体で技術力の底上げを図っています。



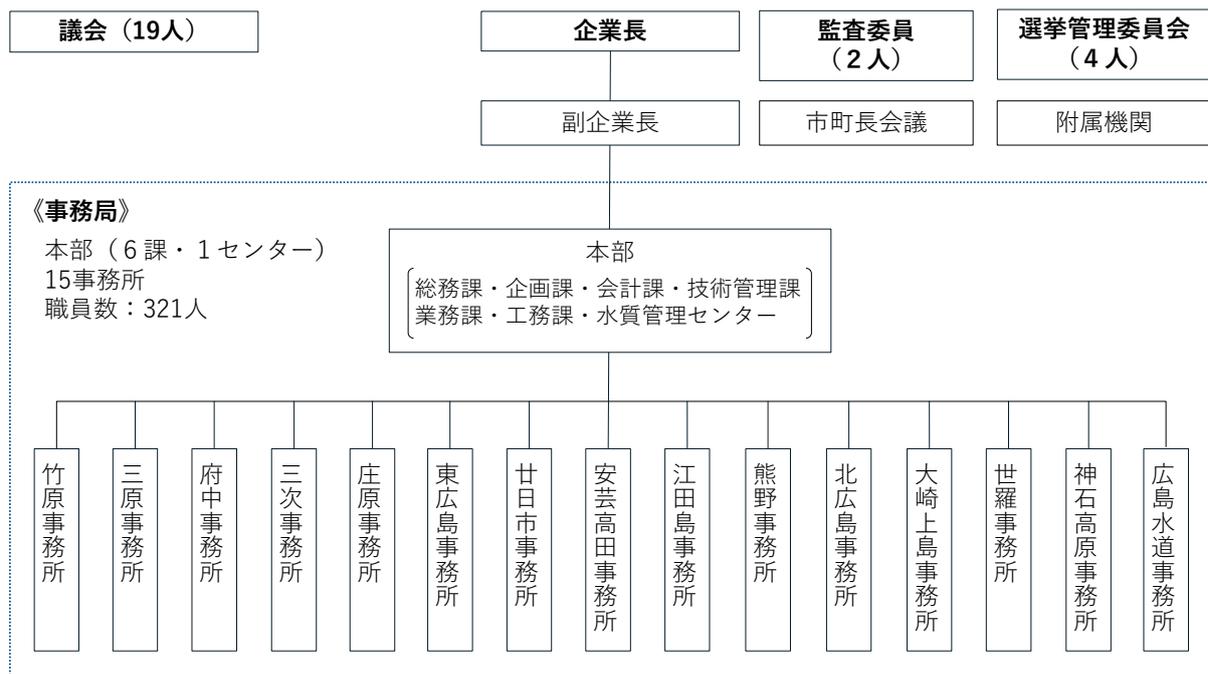
市町長会議の様子

## 第4章 組織/ガバナンス

### 1 組織

水道企業団は地方公共団体であり、県や市町と同じように、意思決定機関としての議会、執行機関としての企業長、その他監査委員や選挙管理委員会を設置しています。

企業長の下に事務局があり、本部（6課1センター）と15事務所を通じて、水道サービスを提供しています。



組織機構（令和7年4月1日現在）

### 2 議会

構成団体の長及び議員の中から選出された19人の議員で構成しています。

#### (1) 議長・副議長

##### ア 議長

令和5年10月23日～

安井 裕典 議員（広島県選出）

##### イ 副議長

令和6年1月29日～令和7年1月29日 山口 三成 議員（廿日市市選出）

令和7年1月29日～令和7年6月27日 片山 貴志 議員（東広島市選出）

(2) 定例会

ア 令和6年10月定例会（開催日：令和6年10月30日）

| 企業長提出議案 |                                     |    |
|---------|-------------------------------------|----|
| 第11号議案  | 令和6年度広島県水道広域連合企業団水道事業会計補正予算（第1号）    | 可決 |
| 第12号議案  | 令和6年度広島県水道広域連合企業団工業用水道事業会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 第13号議案  | 令和5年度広島県水道広域連合企業団水道事業会計剰余金の処分について   | 可決 |
| 第14号議案  | 令和5年度広島県水道広域連合企業団水道事業会計決算の認定について    | 認定 |
| 第15号議案  | 令和5年度広島県水道広域連合企業団工業用水道事業会計決算の認定について | 認定 |

イ 令和7年1月定例会（開催日：令和7年1月29日）

| 企業長提出議案 |   |    |
|---------|---|----|
| 第1号議案   | 令和7年度広島県水道広域連合企業団水道事業会計予算                                     | 可決 |
| 第2号議案   | 令和7年度広島県水道広域連合企業団工業用水道事業会計予算                                  | 可決 |
| 第3号議案   | 令和6年度広島県水道広域連合企業団水道事業会計補正予算（第2号）                              | 可決 |
| 第4号議案   | 令和6年度広島県水道広域連合企業団工業用水道事業会計補正予算（第2号）                           | 可決 |
| 第5号議案   | 広島県水道広域連合企業団職員の定年等に関する条例                                      | 可決 |
| 第6号議案   | 広島県水道広域連合企業団職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例                      | 可決 |
| 第7号議案   | 広島県水道広域連合企業団職員の分限に関する手続及び効果等に関する条例の一部を改正する条例                  | 可決 |
| 第8号議案   | 広島県水道広域連合企業団水道事業の給水及び水道用水供給事業の供給に関する条例の一部を改正する条例              | 可決 |
| 第9号議案   | 広島県水道広域連合企業団工業用水道条例の一部を改正する条例                                 | 可決 |
| 第10号議案  | 広島県水道広域連合企業団布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例 | 可決 |

ウ 全員協議会

広島県水道広域連合企業団議会会議規則第83条の規定に基づき設置した全員協議会を次のとおり開催し、議員全員が参加して重要な政策や運営方針について意見交換や情報共有を行っています。

| 開催日        | 主な議題              |
|------------|-------------------|
| 令和6年10月21日 | 令和6年10月定例会議案について  |
| 令和6年10月30日 | 令和6年10月定例会の進行について |
| 令和7年1月16日  | 令和7年1月定例会議案について   |
| 令和7年1月29日  | 令和7年1月定例会の進行について  |

### 3 企業長・副企業長

#### (1) 企業長

令和4年12月1日～令和7年11月28日 湯崎 英彦（広島県知事）

#### (2) 副企業長（任期：令和5年4月1日～）

伊達 英一

### 4 監査委員

#### (1) 委員（任期：令和5年4月1日～令和9年3月31日）

監査委員：天野 清彦（代表監査委員）

監査委員：長谷川 裕一

#### (2) 執務状況

本部定例監査、例月出納検査、令和5年度決算審査及び令和5年度資金不足比率審査などを行いました。

#### ア 本部定例監査

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、令和6年8月26日に本部定例監査を実施し、その結果を議長及び企業長に報告するとともに、公報に掲載して公表しました。

（指摘事項及び意見）

なし

#### イ 例月出納検査

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づき、毎月、企業出納員から提出された検査調書により、現金、預金の出納の確認や出納の内容確認のため、出納職員から直接ヒアリングを行い、その結果を、議長及び企業長に報告するとともに、公報に掲載して公表しました。

（指摘事項及び意見）

なし

#### ウ 令和5年度決算審査

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、企業長から審査に付された16会計の令和5年度決算について審査を行い、企業長に決算審査意見書を提出しました。

（意見項目）

- ・ 広域計画の着実な推進
- ・ 組織の総合力の発揮
- ・ 適正な会計事務の執行

## 工 令和5年度資金不足比率審査

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づき、企業長から審査に付された令和5年度資金不足比率を審査し、企業長に結果を報告しました。

(意見)

なし

### (3) 監査委員会議等開催状況

| 開催日        | 会議等の内容        | 協議事項等                              |
|------------|---------------|------------------------------------|
| 令和6年4月25日  | 例月出納検査、監査委員会議 |                                    |
| 令和6年5月27日  | 例月出納検査、監査委員会議 | 令和6年度本部定例監査実施計画協議                  |
| 令和6年7月25日  | 例月出納検査、監査委員会議 |                                    |
| 令和6年8月26日  | 例月出納検査、監査委員会議 | 令和6年度本部定例監査の執行                     |
| 令和6年9月25日  | 例月出納検査、監査委員会議 | 令和5年度決算審査意見協議<br>令和5年度資金不足比率審査意見協議 |
| 令和6年10月25日 | 例月出納検査、監査委員会議 |                                    |
| 令和6年11月25日 | 例月出納検査、監査委員会議 |                                    |
| 令和6年12月25日 | 例月出納検査、監査委員会議 | 令和6年度本部定例監査結果協議                    |
| 令和7年1月27日  | 例月出納検査、監査委員会議 |                                    |
| 令和7年2月25日  | 例月出納検査、監査委員会議 |                                    |
| 令和7年3月25日  | 例月出納検査、監査委員会議 | 令和7年度監査計画協議<br>令和7年度監査委員会議等の日程     |

## 5 選挙管理委員会

選挙管理委員会は、水道企業団議会の解散、議員や企業長の解職、条例の制定・改廃などについての直接請求に関する事務を行うため、地方自治法第180条の5の規定に基づき設置しています。

選挙管理委員は、構成団体の選挙権を有する者で、人格が高潔で、政治及び選挙に関し公正な見識を有する者のうちから、水道企業団議会の選挙により選出します。

### (1) 委員（任期：令和5年3月24日～令和9年3月23日）

委員長：田邊 誠

委員長職務代理者：仁井本 義治

委員：上本 幸雄

委員：清川 浩三

(2) 選挙管理委員会開催状況

| 開催日       | 会議に付した案件、主な議題等                                 |
|-----------|--|
| 令和6年6月17日 | ・「選挙人名簿登録者数（定時登録）及び直接請求に必要な請求権を有する者の数 について」 など |

## 第5章 財務

### ■市町水道事業（14市町水道事業計）

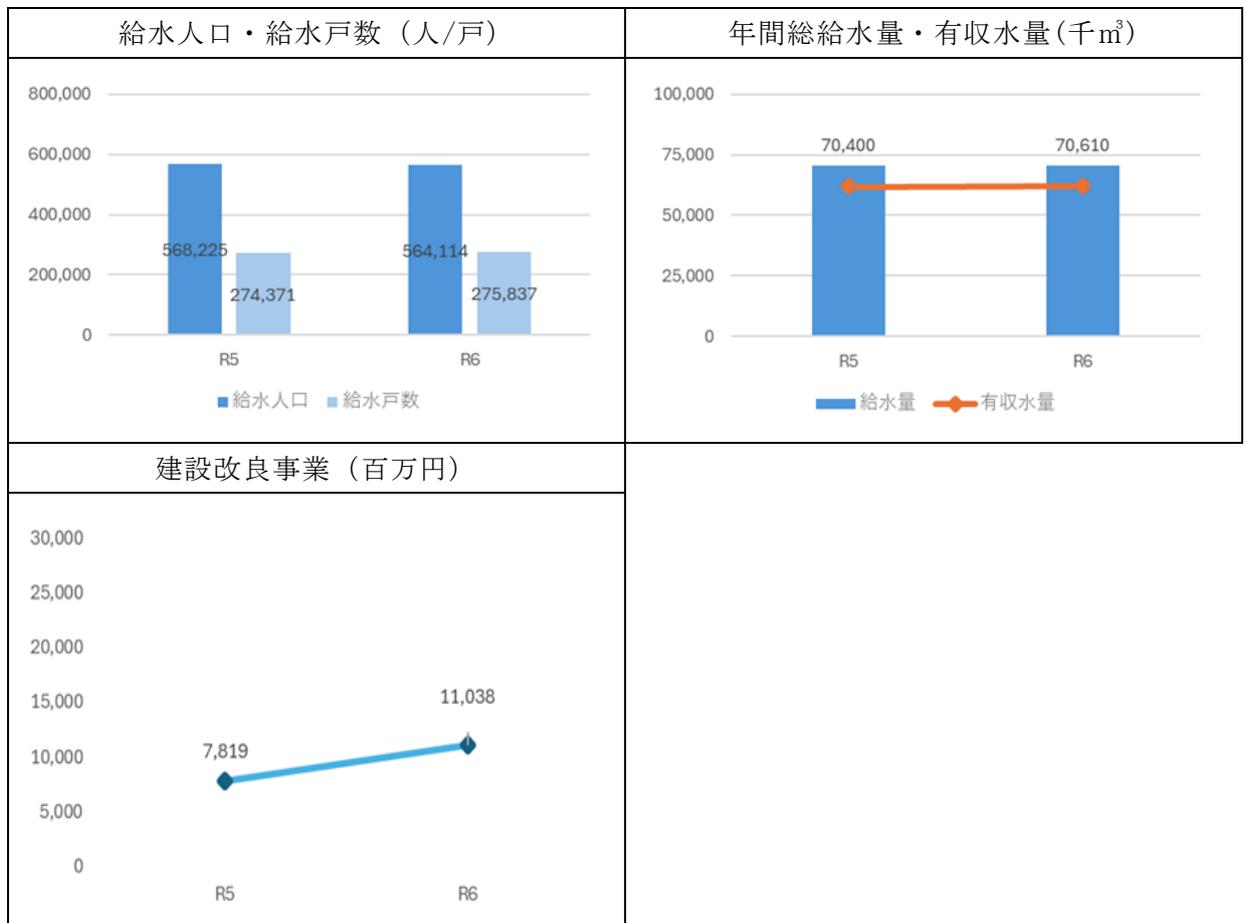
#### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は564,114人となり、前年度と比べて4,111人の減少となりました。

年間総給水量は70,610千 $\text{m}^3$ （1日平均193.5千 $\text{m}^3$ ）となり、事業用の水道使用量が堅調に推移したことにより、前年度と比べて210千 $\text{m}^3$ （1日平均0.6千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、110.4億円を執行しており、前年度と比べて32.2億円の増加となりました。

|                         | 令和5年度   | 令和6年度   | 増減      |
|-------------------------|---------|---------|---------|
| 給水人口（人）                 | 568,225 | 564,114 | ▲ 4,111 |
| 給水戸数（戸）                 | 274,371 | 275,837 | 1,466   |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 70,400  | 70,610  | 210     |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 61,906  | 62,180  | 274     |
| 建設改良事業（百万円）             | 7,819   | 11,038  | 3,219   |

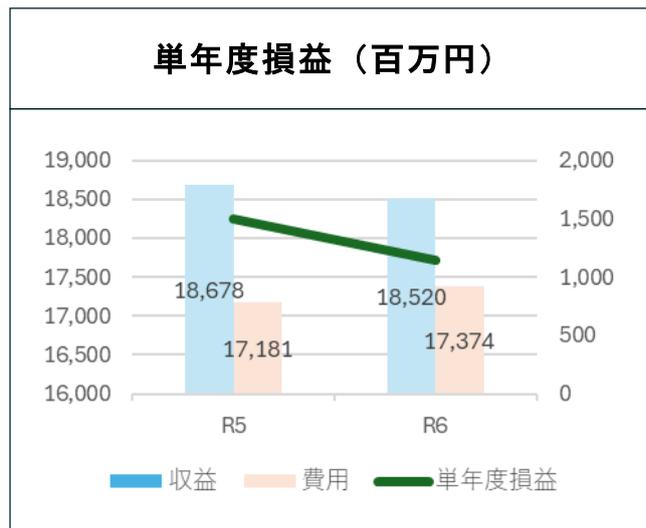


## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は11.5億円の黒字となり、前年度と比べて3.5億円の減少となりました。

主な要因は、前年度に引当金の取崩により計上した特別利益の皆減によるものです。

特別損益を除く損益は、前年度と同程度の水準となっています。



(単位:百万円, %)

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 14,040        | 14,242        | 202    | 101.4  |
| うち給水収益       | 13,692        | 13,867        | 174    | 101.3  |
| 営業費用 b       | 16,662        | 16,896        | 234    | 101.4  |
| うち維持管理費      | 10,199        | 10,305        | 106    | 101.0  |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 2,622       | ▲ 2,654       | ▲ 32   | 101.2  |
| 営業外収益 d      | 4,332         | 4,278         | ▲ 54   | 98.8   |
| 営業外費用 e      | 507           | 476           | ▲ 31   | 93.8   |
| 経常損益 f=c+d-e | 1,202         | 1,148         | ▲ 54   | 95.5   |
| 特別利益 g       | 306           | 0             | ▲ 306  | 皆減     |
| 特別損失 h       | 11            | 2             | ▲ 9    | 17.7   |
| 当年度純利益 f+g+h | 1,497         | 1,146         | ▲ 351  | 76.6   |
| (総収益) a+d+g  | 18,678        | 18,520        | ▲ 158  | 99.2   |
| (総費用) b+e+h  | 17,181        | 17,374        | 193    | 101.1  |

※表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため、差引等と一致しない場合がある。以下同じ。

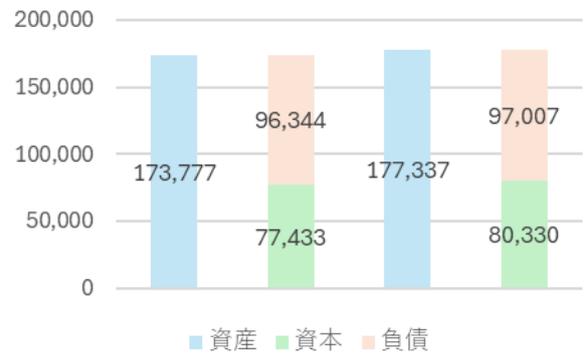
### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は1,773.4億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度と比べて35.6億円増加しました。

負債は970.1億円となり、国庫補助金収入による繰延収益の増加などにより、6.6億円増加しました。

資本は803.3億円となり、構成団体からの出資金などにより、29.0億円増加しました。

#### 年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

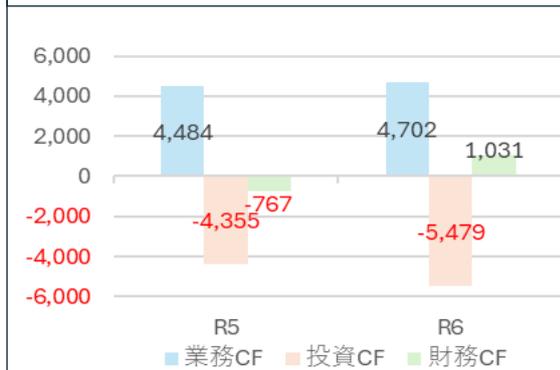
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 152,289       | 156,061       | 3,773  | 102.5  |
|         | うち有形固定資産 | 146,374       | 150,336       | 3,962  | 102.7  |
|         | うち無形固定資産 | 5,914         | 5,725         | ▲ 189  | 96.8   |
|         | 流動資産     | 21,488        | 21,276        | ▲ 213  | 99.0   |
|         | うち現金・預金  | 18,169        | 18,423        | 254    | 101.4  |
| 資産合計    |          | 173,777       | 177,337       | 3,560  | 102.0  |
| 負債の部    | 固定負債     | 40,458        | 39,906        | ▲ 552  | 98.6   |
|         | うち企業債    | 39,420        | 38,845        | ▲ 575  | 98.5   |
|         | 流動負債     | 9,003         | 9,628         | 625    | 106.9  |
|         | うち企業債    | 3,753         | 3,615         | ▲ 138  | 96.3   |
|         | 繰延収益     | 46,883        | 47,474        | 590    | 101.3  |
| 負債合計    |          | 96,344        | 97,007        | 663    | 100.7  |
| 資本の部    | 資本金      | 57,790        | 60,943        | 3,153  | 105.5  |
|         | うち繰入資本金  | 10,737        | 12,481        | 1,745  | 116.2  |
|         | うち組入資本金  | 36,924        | 38,332        | 1,408  | 103.8  |
|         | 剰余金      | 19,642        | 19,387        | ▲ 256  | 98.7   |
|         | うち利益剰余金  | 15,379        | 15,117        | ▲ 262  | 98.3   |
| 資本合計    |          | 77,433        | 80,330        | 2,897  | 103.7  |
| 負債・資本合計 |          | 173,777       | 177,337       | 3,560  | 102.0  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により47.0億円のプラス、建設工事などの投資活動により54.8億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により10.3億円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は184.2億円で、2.5億円のプラスとなりました。

キャッシュフローの状況(百万円)



(単位:百万円, %)

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較   |         |
|-----------|---------------|---------------|---------|---------|
|           |               |               | 増減 B-A  | 比率 B/A  |
| 業務活動によるCF | 4,484         | 4,702         | 218     | 104.9   |
| うち当年度純利益  | 1,497         | 1,146         | ▲ 351   | 76.6    |
| うち減価償却費   | 6,340         | 6,432         | 92      | 101.4   |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 2,568       | ▲ 2,414       | 154     | 94.0    |
| 投資活動によるCF | ▲ 4,355       | ▲ 5,479       | ▲ 1,124 | 125.8   |
| うち建設改良費   | ▲ 5,883       | ▲ 9,539       | ▲ 3,657 | 162.2   |
| うち国庫補助金   | 423           | 2,571         | 2,148   | 608.4   |
| 財務活動によるCF | ▲ 767         | 1,031         | 1,798   | ▲ 134.5 |
| うち企業債発行   | 2,400         | 3,040         | 640     | 126.7   |
| うち企業債償還金  | ▲ 3,896       | ▲ 3,753       | 143     | 96.3    |
| うち一般会計出資金 | 732           | 1,745         | 1,013   | 238.4   |
| 資金増減額     | ▲ 638         | 254           | 892     | ▲ 39.9  |
| 資金期首残高    | 18,806        | 18,169        | ▲ 638   | 96.6    |
| 資金期末残高    | 18,169        | 18,423        | 254     | 101.4   |

## 5 経営指標

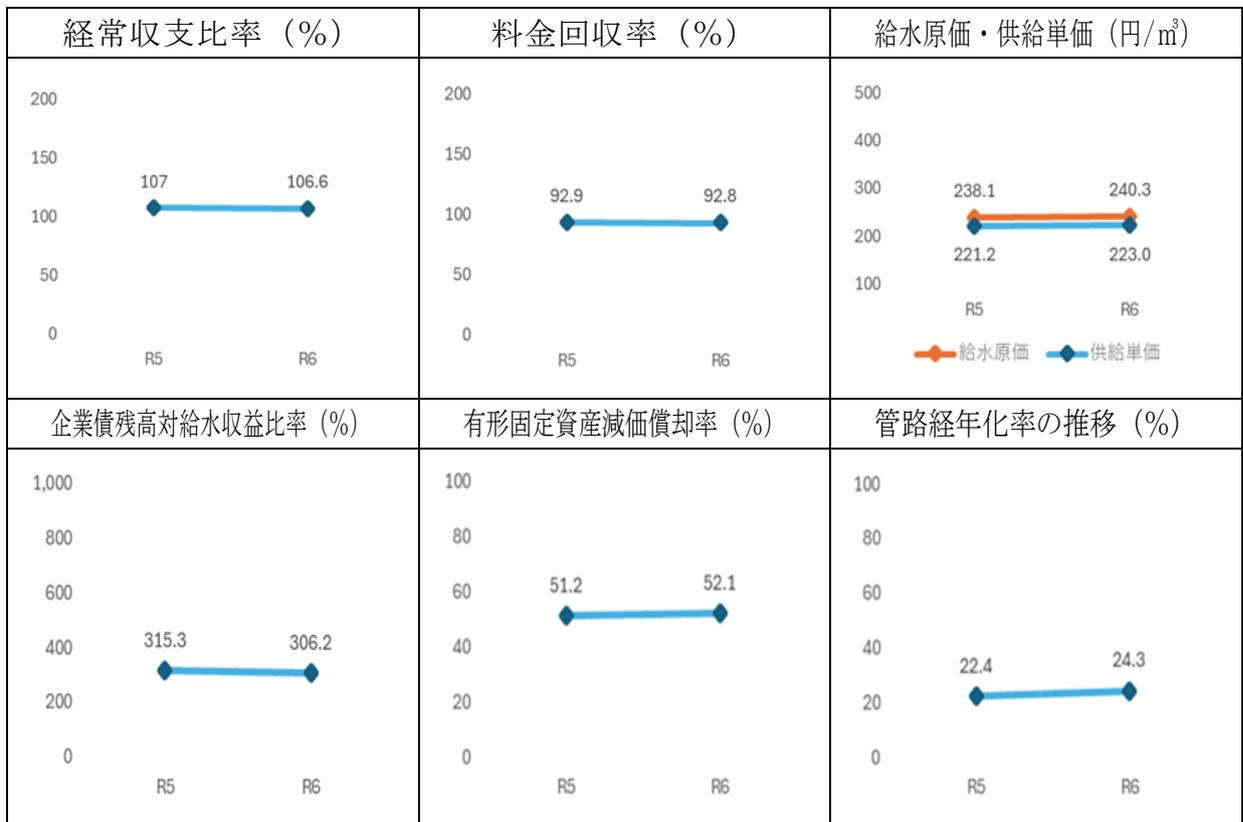
経常収支比率は106.6%で、健全経営の水準となる100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は92.8%で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる100%を下回っており、一般会計からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

給水原価は240.3円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。供給単価は223.0円で、給水収益の増加に伴い、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は306.2%で、企業債の発行を抑制したことにより減少しています。

有形固定資産減価償却率は52.1%、管路経年化率は24.3%で、施設の老朽化が進行しています。

|                  | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減    |
|------------------|-------|-------|-------|
| 経常収支比率 (%)       | 107.0 | 106.6 | ▲ 0.4 |
| 料金回収率 (%)        | 92.9  | 92.8  | ▲ 0.1 |
| 給水原価 (円)         | 238.1 | 240.3 | 2.2   |
| 供給単価 (円)         | 221.2 | 223.0 | 1.8   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 315.3 | 306.2 | ▲ 9.1 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 51.2  | 52.1  | 0.9   |
| 管路経年化率 (%)       | 22.4  | 24.3  | 1.9   |



## ■竹原市水道事業

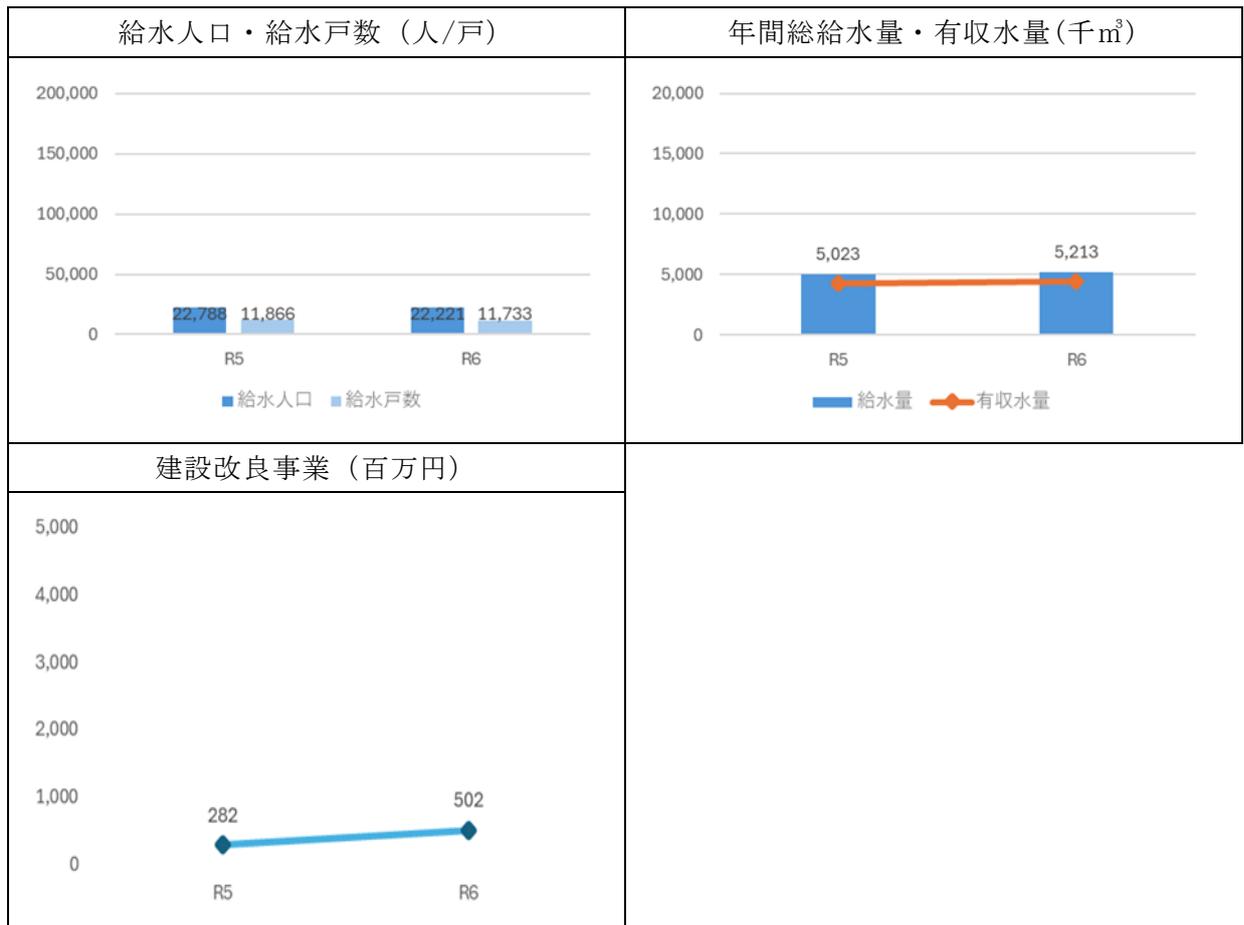
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は22,221人となり、前年度と比べて567人の減少となりました。

年間総給水量は5,213千 $\text{m}^3$ （1日平均14.3千 $\text{m}^3$ ）となり、事業用の水道使用量が堅調に推移したことにより、前年度と比べて190千 $\text{m}^3$ （1日平均0.5千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、椋原加圧ポンプ所外5か所ポンプ等更新工事など5.0億円を執行しており、前年度と比べて2.2億円の増加となりました。

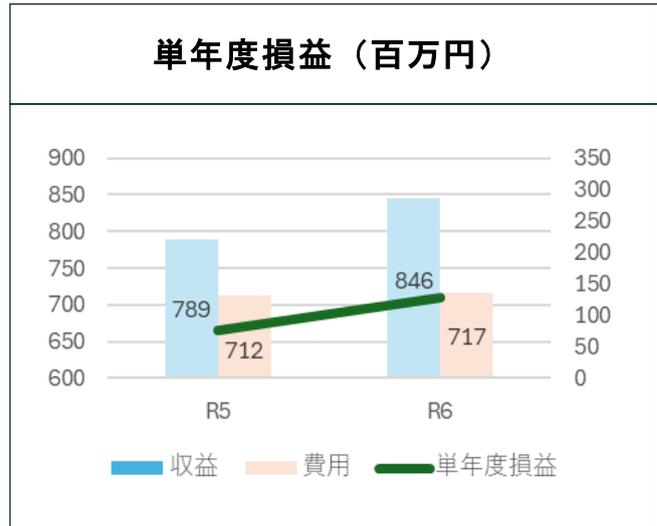
|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 給水人口（人）                 | 22,788 | 22,221 | ▲ 567 |
| 給水戸数（戸）                 | 11,866 | 11,733 | ▲ 133 |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 5,023  | 5,213  | 190   |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 4,249  | 4,463  | 214   |
| 建設改良事業（百万円）             | 282    | 502    | 220   |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は、1.3億円の黒字となり、前年度と比べて、0.5億円の増加となりました。

主な要因は、大口受水企業の事業用の給水量が堅調に推移したことに伴い、給水収益が増加したことによるものです。



（単位：百万円，％）

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 758           | 813           | 56     | 107.3  |
| うち給水収益       | 752           | 808           | 56     | 107.4  |
| 営業費用 b       | 708           | 713           | 5      | 100.7  |
| うち維持管理費      | 472           | 479           | 7      | 101.4  |
| 営業損益 c=a-b   | 49            | 100           | 51     | 203.7  |
| 営業外収益 d      | 31            | 33            | 2      | 105.3  |
| 営業外費用 e      | 4             | 4             | 0      | 100.6  |
| 経常損益 f=c+d-e | 77            | 129           | 53     | 168.4  |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 当年度純利益 f+g+h | 77            | 129           | 53     | 168.4  |
| (総収益) a+d+g  | 789           | 846           | 57     | 107.3  |
| (総費用) b+e+h  | 712           | 717           | 5      | 100.7  |

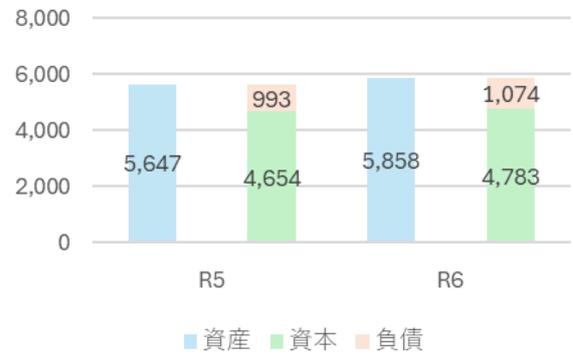
### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は58.6億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度に比べて2.1億円増加しました。

負債は10.7億円となり、国庫補助金収入による繰延収益の増加などにより、0.8億円の増加となりました。

資本は47.8億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加などにより、1.3億円増加しました。

#### 年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

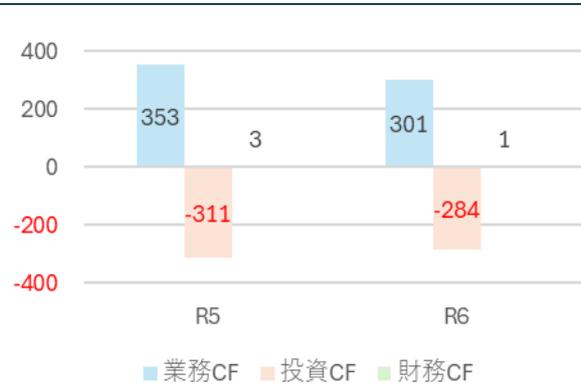
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 4,265         | 4,490         | 225    | 105.3  |
|         | うち有形固定資産 | 4,263         | 4,488         | 226    | 105.3  |
|         | うち無形固定資産 | 2             | 1             | ▲ 0    | 75.3   |
|         | 流動資産     | 1,383         | 1,368         | ▲ 15   | 98.9   |
|         | うち現金・預金  | 1,216         | 1,234         | 18     | 101.5  |
| 資産合計    |          | 5,647         | 5,858         | 211    | 103.7  |
| 負債の部    | 固定負債     | 304           | 307           | 3      | 100.9  |
|         | うち企業債    | 213           | 217           | 4      | 101.7  |
|         | 流動負債     | 251           | 282           | 30     | 112.1  |
|         | うち企業債    | 29            | 27            | ▲ 2    | 92.0   |
|         | 繰延収益     | 438           | 486           | 48     | 111.0  |
| 負債合計    |          | 993           | 1,074         | 81     | 108.2  |
| 資本の部    | 資本金      | 2,606         | 2,620         | 15     | 100.6  |
|         | うち繰入資本金  | 0             | 0             | 0      | —      |
|         | うち組入資本金  | 2,548         | 2,563         | 15     | 100.6  |
|         | 剰余金      | 2,048         | 2,163         | 115    | 105.6  |
|         | うち利益剰余金  | 1,742         | 1,856         | 115    | 106.6  |
| 資本合計    |          | 4,654         | 4,783         | 129    | 102.8  |
| 負債・資本合計 |          | 5,647         | 5,858         | 211    | 103.7  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により3.0億円のプラス、建設工事などの投資活動により2.8億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により1百万円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は12.3億円で、0.2億円のプラスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|-----------|---------------|---------------|--------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 353           | 301           | ▲ 52   | 85.23  |
| うち当年度純利益  | 77            | 129           | 53     | 168.45 |
| うち減価償却費   | 236           | 228           | ▲ 8    | 96.73  |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 27          | ▲ 26          | 1      | 96.11  |
| 投資活動によるCF | ▲ 311         | ▲ 284         | 27     | 91.43  |
| うち建設改良費   | ▲ 340         | ▲ 400         | ▲ 60   | 117.51 |
| うち国庫補助金   | 0             | 78            | 78     | 皆増     |
| 財務活動によるCF | 3             | 1             | ▲ 2    | 40.93  |
| うち企業債発行   | 40            | 30            | ▲ 10   | 75.75  |
| うち企業債償還金  | ▲ 34          | ▲ 29          | 5      | 84.64  |
| うち一般会計出資金 | 0             | 0             | 0      | —      |
| 資金増減額     | 45            | 18            | ▲ 27   | 39.83  |
| 資金期首残高    | 1,171         | 1,216         | 45     | 103.88 |
| 資金期末残高    | 1,216         | 1,234         | 18     | 101.49 |

## 5 経営指標

経常収支比率は 118.1% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。また、料金回収率は 117.0% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を上回っています。

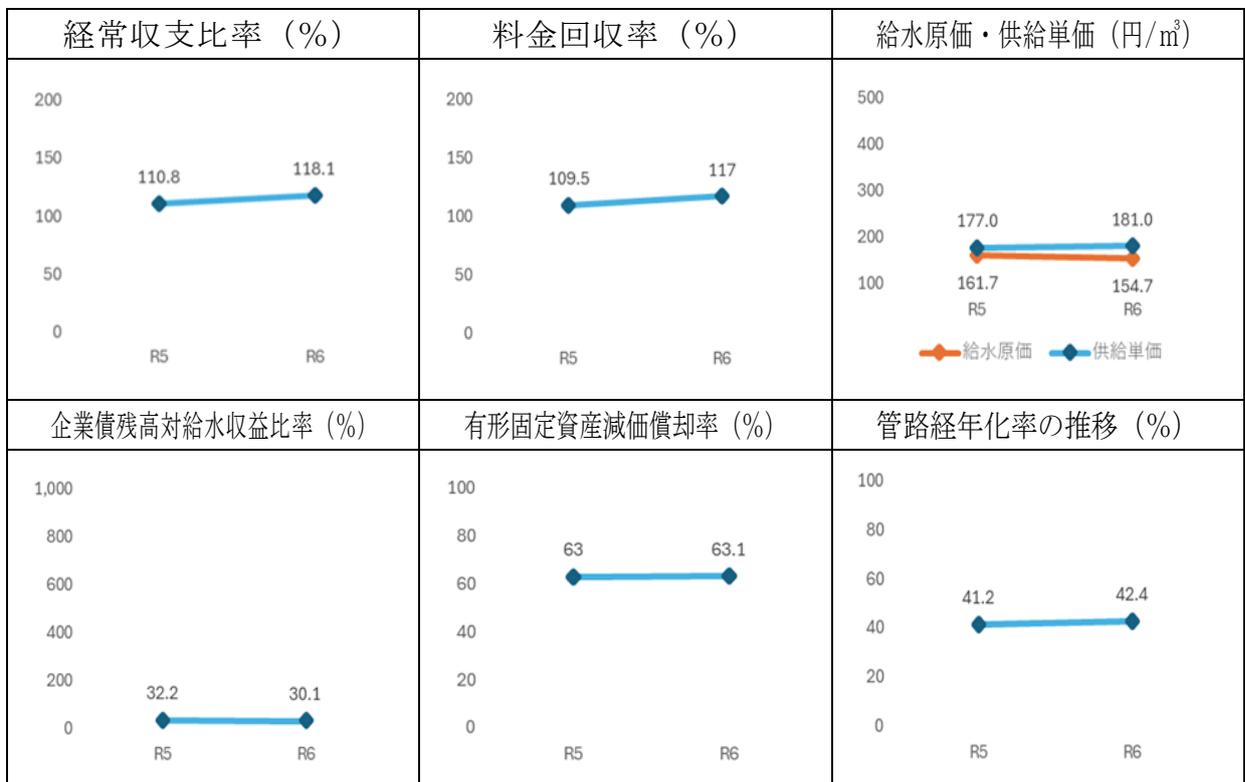
給水原価は 154.7 円、供給単価は 181.0 円で、給水量の増加により、給水原価は 6.3 円抑制され、供給単価は 4.0 円増加しました。

企業債残高対給水収益比率は 30.1% で、給水収益の増加により減少しています。

有形固定資産減価償却率は 63.1% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 42.4% で、昭和 50 年代から行われた大規模開発に伴う管路の拡張事業に起因して管路の老朽化が進行しています。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減    |
|------------------|---------|---------|-------|
| 経常収支比率 (%)       | 110.8   | 118.1   | 7.3   |
| 料金回収率 (%)        | 109.5   | 117.0   | 7.5   |
| 給水原価 (円)         | 161.7   | 154.7   | ▲ 6.3 |
| 供給単価 (円)         | 177.0   | 181.0   | 4.0   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 32.2    | 30.1    | ▲ 2.1 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 63.0    | 63.1    | 0.1   |
| 管路経年化率 (%)       | 41.2    | 42.4    | 1.2   |



## ■三原市水道事業

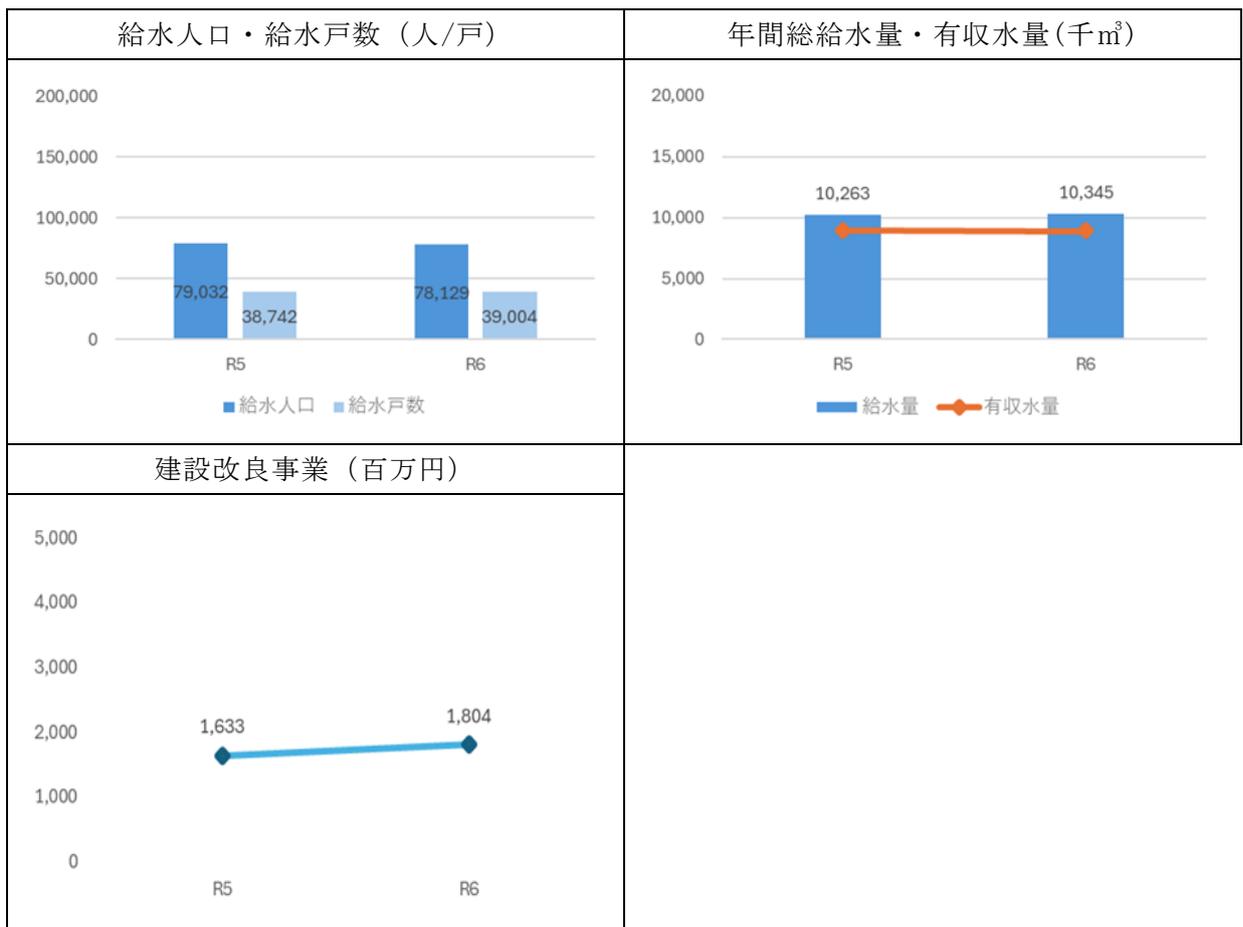
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は78,129人となり、前年度と比べて903人の減少となりました。

年間総給水量は10,345千 $\text{m}^3$ （1日平均28.3千 $\text{m}^3$ ）となり、前年度と比べて82千 $\text{m}^3$ （1日平均0.2千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、市道宮浦1号線外1路線 $\phi$ 100mm・ $\phi$ 400mm配水管布設替工事等など18.0億円を執行しており、前年度と比べ1.7億円の増加となりました。

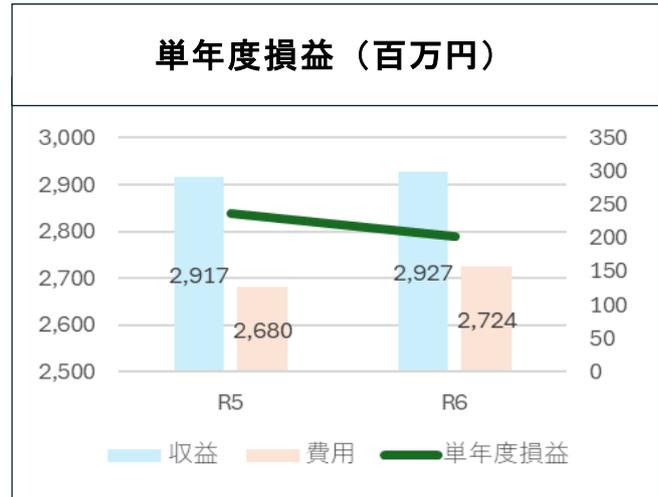
|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 給水人口（人）                 | 79,032 | 78,129 | ▲ 903 |
| 給水戸数（戸）                 | 38,742 | 39,004 | 262   |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 10,263 | 10,345 | 82    |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 8,976  | 8,965  | ▲ 11  |
| 建設改良事業（百万円）             | 1,633  | 1,804  | 171   |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は2.0億円の黒字となり、前年度と比べて0.3億円の減少となりました。

主な要因としては、更新した施設の稼働に伴い減価償却費が増加したことによるものです。



（単位：百万円，％）

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 2,382         | 2,391         | 9      | 100.4  |
| うち給水収益       | 2,323         | 2,328         | 5      | 100.2  |
| 営業費用 b       | 2,543         | 2,594         | 52     | 102.0  |
| うち維持管理費      | 1,418         | 1,410         | ▲ 8    | 99.5   |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 160         | ▲ 203         | ▲ 43   | 126.8  |
| 営業外収益 d      | 534           | 535           | 1      | 100.2  |
| 営業外費用 e      | 138           | 129           | ▲ 8    | 94.0   |
| 経常損益 f=c+d-e | 237           | 203           | ▲ 34   | 85.8   |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 当年度純利益 f+g+h | 237           | 203           | ▲ 34   | 85.8   |
| (総収益) a+d+g  | 2,917         | 2,927         | 10     | 100.3  |
| (総費用) b+e+h  | 2,680         | 2,724         | 43     | 101.6  |

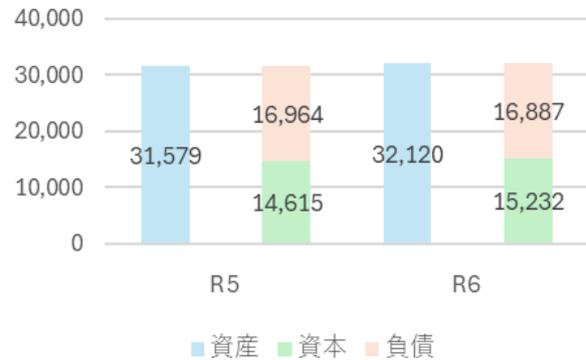
### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は321.2億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度と比べて、5.4億円増加しました。

負債は168.9億円となり、企業債の償還などにより、0.8億円減少しました。

資本は152.3億円となり、構成団体からの出資金などからにより、6.1億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

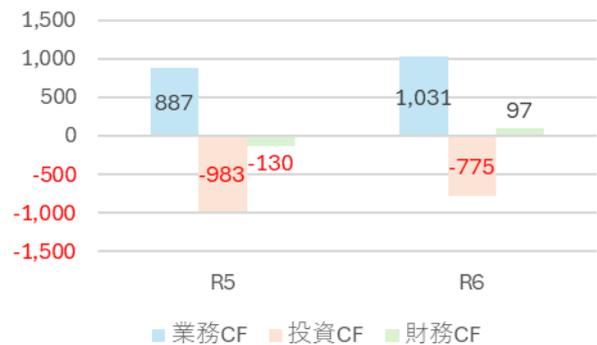
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 29,458        | 29,960        | 501    | 101.7  |
|         | うち有形固定資産 | 28,727        | 29,262        | 535    | 101.9  |
|         | うち無形固定資産 | 732           | 698           | ▲ 33   | 95.4   |
|         | 流動資産     | 2,120         | 2,160         | 40     | 101.9  |
|         | うち現金・預金  | 1,448         | 1,800         | 353    | 124.4  |
| 資産合計    |          | 31,579        | 32,120        | 541    | 101.7  |
| 負債の部    | 固定負債     | 10,384        | 10,087        | ▲ 297  | 97.1   |
|         | うち企業債    | 10,002        | 9,708         | ▲ 294  | 97.1   |
|         | 流動負債     | 2,193         | 2,233         | 40     | 101.8  |
|         | うち企業債    | 1,181         | 1,158         | ▲ 23   | 98.1   |
|         | 繰延収益     | 4,387         | 4,567         | 180    | 104.1  |
| 負債合計    |          | 16,964        | 16,887        | ▲ 76   | 99.6   |
| 資本の部    | 資本金      | 13,961        | 14,677        | 716    | 105.1  |
|         | うち繰入資本金  | 1,616         | 2,030         | 414    | 125.6  |
|         | うち組入資本金  | 12,220        | 12,522        | 302    | 102.5  |
|         | 剰余金      | 654           | 555           | ▲ 99   | 84.9   |
|         | うち利益剰余金  | 563           | 465           | ▲ 99   | 82.5   |
| 資本合計    |          | 14,615        | 15,232        | 617    | 104.2  |
| 負債・資本合計 |          | 31,579        | 32,120        | 541    | 101.7  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により10.3億円のプラス、建設工事などの投資活動により7.8億円のマイナス、企業債発行など財務活動により1.0億円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は18億円で、3.5億円のプラスとなりました。

キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |          |
|-----------|---------------|---------------|--------|----------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A   |
| 業務活動によるCF | 887           | 1,031         | 144    | 116.18   |
| うち当年度純利益  | 237           | 203           | ▲ 34   | 85.82    |
| うち減価償却費   | 1,112         | 1,146         | 34     | 103.08   |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 288         | ▲ 269         | 19     | 93.39    |
| 投資活動によるCF | ▲ 983         | ▲ 775         | 207    | 78.89    |
| うち建設改良費   | ▲ 1,063       | ▲ 1,440       | ▲ 378  | 135.53   |
| うち国庫補助金   | 6             | 546           | 540    | 9,088.18 |
| 財務活動によるCF | ▲ 130         | 97            | 227    | ▲ 74.74  |
| うち企業債発行   | 843           | 864           | 20     | 102.40   |
| うち企業債償還金  | ▲ 1,272       | ▲ 1,181       | 91     | 92.83    |
| うち一般会計出資金 | 299           | 414           | 115    | 138.50   |
| 資金増減額     | ▲ 225         | 353           | 578    | ▲ 156.83 |
| 資金期首残高    | 1,672         | 1,448         | ▲ 225  | 86.55    |
| 資金期末残高    | 1,448         | 1,800         | 353    | 124.36   |

## 5 経営指標

経常収支比率は 107.5% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は 95.0% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を下回っており、構成団体からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

給水原価は 273.5 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。

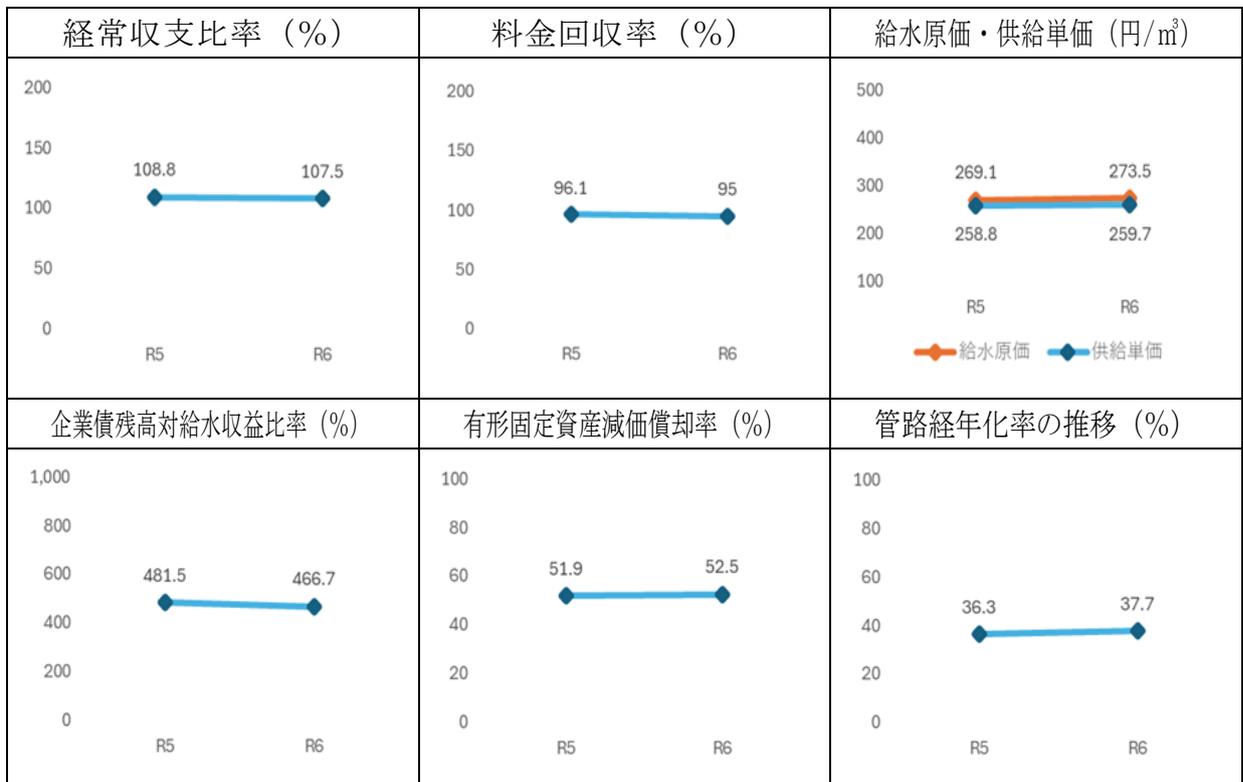
供給単価は 259.7 円で、給水収益の増加により、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は 466.7% で、企業債の償還により減少しています。

有形固定資産減価償却率は 52.5% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 37.7% で、昭和 50 年代から行われた大規模開発に伴う管路の拡張事業に起因して管路の老朽化が進行しています。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減     |
|------------------|---------|---------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 108.8   | 107.5   | ▲ 1.3  |
| 料金回収率 (%)        | 96.1    | 95.0    | ▲ 1.1  |
| 給水原価 (円)         | 269.1   | 273.5   | 4.3    |
| 供給単価 (円)         | 258.8   | 259.7   | 0.9    |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 481.5   | 466.7   | ▲ 14.8 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 51.9    | 52.5    | 0.6    |
| 管路経年化率 (%)       | 36.3    | 37.7    | 1.4    |



## ■府中市水道事業

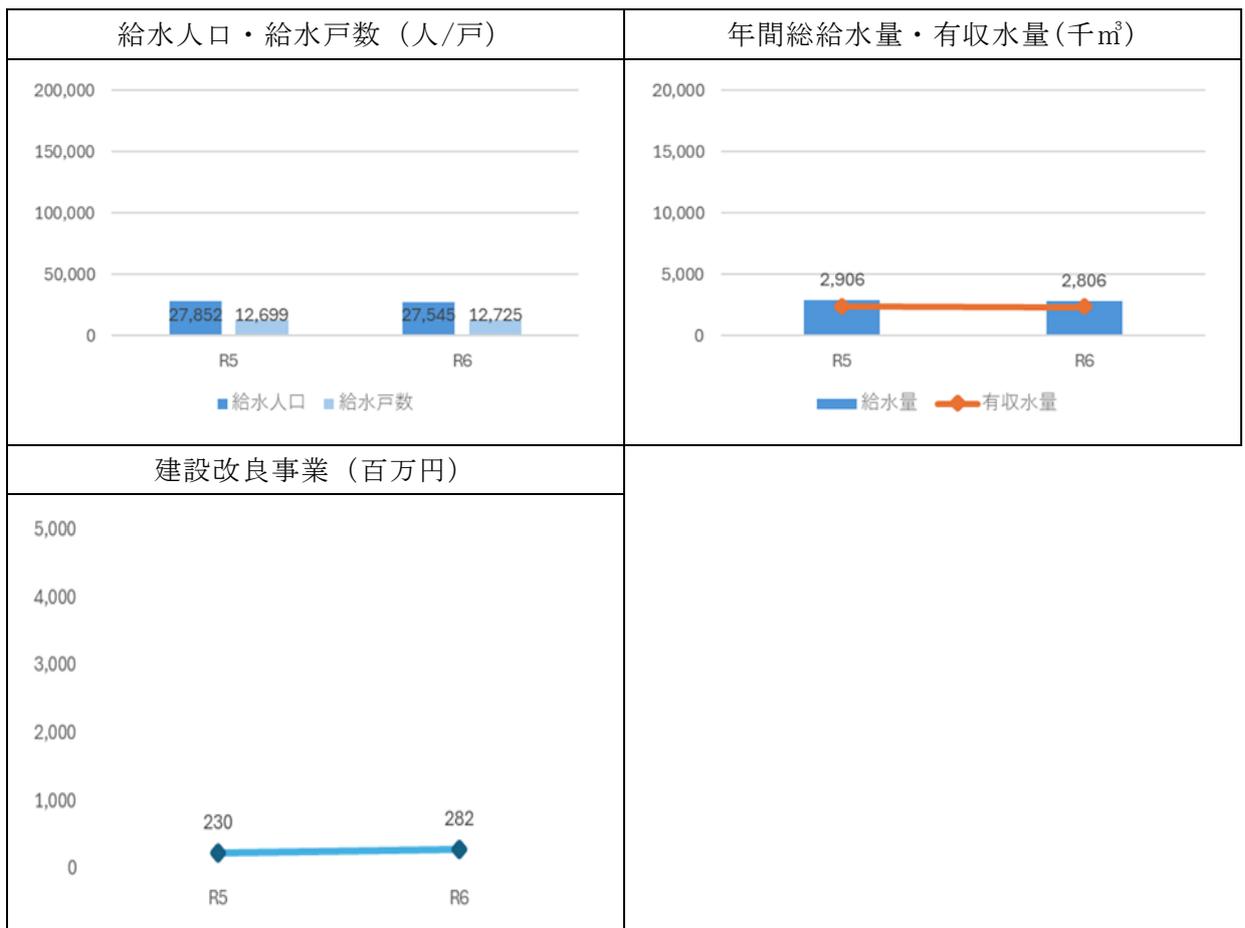
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は27,545人となり、前年度と比べて307人の減少となりました。

年間総給水量は2,806千 $\text{m}^3$ （1日平均7.7千 $\text{m}^3$ ）となり、給水人口の減少により、前年度と比べて100千 $\text{m}^3$ （1日平均0.3千 $\text{m}^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、城山浄水場逆洗ブロワ増設及び更新工事など2.8億円を執行しており、前年度と比べて0.5億円の増加となりました。

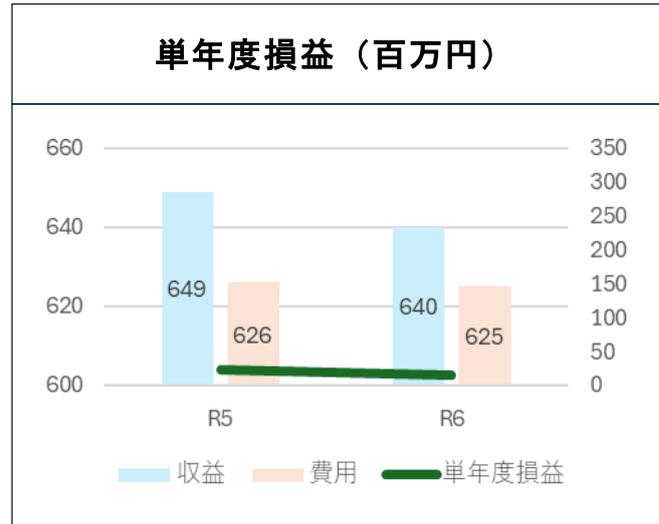
|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 給水人口（人）                 | 27,852 | 27,545 | ▲ 307 |
| 給水戸数（戸）                 | 12,699 | 12,725 | 26    |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 2,906  | 2,806  | ▲ 100 |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 2,370  | 2,354  | ▲ 16  |
| 建設改良事業（百万円）             | 230    | 282    | 52    |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は0.2億円の黒字となり、前年度と比べて7百万円の減少となりました。

主な要因は、物価上昇等により維持管理費が増加したことによるものです。



（単位：百万円，％）

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 561           | 559           | ▲ 3    | 99.5   |
| うち給水収益       | 554           | 551           | ▲ 3    | 99.5   |
| 営業費用 b       | 596           | 596           | 0      | 100.0  |
| うち維持管理費      | 337           | 345           | 9      | 102.5  |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 34          | ▲ 37          | ▲ 3    | 108.4  |
| 営業外収益 d      | 87            | 81            | ▲ 6    | 92.9   |
| 営業外費用 e      | 31            | 29            | ▲ 2    | 93.5   |
| 経常損益 f=c+d-e | 22            | 15            | ▲ 7    | 68.4   |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | ▲ 0    | 皆減     |
| 当年度純利益 f+g+h | 22            | 15            | ▲ 7    | 68.4   |
| (総収益) a+d+g  | 649           | 640           | ▲ 9    | 98.6   |
| (総費用) b+e+h  | 626           | 625           | ▲ 2    | 99.7   |

## 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は76.0億円となり、建設改良事業の実施による現金・預金の減少などにより、前年度と比べて0.2億円減少しました。

負債は33.6億円となり、企業債の償還などにより、0.7億円減少しました。

資本は42.4億円となり、構成団体からの出資金などにより、0.6億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

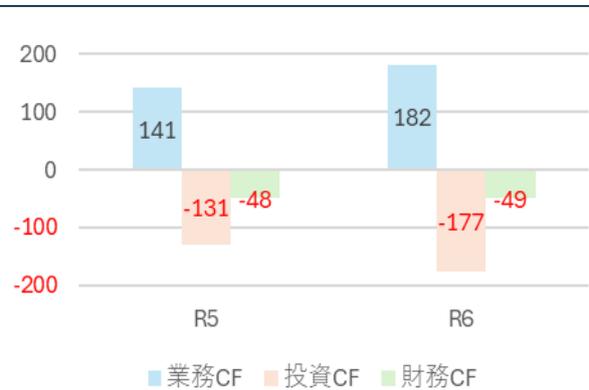
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 6,479         | 6,489         | 10     | 100.1  |
|         | うち有形固定資産 | 5,402         | 5,438         | 36     | 100.7  |
|         | うち無形固定資産 | 1,078         | 1,051         | ▲ 27   | 97.5   |
|         | 流動資産     | 1,140         | 1,114         | ▲ 27   | 97.7   |
|         | うち現金・預金  | 1,042         | 998           | ▲ 44   | 95.8   |
| 資産合計    |          | 7,619         | 7,602         | ▲ 17   | 99.8   |
| 負債の部    | 固定負債     | 2,369         | 2,294         | ▲ 75   | 96.8   |
|         | うち企業債    | 2,247         | 2,170         | ▲ 77   | 96.6   |
|         | 流動負債     | 383           | 414           | 31     | 108.1  |
|         | うち企業債    | 159           | 146           | ▲ 13   | 91.9   |
|         | 繰延収益     | 685           | 655           | ▲ 29   | 95.7   |
| 負債合計    |          | 3,437         | 3,363         | ▲ 74   | 97.9   |
| 資本の部    | 資本金      | 2,538         | 2,580         | 42     | 101.6  |
|         | うち繰入資本金  | 1,272         | 1,314         | 42     | 103.3  |
|         | うち組入資本金  | 126           | 126           | 0      | 100.0  |
|         | 剰余金      | 1,644         | 1,659         | 15     | 100.9  |
|         | うち利益剰余金  | 1,644         | 1,659         | 15     | 100.9  |
| 資本合計    |          | 4,182         | 4,239         | 57     | 101.4  |
| 負債・資本合計 |          | 7,619         | 7,602         | ▲ 17   | 99.8   |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により1.8億円のプラス、建設工事などの投資活動により1.8億円のマイナス、企業債償還などの財務活動により0.5億円のマイナスとなりました。

年度末時点の資金残高は10.0億円で、0.4億円のマイナスとなりました。

キャッシュフローの状況（百万円）



(単位:百万円, %)

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|-----------|---------------|---------------|--------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 141           | 182           | 41     | 128.92 |
| うち当年度純利益  | 22            | 15            | ▲ 7    | 68.44  |
| うち減価償却費   | 247           | 250           | 3      | 101.04 |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 66          | ▲ 62          | 4      | 93.46  |
| 投資活動によるCF | ▲ 131         | ▲ 177         | ▲ 46   | 135.43 |
| うち建設改良費   | ▲ 142         | ▲ 228         | ▲ 86   | 160.83 |
| うち国庫補助金   | 0             | 46            | 46     | 皆増     |
| 財務活動によるCF | ▲ 48          | ▲ 49          | ▲ 1    | 101.68 |
| うち企業債発行   | 72            | 69            | ▲ 3    | 96.37  |
| うち企業債償還金  | ▲ 158         | ▲ 159         | ▲ 1    | 100.56 |
| うち一般会計出資金 | 39            | 42            | 3      | 106.92 |
| 資金増減額     | ▲ 38          | ▲ 44          | ▲ 6    | 116.83 |
| 資金期首残高    | 1,079         | 1,042         | ▲ 38   | 96.52  |
| 資金期末残高    | 1,042         | 998           | ▲ 44   | 95.79  |

## 5 経営指標

経常収支比率は 102.5% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は 97.9% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を下回っており、一般会計からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

給水原価は 239.0 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。

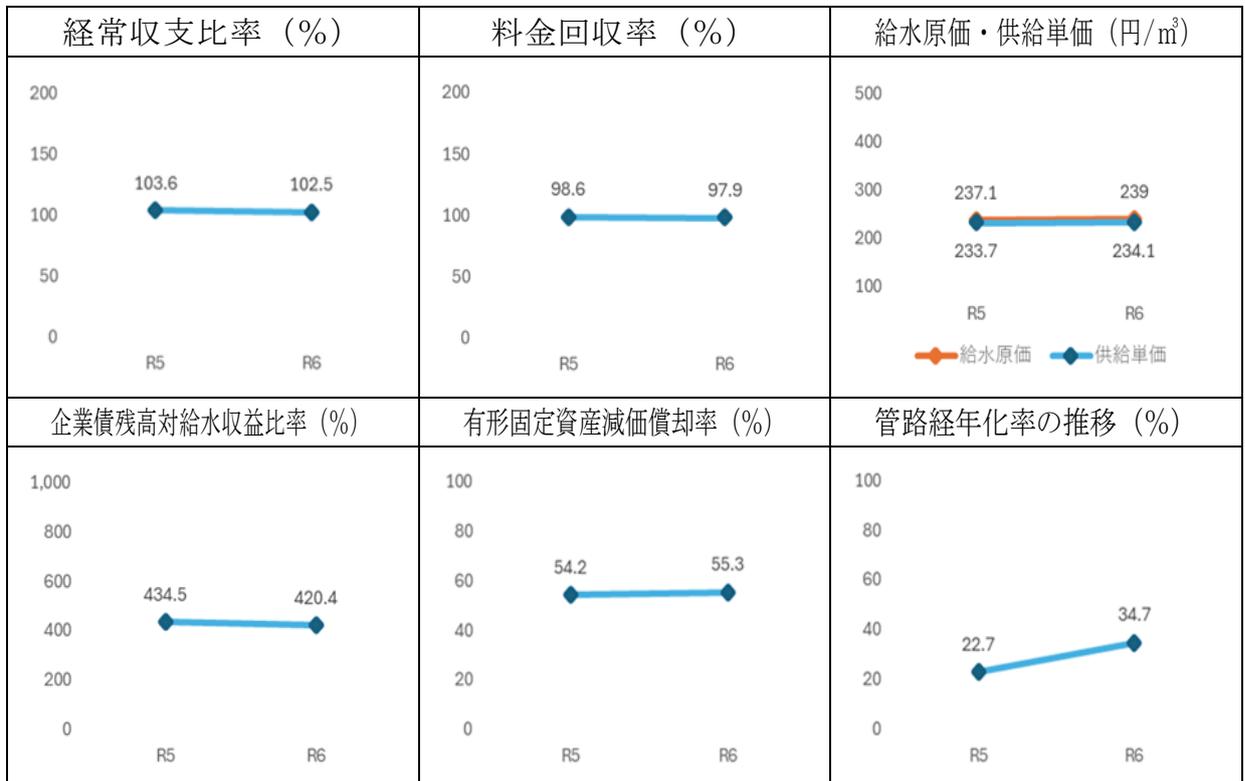
供給単価は 234.1 円で、前年度と同程度の水準となっています。

企業債残高対給水収益比率は 420.4% で、企業債の償還により減少しています。

有形固定資産減価償却率は 55.3% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 34.7% で、昭和 50 年代から行われた大規模開発に伴う管路の拡張事業に起因して管路の老朽化が進行しています。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減     |
|------------------|---------|---------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 103.6   | 102.5   | ▲ 1.1  |
| 料金回収率 (%)        | 98.6    | 97.9    | ▲ 0.7  |
| 給水原価 (円)         | 237.1   | 239.0   | 1.9    |
| 供給単価 (円)         | 233.7   | 234.1   | 0.4    |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 434.5   | 420.4   | ▲ 14.1 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 54.2    | 55.3    | 1.1    |
| 管路経年化率 (%)       | 22.7    | 34.7    | 12.0   |



## ■三次市水道事業

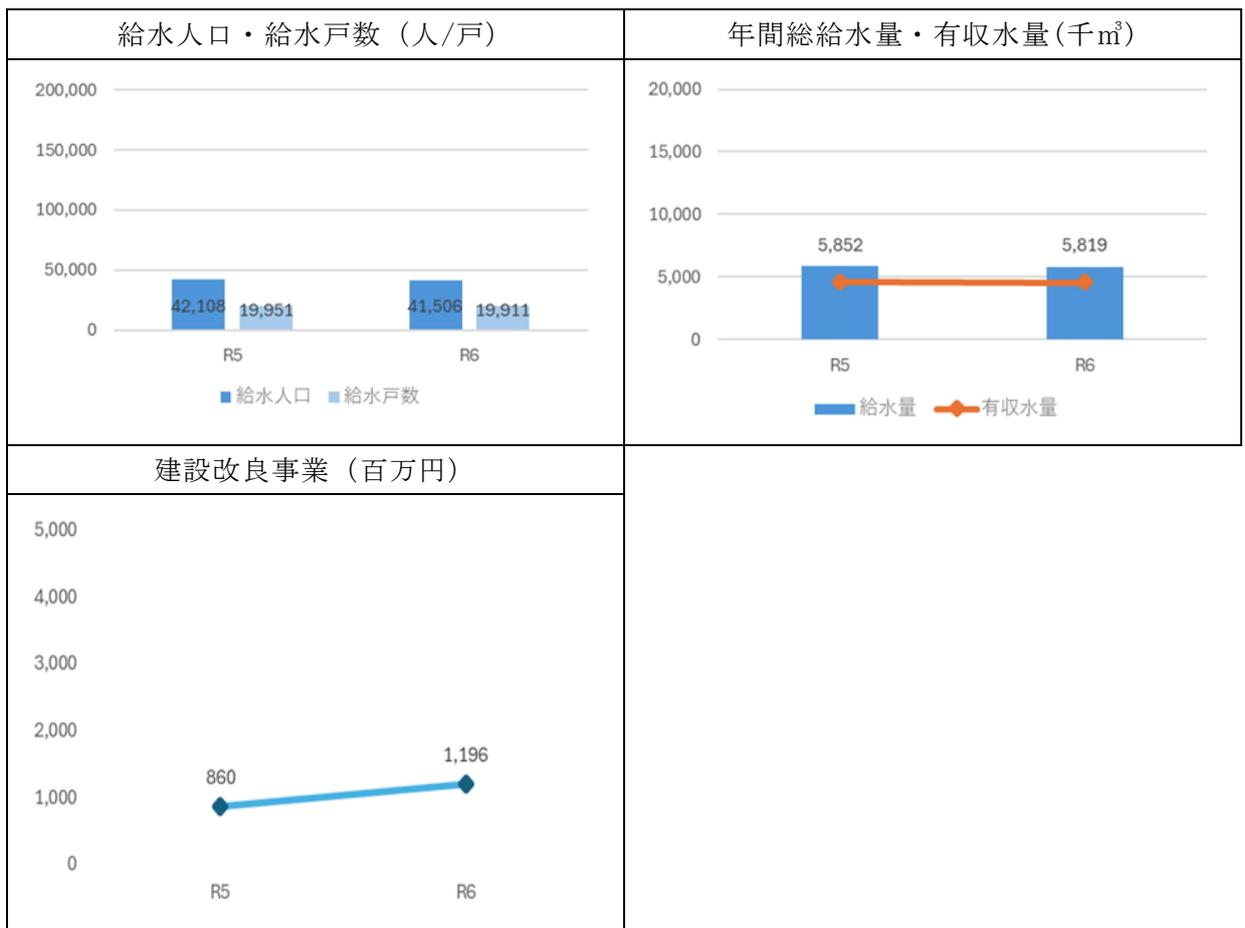
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は41,506人となり、前年度と比べて602人の減少となりました。

年間総給水量は5,819千 $m^3$ （1日平均15.9千 $m^3$ ）となり、給水人口の減少により、前年度と比べて33千 $m^3$ （1日平均0.1千 $m^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、寺戸浄水場非常用発電機更新工事など12.0億円を執行しており、前年度と比べて3.4億円の増加となりました。

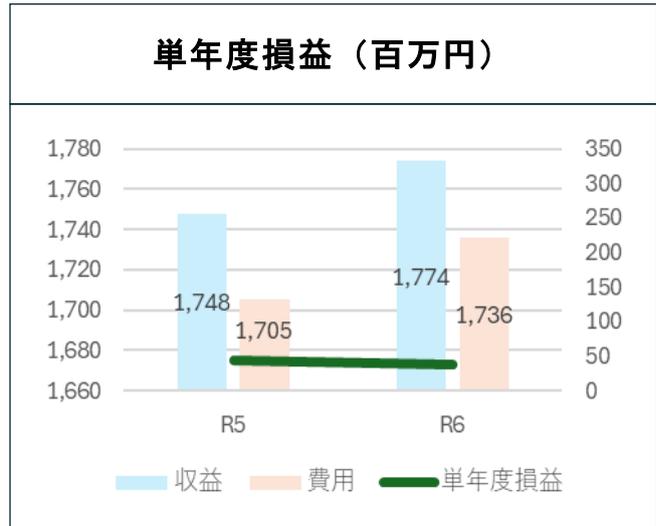
|                  | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|------------------|--------|--------|-------|
| 給水人口（人）          | 42,108 | 41,506 | ▲ 602 |
| 給水戸数（戸）          | 19,951 | 19,911 | ▲ 40  |
| 年間総給水量（千 $m^3$ ） | 5,852  | 5,819  | ▲ 33  |
| 有収水量（千 $m^3$ ）   | 4,601  | 4,569  | ▲ 32  |
| 建設改良事業（百万円）      | 860    | 1,196  | 336   |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は0.4億円の黒字となり、前年度と比べて4百万円の減少となりました。

主な要因は、令和5年12月に実施した水道料金の改定により給水収益が増加した一方、構成団体からの繰入金の減少などにより営業外収益が減少したことや物価上昇等による維持管理費が増加したことによるものです。



(単位:百万円, %)

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |         |
|--------------|---------------|---------------|--------|---------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A  |
| 営業収益 a       | 1,088         | 1,140         | 51     | 104.7   |
| うち給水収益       | 1,057         | 1,108         | 51     | 104.8   |
| 営業費用 b       | 1,658         | 1,690         | 32     | 101.9   |
| うち維持管理費      | 631           | 661           | 29     | 104.6   |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 570         | ▲ 550         | 20     | 96.6    |
| 営業外収益 d      | 659           | 635           | ▲ 24   | 96.3    |
| 営業外費用 e      | 47            | 44            | ▲ 3    | 94.5    |
| 経常損益 f=c+d-e | 42            | 40            | ▲ 2    | 95.2    |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | ▲ 0    | 皆減      |
| 特別損失 h       | 0             | 2             | 2      | 3,626.6 |
| 当年度純利益 f+g+h | 43            | 38            | ▲ 4    | 89.9    |
| (総収益) a+d+g  | 1,748         | 1,774         | 27     | 101.5   |
| (総費用) b+e+h  | 1,705         | 1,736         | 31     | 101.8   |

### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は244.8億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度と比べて、0.7億円の増加となりました。

負債は177.9億円となり、減価償却に伴う繰延収益の収益化により、0.8億円減少しました。

資本は66.8億円となり、構成団体からの出資金などにより、1.6億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 22,554        | 22,628        | 74     | 100.3  |
|         | うち有形固定資産 | 20,447        | 20,581        | 134    | 100.7  |
|         | うち無形固定資産 | 2,107         | 2,047         | ▲ 60   | 97.2   |
|         | 流動資産     | 1,844         | 1,847         | 3      | 100.2  |
|         | うち現金・預金  | 1,430         | 1,539         | 110    | 107.7  |
| 資産合計    |          | 24,398        | 24,475        | 77     | 100.3  |
| 負債の部    | 固定負債     | 8,499         | 8,498         | ▲ 1    | 100.0  |
|         | うち企業債    | 8,439         | 8,439         | ▲ 0    | 100.0  |
|         | 流動負債     | 920           | 961           | 41     | 104.4  |
|         | うち企業債    | 504           | 502           | ▲ 3    | 99.5   |
|         | 繰延収益     | 8,454         | 8,334         | ▲ 120  | 98.6   |
| 負債合計    |          | 17,872        | 17,792        | ▲ 80   | 99.6   |
| 資本の部    | 資本金      | 5,688         | 5,807         | 119    | 102.1  |
|         | うち繰入資本金  | 3,554         | 3,673         | 119    | 103.3  |
|         | うち組入資本金  | 2,097         | 2,097         | 0      | 100.0  |
|         | 剰余金      | 838           | 876           | 38     | 104.6  |
|         | うち利益剰余金  | 804           | 843           | 38     | 104.8  |
| 資本合計    |          | 6,526         | 6,683         | 157    | 102.4  |
| 負債・資本合計 |          | 24,398        | 24,475        | 77     | 100.3  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により5.1億円のプラス、建設工事などの投資活動により5.2億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により1.2億円のプラスとなりました。

年度末の資金残高は15.4億円で、1.1億円のプラスとなりました。

キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |          |
|-----------|---------------|---------------|--------|----------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A   |
| 業務活動によるCF | 723           | 509           | ▲ 215  | 70.33    |
| うち当年度純利益  | 43            | 38            | ▲ 4    | 89.90    |
| うち減価償却費   | 1,023         | 1,020         | ▲ 2    | 99.76    |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 403         | ▲ 381         | 23     | 94.40    |
| 投資活動によるCF | ▲ 512         | ▲ 515         | ▲ 3    | 100.67   |
| うち建設改良費   | ▲ 588         | ▲ 1,014       | ▲ 426  | 172.39   |
| うち国庫補助金   | 76            | 361           | 284    | 472.66   |
| 財務活動によるCF | ▲ 46          | 116           | 162    | ▲ 250.35 |
| うち企業債発行   | 392           | 502           | 110    | 128.08   |
| うち企業債償還金  | ▲ 508         | ▲ 504         | 4      | 99.24    |
| うち一般会計出資金 | 70            | 119           | 49     | 169.13   |
| 資金増減額     | 165           | 110           | ▲ 56   | 66.36    |
| 資金期首残高    | 1,265         | 1,430         | 165    | 113.06   |
| 資金期末残高    | 1,430         | 1,539         | 110    | 107.66   |

## 5 経営指標

経常収支比率は 102.3% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は 81.9% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を下回っており、構成団体からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

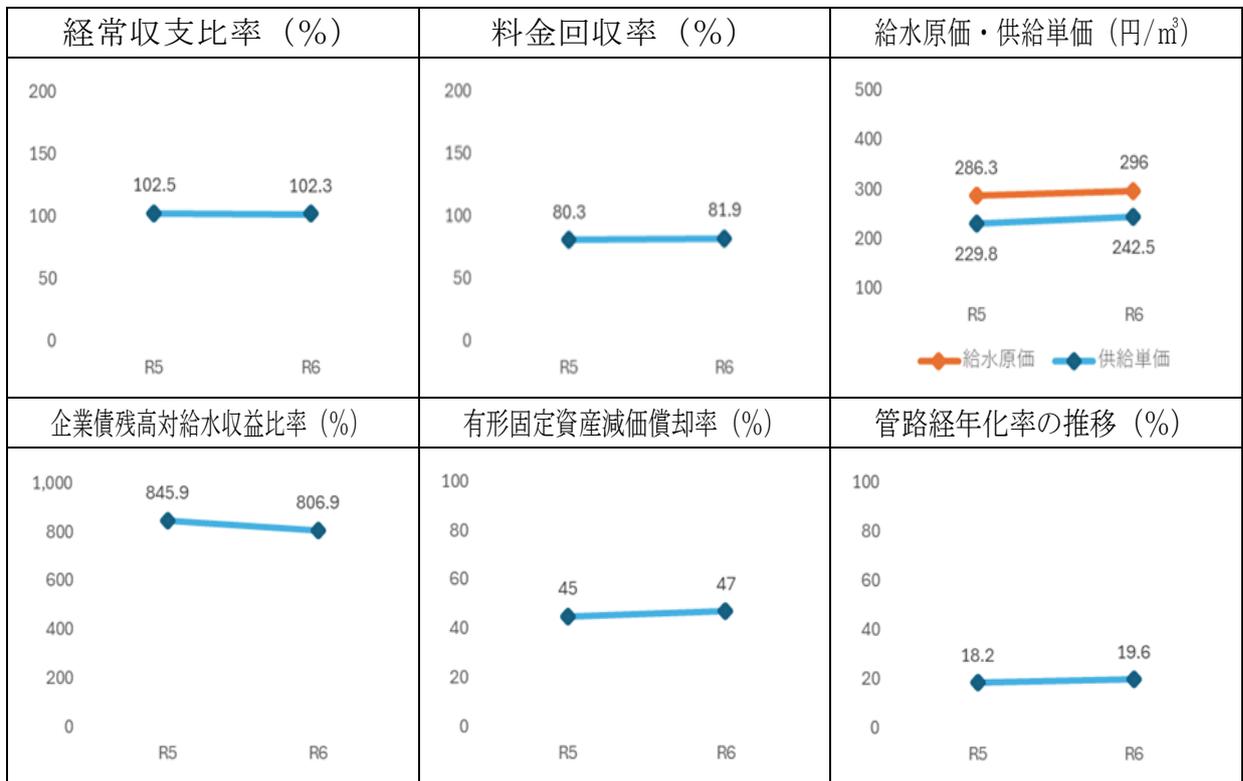
給水原価は 296.0 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。供給単価は 242.5 円で、給水収益の増加により、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は 806.9% で、給水収益の増加により、減少しています。

有形固定資産減価償却率は 47.0% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 19.6% で、市町水道事業全体の比率と比べて低いものの、今後、更新需要のピークを迎える見込みです。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減     |
|------------------|---------|---------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 102.5   | 102.3   | ▲ 0.2  |
| 料金回収率 (%)        | 80.3    | 81.9    | 1.6    |
| 給水原価 (円)         | 286.3   | 296.0   | 9.7    |
| 供給単価 (円)         | 229.8   | 242.5   | 12.7   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 845.9   | 806.9   | ▲ 39.0 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 45.0    | 47.0    | 2.0    |
| 管路経年化率 (%)       | 18.2    | 19.6    | 1.4    |



## ■庄原市水道事業

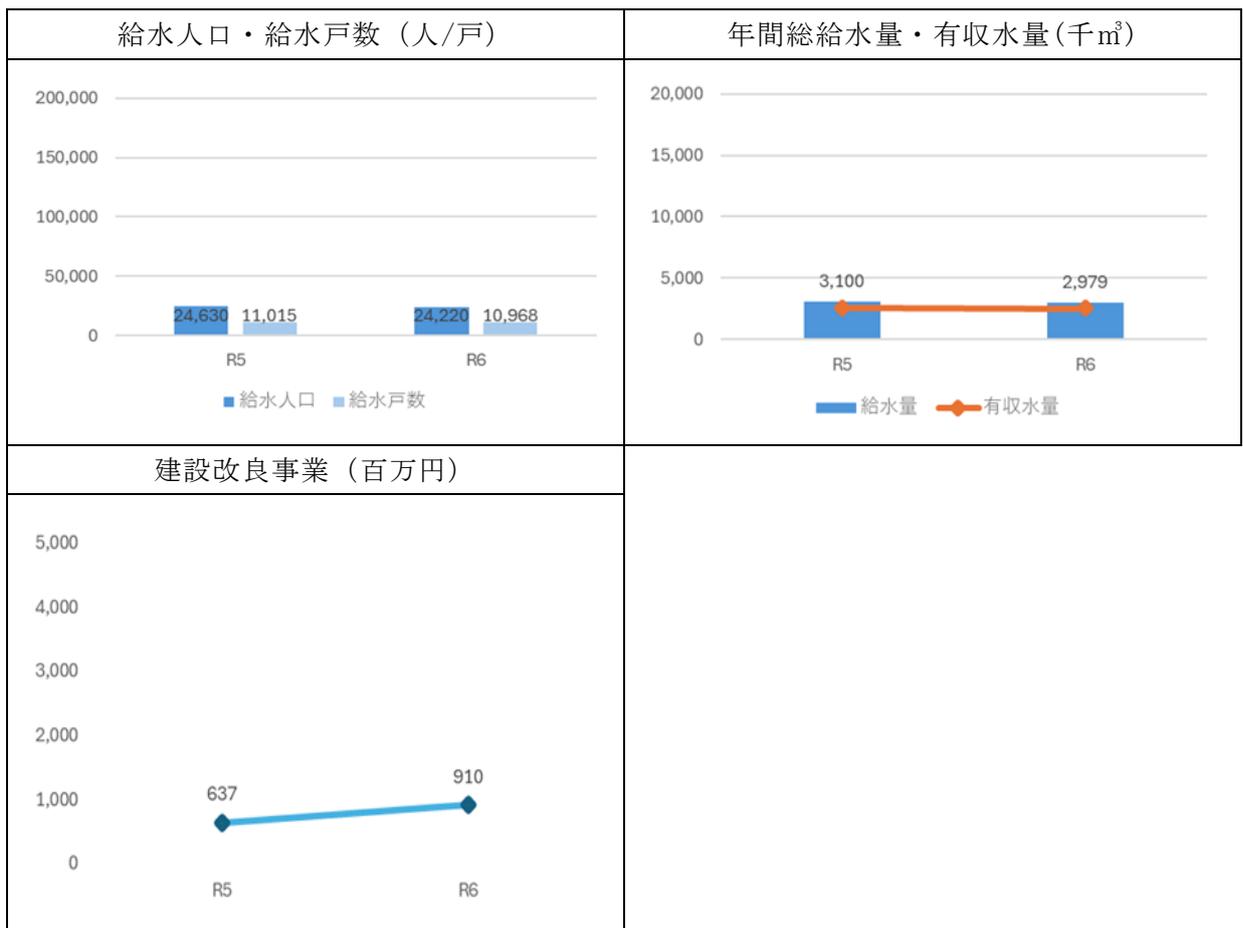
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は24,220人となり、前年度と比べて410人の減少となりました。

年間総給水量は2,979千 $\text{m}^3$ （1日平均8.2千 $\text{m}^3$ ）となり、給水人口の減少により、前年度と比べて121千 $\text{m}^3$ （1日平均0.3千 $\text{m}^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、比和浄水場浄水池更新工事など9.1億円を執行しており、前年度と比べて2.7億円の増加となりました。

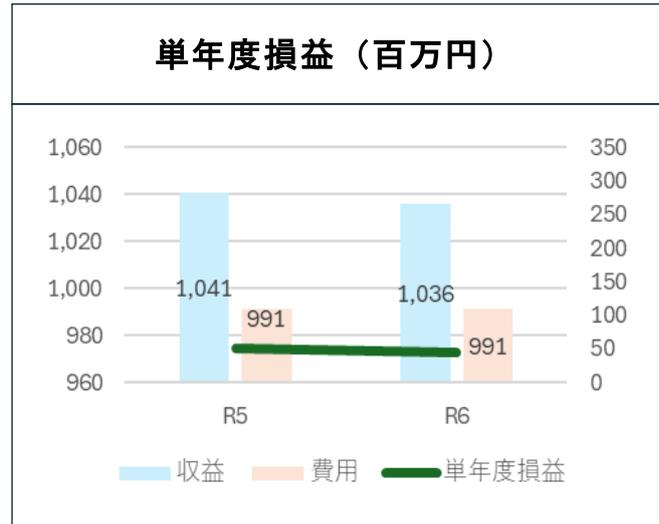
|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 給水人口（人）                 | 24,630 | 24,220 | ▲ 410 |
| 給水戸数（戸）                 | 11,015 | 10,968 | ▲ 47  |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 3,100  | 2,979  | ▲ 121 |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 2,604  | 2,591  | ▲ 13  |
| 建設改良事業（百万円）             | 637    | 910    | 273   |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は0.5億円の黒字となり、前年度と比べて5百万円の減少となりました。

主な要因は、構成団体からの繰入金の減少などにより営業外収益が減少したためです。



（単位：百万円，％）

| 区分      | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益    | 616           | 616           | ▲ 0    | 100.0  |
| うち給水収益  | 602           | 601           | ▲ 1    | 99.8   |
| 営業費用    | 938           | 943           | 5      | 100.6  |
| うち維持管理費 | 400           | 389           | ▲ 10   | 97.4   |
| 営業損益    | ▲ 322         | ▲ 327         | ▲ 5    | 101.7  |
| 営業外収益   | 425           | 420           | ▲ 5    | 98.8   |
| 営業外費用   | 53            | 47            | ▲ 5    | 89.6   |
| 経常損益    | 51            | 45            | ▲ 5    | 89.6   |
| 特別利益    | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失    | 0             | 0             | 0      | —      |
| 当年度純利益  | 51            | 45            | ▲ 5    | 89.6   |
| （総収益）   | 1,041         | 1,036         | ▲ 6    | 99.5   |
| （総費用）   | 991           | 991           | ▲ 0    | 100.0  |

## 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は、149.3億円となり、建設改良事業の実施による現金・預金の減少などにより、前年度と比べて、1.9億円の減少となりました。

負債は85.6億円となり、企業債の償還などにより、3.7億円減少しました。

資本は63.6億円となり、構成団体からの出資金などにより、1.7億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

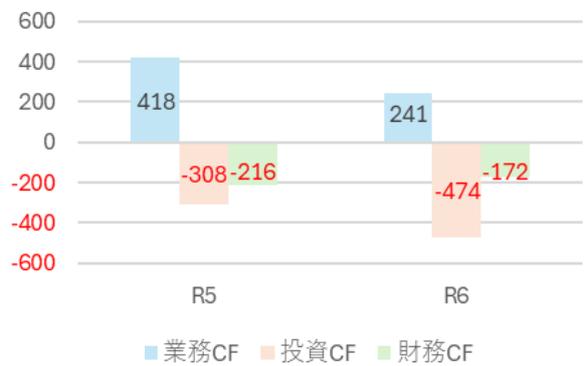
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 13,460        | 13,746        | 286    | 102.1  |
|         | うち有形固定資産 | 11,664        | 11,993        | 329    | 102.8  |
|         | うち無形固定資産 | 1,797         | 1,754         | ▲ 43   | 97.6   |
|         | 流動資産     | 1,660         | 1,180         | ▲ 481  | 71.1   |
|         | うち現金・預金  | 1,538         | 1,133         | ▲ 405  | 73.7   |
| 資産合計    |          | 15,121        | 14,926        | ▲ 194  | 98.7   |
| 負債の部    | 固定負債     | 2,928         | 2,640         | ▲ 287  | 90.2   |
|         | うち企業債    | 2,925         | 2,638         | ▲ 287  | 90.2   |
|         | 流動負債     | 614           | 452           | ▲ 162  | 73.6   |
|         | うち企業債    | 299           | 287           | ▲ 12   | 95.9   |
|         | 繰延収益     | 5,387         | 5,470         | 83     | 101.5  |
| 負債合計    |          | 8,929         | 8,562         | ▲ 367  | 95.9   |
| 資本の部    | 資本金      | 2,900         | 3,229         | 329    | 111.4  |
|         | うち繰入資本金  | 358           | 485           | 127    | 135.5  |
|         | うち組入資本金  | 359           | 561           | 202    | 156.4  |
|         | 剰余金      | 3,293         | 3,136         | ▲ 157  | 95.2   |
|         | うち利益剰余金  | 2,666         | 2,509         | ▲ 157  | 94.1   |
| 資本合計    |          | 6,192         | 6,364         | 172    | 102.8  |
| 負債・資本合計 |          | 15,121        | 14,926        | ▲ 194  | 98.7   |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により2.4億円のプラス、建設工事などの投資活動により4.7億円のマイナス、企業債償還などの財務活動により1.7億円のマイナスとなりました。

年度末の資金残高は11.3億円で、4.0億円のマイナスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



(単位:百万円, %)

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|-----------|---------------|---------------|--------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 418           | 241           | ▲ 177  | 57.69  |
| うち当年度純利益  | 51            | 45            | ▲ 5    | 89.64  |
| うち減価償却費   | 524           | 537           | 13     | 102.51 |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 285         | ▲ 260         | 25     | 91.16  |
| 投資活動によるCF | ▲ 308         | ▲ 474         | ▲ 166  | 154.12 |
| うち建設改良費   | ▲ 542         | ▲ 913         | ▲ 371  | 168.51 |
| うち国庫補助金   | 84            | 309           | 225    | 368.56 |
| 財務活動によるCF | ▲ 216         | ▲ 172         | 44     | 79.74  |
| うち企業債発行   | 61            | 0             | ▲ 61   | 皆減     |
| うち企業債償還金  | ▲ 307         | ▲ 299         | 9      | 97.21  |
| うち一般会計出資金 | 31            | 127           | 96     | 409.35 |
| 資金増減額     | ▲ 105         | ▲ 405         | ▲ 300  | 385.76 |
| 資金期首残高    | 1,643         | 1,538         | ▲ 105  | 93.62  |
| 資金期末残高    | 1,538         | 1,133         | ▲ 405  | 73.69  |

## 5 経営指標

経常収支比率は104.6%で、健全経営の水準となる100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は82.2%で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる100%を下回っており、構成団体からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

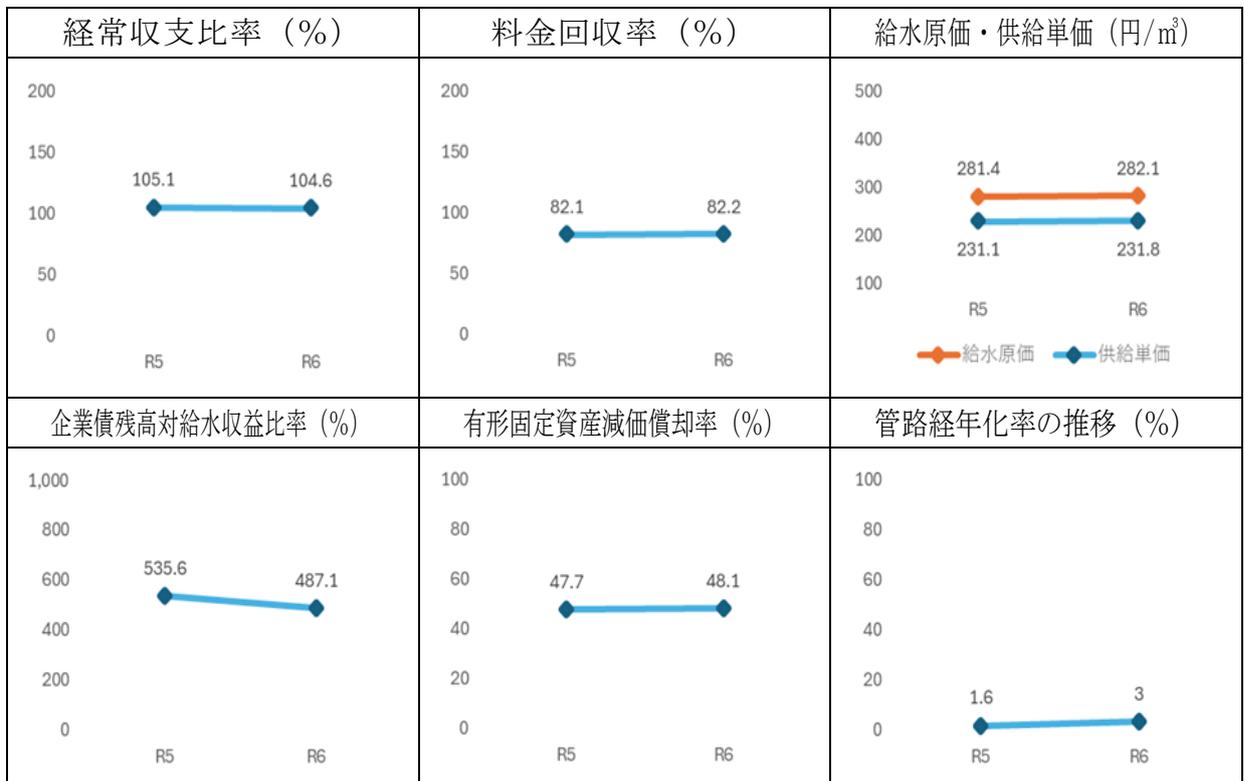
給水原価は282.1円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。供給単価は231.8円で、前年度と同程度の水準となっています。

企業債残高対給水収益比率は487.1%で、企業債の償還により減少しています。

有形固定資産減価償却率は48.1%で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は3.0%で、管路の多くが昭和末期から平成初期に布設されており、今後、更新需要のピークを迎える見込みです。

|                  | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減     |
|------------------|-------|-------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 105.1 | 104.6 | ▲ 0.5  |
| 料金回収率 (%)        | 82.1  | 82.2  | 0.1    |
| 給水原価 (円)         | 281.4 | 282.1 | 0.7    |
| 供給単価 (円)         | 231.1 | 231.8 | 0.7    |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 535.6 | 487.1 | ▲ 48.5 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 47.7  | 48.1  | 0.4    |
| 管路経年化率 (%)       | 1.6   | 3.0   | 1.4    |



## ■東広島市水道事業

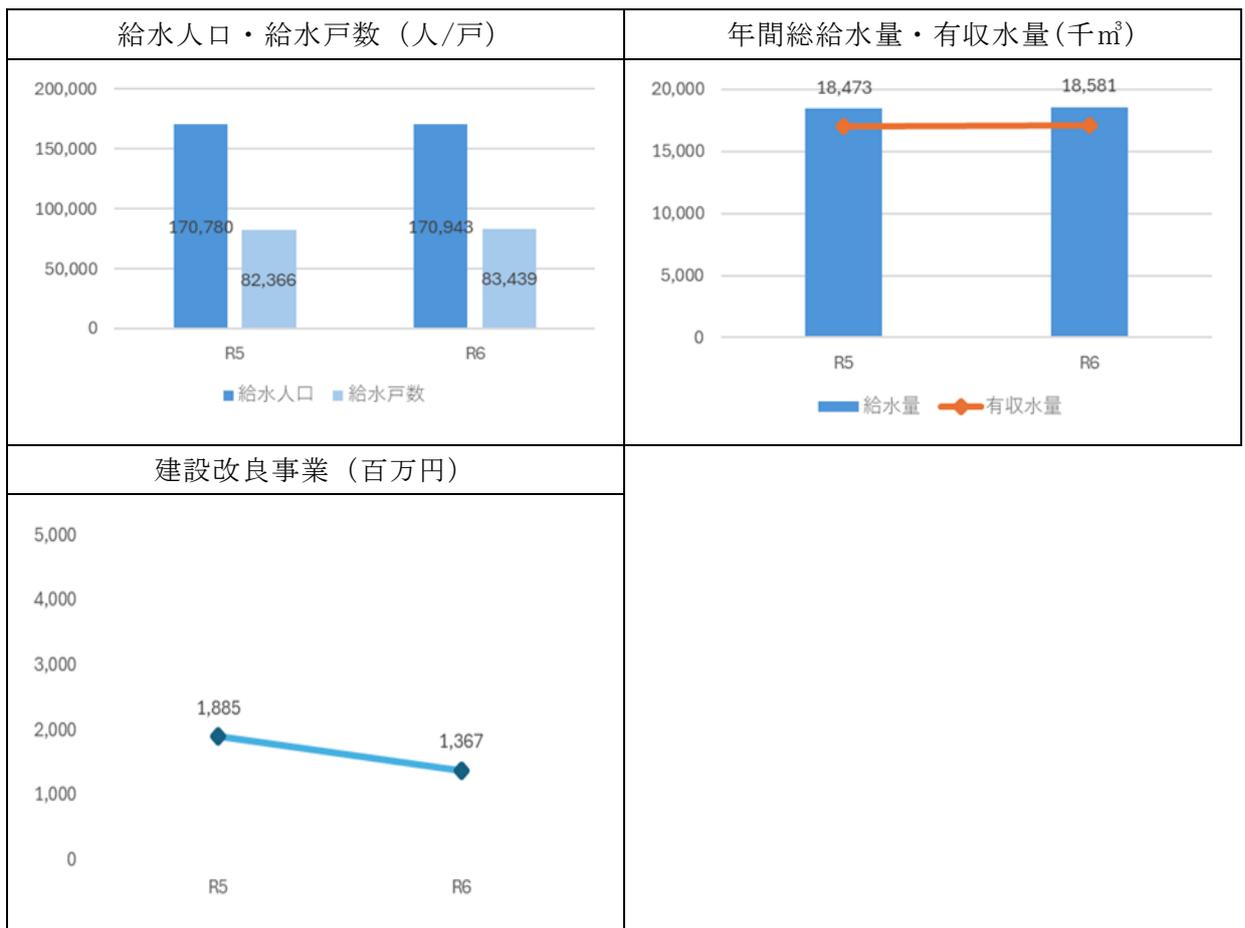
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は170,943人となり、前年度と比べて163人の増加となりました。

年間総給水量は18,581千 $\text{m}^3$ （1日平均50.9千 $\text{m}^3$ ）となり、給水人口の増加により、前年度と比べて108千 $\text{m}^3$ （1日平均0.3千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、高屋高区ポンプ所設備更新工事など13.7億円を執行しており、前年度と比べて5.2億円の減少となりました。

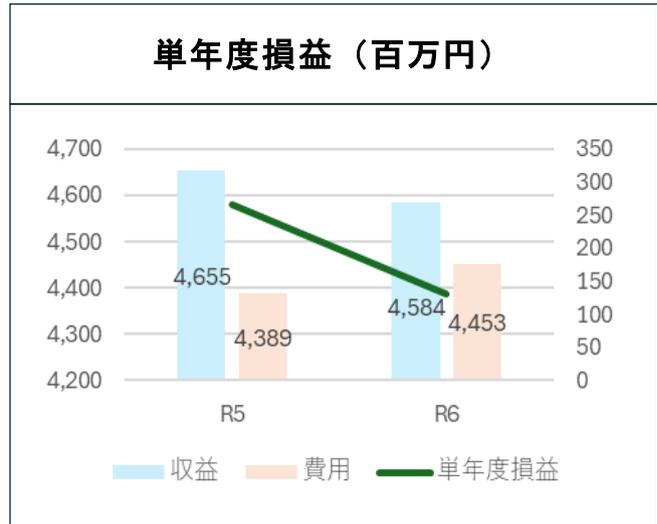
|                         | 令和5年度   | 令和6年度   | 増減    |
|-------------------------|---------|---------|-------|
| 給水人口（人）                 | 170,780 | 170,943 | 163   |
| 給水戸数（戸）                 | 82,366  | 83,439  | 1,073 |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 18,473  | 18,581  | 108   |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 16,982  | 17,105  | 123   |
| 建設改良事業（百万円）             | 1,885   | 1,367   | ▲ 518 |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は、1.3億円の黒字となり、前年度と比べて1.4億円の減少となりました。

主な要因は、前年度に引当金の取崩により計上した特別利益の皆減によるものです。



（単位：百万円，％）

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 4,011         | 4,044         | 33     | 100.8  |
| うち給水収益       | 3,927         | 3,951         | 24     | 100.6  |
| 営業費用 b       | 4,323         | 4,390         | 67     | 101.5  |
| うち維持管理費      | 3,311         | 3,311         | ▲ 1    | 100.0  |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 312         | ▲ 346         | ▲ 34   | 110.9  |
| 営業外収益 d      | 536           | 540           | 4      | 100.8  |
| 営業外費用 e      | 62            | 64            | 2      | 102.9  |
| 経常損益 f=c+d-e | 162           | 130           | ▲ 31   | 80.6   |
| 特別利益 g       | 108           | 0             | ▲ 108  | 皆減     |
| 特別損失 h       | 4             | 0             | ▲ 4    | 皆減     |
| 当年度純利益 f+g+h | 266           | 130           | ▲ 135  | 49.1   |
| (総収益) a+d+g  | 4,655         | 4,584         | ▲ 71   | 98.5   |
| (総費用) b+e+h  | 4,389         | 4,453         | 65     | 101.5  |

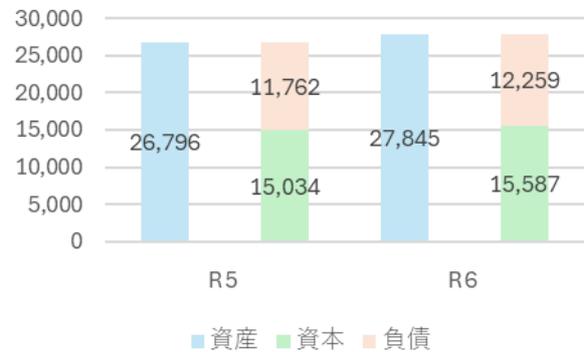
### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は278.5億円となり、業務活動による現金・預金の増加などにより、10.5億円増加しました。

負債は122.6億円となり、下水道使用料の預り金による流動負債の増加などにより、5.0億円増加しました。

資本は155.9億円となり、構成団体からの出資金などにより、5.5億円増加しました。

#### 年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

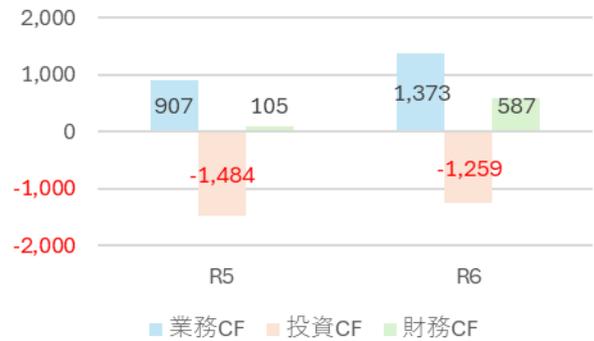
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 23,864        | 24,193        | 329    | 101.4  |
|         | うち有形固定資産 | 23,825        | 24,163        | 337    | 101.4  |
|         | うち無形固定資産 | 38            | 30            | ▲ 8    | 78.7   |
|         | 流動資産     | 2,933         | 3,652         | 719    | 124.5  |
|         | うち現金・預金  | 2,310         | 3,010         | 700    | 130.3  |
| 資産合計    |          | 26,796        | 27,845        | 1,049  | 103.9  |
| 負債の部    | 固定負債     | 3,605         | 3,833         | 228    | 106.3  |
|         | うち企業債    | 3,274         | 3,471         | 197    | 106.0  |
|         | 流動負債     | 1,515         | 1,843         | 329    | 121.7  |
|         | うち企業債    | 381           | 349           | ▲ 32   | 91.5   |
|         | 繰延収益     | 6,643         | 6,582         | ▲ 61   | 99.1   |
| 負債合計    |          | 11,762        | 12,259        | 496    | 104.2  |
| 資本の部    | 資本金      | 13,660        | 14,082        | 422    | 103.1  |
|         | うち繰入資本金  | 3,251         | 3,673         | 422    | 113.0  |
|         | うち組入資本金  | 9,097         | 9,097         | 0      | 100.0  |
|         | 剰余金      | 1,374         | 1,504         | 130    | 109.5  |
|         | うち利益剰余金  | 650           | 781           | 130    | 120.1  |
| 資本合計    |          | 15,034        | 15,587        | 553    | 103.7  |
| 負債・資本合計 |          | 26,796        | 27,845        | 1,049  | 103.9  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により13.7億円のプラス、建設工事などの投資活動により12.6億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により5.9億円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は30.1億円で、7.0億円のプラスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |          |
|-----------|---------------|---------------|--------|----------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A   |
| 業務活動によるCF | 907           | 1,373         | 465    | 151.29   |
| うち当年度純利益  | 266           | 130           | ▲ 135  | 49.06    |
| うち減価償却費   | 976           | 1,025         | 49     | 105.03   |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 344         | ▲ 342         | 1      | 99.68    |
| 投資活動によるCF | ▲ 1,484       | ▲ 1,259       | 225    | 84.86    |
| うち建設改良費   | ▲ 1,589       | ▲ 1,447       | 142    | 91.06    |
| うち国庫補助金   | 0             | 23            | 23     | 皆増       |
| 財務活動によるCF | 105           | 587           | 481    | 557.69   |
| うち企業債発行   | 492           | 546           | 54     | 110.91   |
| うち企業債償還金  | ▲ 387         | ▲ 381         | 6      | 98.52    |
| うち一般会計出資金 | 0             | 422           | 422    | 皆増       |
| 資金増減額     | ▲ 471         | 700           | 1,171  | ▲ 148.49 |
| 資金期首残高    | 2,781         | 2,310         | ▲ 471  | 83.05    |
| 資金期末残高    | 2,310         | 3,010         | 700    | 130.31   |

## 5 経営指標

経常収支比率は 102.9% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は 96.1% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を下回っており、加入分担金など、営業外収益に依存している状況となっています。

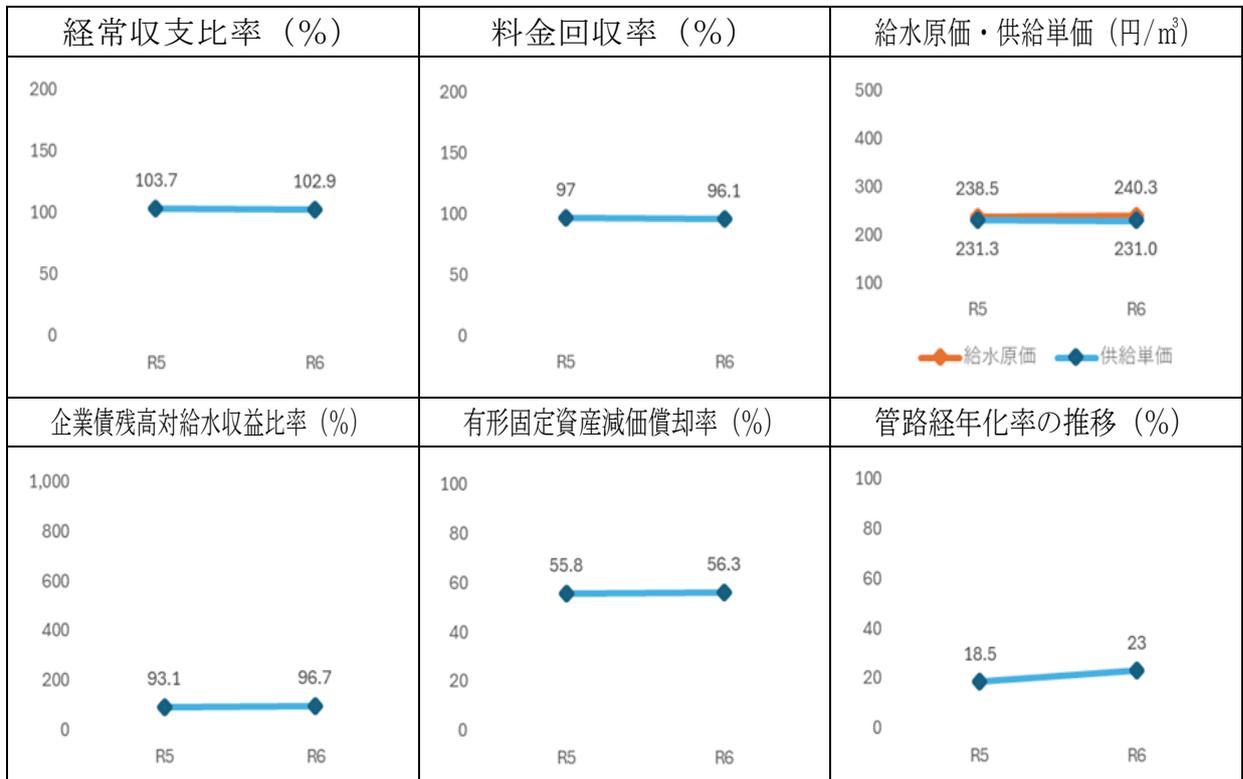
給水原価は 240.3 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。供給単価は 231.0 円で、前年度と同程度の水準となっています。

企業債残高対給水収益比率は 96.7% で、施設の更新などの建設改良事業の実施により増加傾向にあります。

有形固定資産減価償却率は 56.3% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 23.0% で、昭和 50 年代に整備した管路の老朽化が進行しています。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減    |
|------------------|---------|---------|-------|
| 経常収支比率 (%)       | 103.7   | 102.9   | ▲ 0.8 |
| 料金回収率 (%)        | 97.0    | 96.1    | ▲ 0.9 |
| 給水原価 (円)         | 238.5   | 240.3   | 1.8   |
| 供給単価 (円)         | 231.3   | 231.0   | ▲ 0.3 |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 93.1    | 96.7    | 3.6   |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 55.8    | 56.3    | 0.5   |
| 管路経年化率 (%)       | 18.5    | 23.0    | 4.5   |



## ■廿日市市水道事業

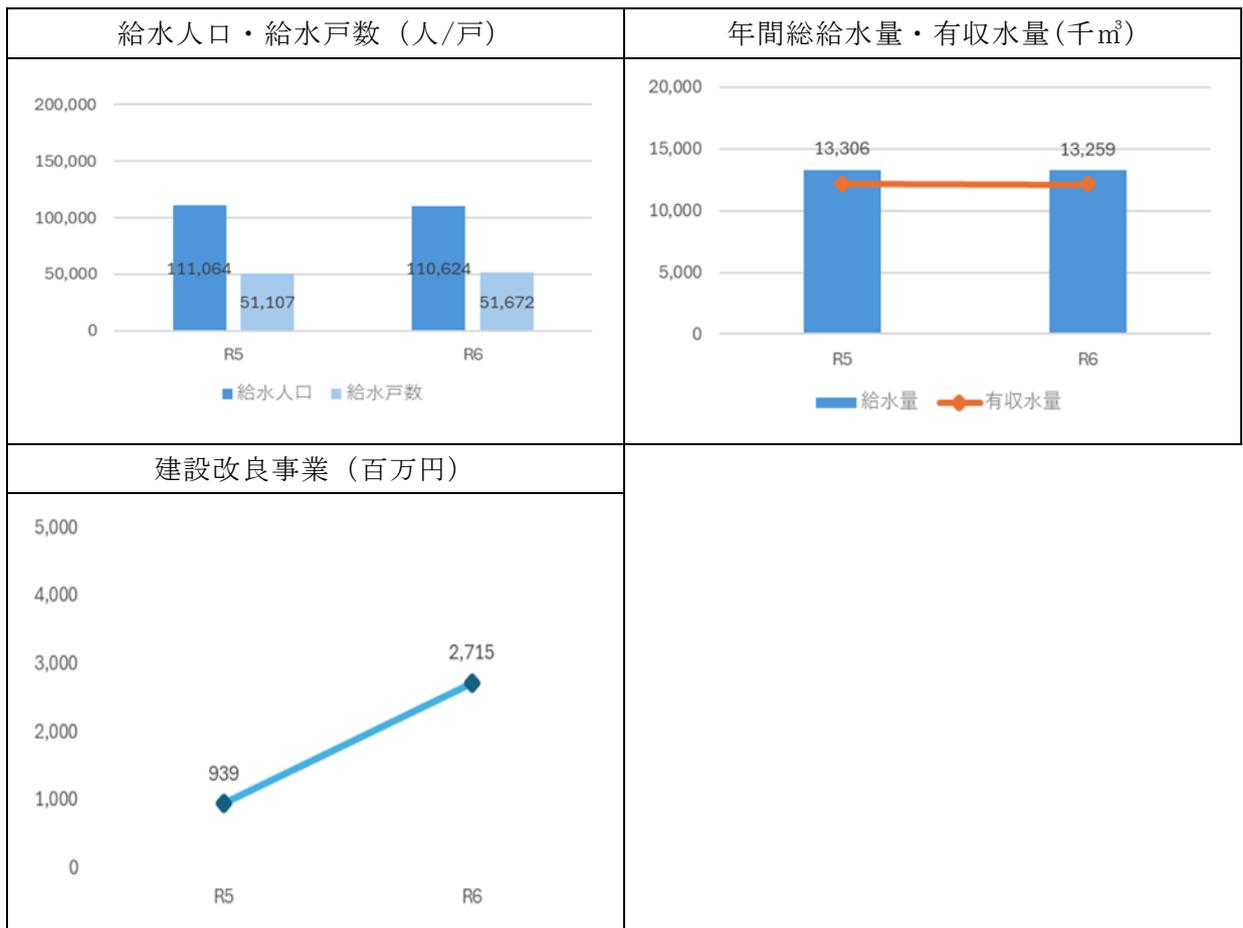
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は110,624人となり、前年度と比べて440人の減少となりました。

年間総給水量は13,259千 $m^3$ （1日平均36.3千 $m^3$ ）となり、給水人口の減少により、前年度と比べて47千 $m^3$ （1日平均0.1千 $m^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、宮島海底送水管整備工事など27.1億円を執行しており、前年度と比べて17.8億円の増加となりました。

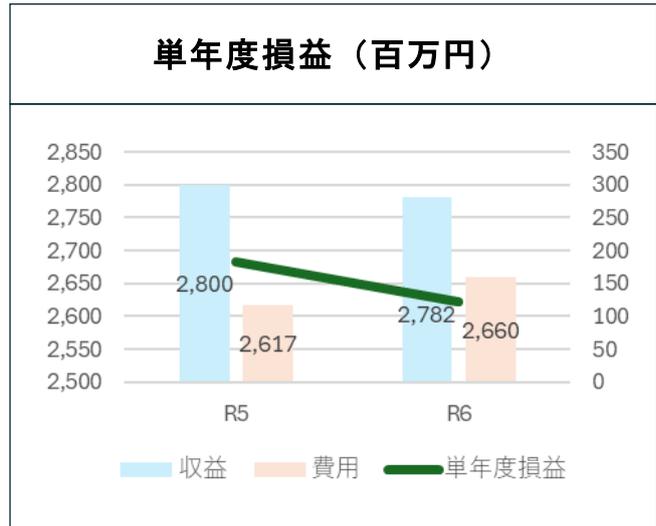
|                  | 令和5年度   | 令和6年度   | 増減    |
|------------------|---------|---------|-------|
| 給水人口（人）          | 111,064 | 110,624 | ▲ 440 |
| 給水戸数（戸）          | 51,107  | 51,672  | 565   |
| 年間総給水量（千 $m^3$ ） | 13,306  | 13,259  | ▲ 47  |
| 有収水量（千 $m^3$ ）   | 12,173  | 12,160  | ▲ 13  |
| 建設改良事業（百万円）      | 939     | 2,715   | 1,776 |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は1.2億円の黒字となり、前年度と比べて、0.6億円の減少となりました。

主な要因は、物価上昇等により維持管理費が増加するとともに、構成団体からの繰入金の減少などにより営業外収益が減少したためです。



(単位:百万円, %)

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 2,227         | 2,239         | 11     | 100.5  |
| うち給水収益       | 2,155         | 2,158         | 3      | 100.1  |
| 営業費用 b       | 2,581         | 2,625         | 44     | 101.7  |
| うち維持管理費      | 1,691         | 1,726         | 35     | 102.1  |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 354         | ▲ 386         | ▲ 32   | 109.2  |
| 営業外収益 d      | 573           | 543           | ▲ 30   | 94.8   |
| 営業外費用 e      | 35            | 35            | ▲ 1    | 98.4   |
| 経常損益 f=c+d-e | 184           | 122           | ▲ 62   | 66.4   |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失 h       | 1             | 0             | ▲ 1    | 皆減     |
| 当年度純利益 f+g+h | 183           | 122           | ▲ 61   | 66.6   |
| (総収益) a+d+g  | 2,800         | 2,782         | ▲ 19   | 99.3   |
| (総費用) b+e+h  | 2,617         | 2,660         | 43     | 101.6  |

### 3 貸借対照表

令和6年度末の資産は256.1億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度と比べて13.0億円の増加となりました。

負債は119.7億円となり、国庫補助金収入による繰延収益の増加などにより、8.4億円の増加となりました。

資本は136.4億円となり、構成団体からの出資金などにより、4.7億円の増加となりました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

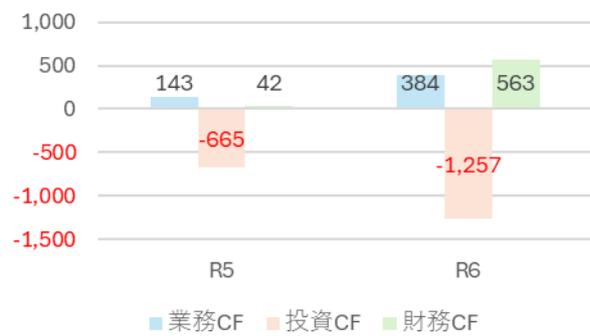
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 20,668        | 22,265        | 1,597  | 107.7  |
|         | うち有形固定資産 | 20,665        | 22,263        | 1,598  | 107.7  |
|         | うち無形固定資産 | 4             | 3             | ▲ 1    | 78.2   |
|         | 流動資産     | 3,637         | 3,343         | ▲ 294  | 91.9   |
|         | うち現金・預金  | 2,876         | 2,566         | ▲ 310  | 89.2   |
| 資産合計    |          | 24,305        | 25,609        | 1,303  | 105.4  |
| 負債の部    | 固定負債     | 4,476         | 4,684         | 208    | 104.7  |
|         | うち企業債    | 4,470         | 4,680         | 210    | 104.7  |
|         | 流動負債     | 1,042         | 1,355         | 313    | 130.0  |
|         | うち企業債    | 295           | 303           | 8      | 102.7  |
|         | 繰延収益     | 5,616         | 5,932         | 316    | 105.6  |
| 負債合計    |          | 11,134        | 11,970        | 837    | 107.5  |
| 資本の部    | 資本金      | 10,143        | 11,080        | 937    | 109.2  |
|         | うち繰入資本金  | 352           | 696           | 345    | 198.0  |
|         | うち組入資本金  | 8,497         | 9,090         | 593    | 107.0  |
|         | 剰余金      | 3,029         | 2,558         | ▲ 471  | 84.5   |
|         | うち利益剰余金  | 1,964         | 1,494         | ▲ 471  | 76.0   |
| 資本合計    |          | 13,171        | 13,638        | 467    | 103.5  |
| 負債・資本合計 |          | 24,305        | 25,609        | 1,303  | 105.4  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により3.8億円のプラス、建設工事などの投資活動により12.6億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により5.6億円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は25.7億円で、3.1億円のマイナスとなりました。

キャッシュフローの状況（百万円）



(単位:百万円, %)

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較   |          |
|-----------|---------------|---------------|---------|----------|
|           |               |               | 増減 B-A  | 比率 B/A   |
| 業務活動によるCF | 143           | 384           | 241     | 268.96   |
| うち当年度純利益  | 183           | 122           | ▲ 61    | 66.57    |
| うち減価償却費   | 867           | 883           | 16      | 101.87   |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 323         | ▲ 304         | 19      | 94.13    |
| 投資活動によるCF | ▲ 665         | ▲ 1,257       | ▲ 592   | 188.94   |
| うち建設改良費   | ▲ 745         | ▲ 2,088       | ▲ 1,343 | 280.32   |
| うち国庫補助金   | 26            | 583           | 557     | 2,215.32 |
| 財務活動によるCF | 42            | 563           | 521     | 1,331.80 |
| うち企業債発行   | 84            | 514           | 430     | 614.35   |
| うち企業債償還金  | ▲ 298         | ▲ 295         | 3       | 99.03    |
| うち一般会計出資金 | 257           | 345           | 88      | 134.11   |
| 資金増減額     | ▲ 480         | ▲ 310         | 170     | 64.54    |
| 資金期首残高    | 3,356         | 2,876         | ▲ 480   | 85.69    |
| 資金期末残高    | 2,876         | 2,566         | ▲ 310   | 89.22    |

## 5 経営指標

経常収支比率は 104.6%で、健全経営の水準となる 100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は 91.6%で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100%を下回っており、構成団体からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

給水原価は 193.7 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。

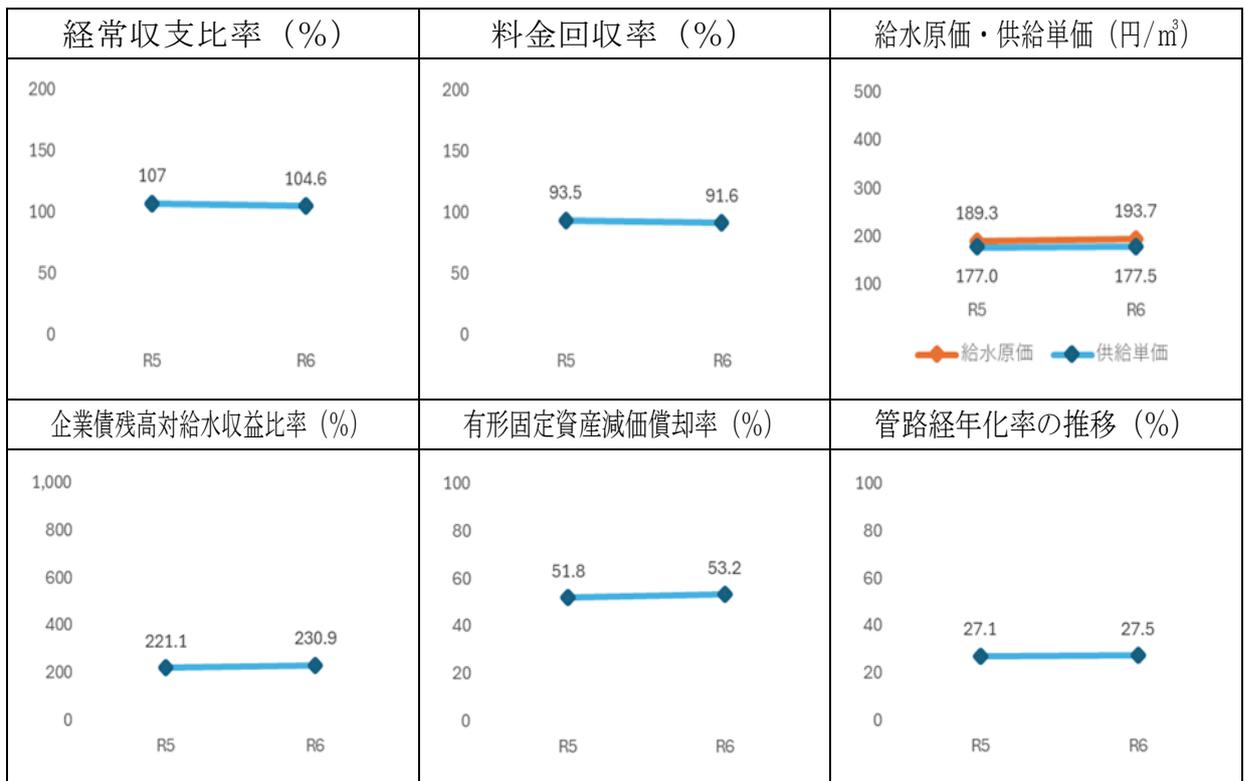
供給単価は 177.5 円で、前年度と同程度の水準となっています。

企業債残高対給水収益比率は 230.9%で、施設の再編整備などの建設改良事業の実施により、増加傾向にあります。

有形固定資産減価償却率は 53.2%で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 27.5%で、昭和 50 年代から行われた大規模開発に伴う管路の拡張事業に起因して管路の老朽化が進行しています。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減    |
|------------------|---------|---------|-------|
| 経常収支比率 (%)       | 107.0   | 104.6   | ▲ 2.4 |
| 料金回収率 (%)        | 93.5    | 91.6    | ▲ 1.9 |
| 給水原価 (円)         | 189.3   | 193.7   | 4.4   |
| 供給単価 (円)         | 177.0   | 177.5   | 0.5   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 221.1   | 230.9   | 9.8   |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 51.8    | 53.2    | 1.4   |
| 管路経年化率 (%)       | 27.1    | 27.5    | 0.4   |



## ■安芸高田市水道事業

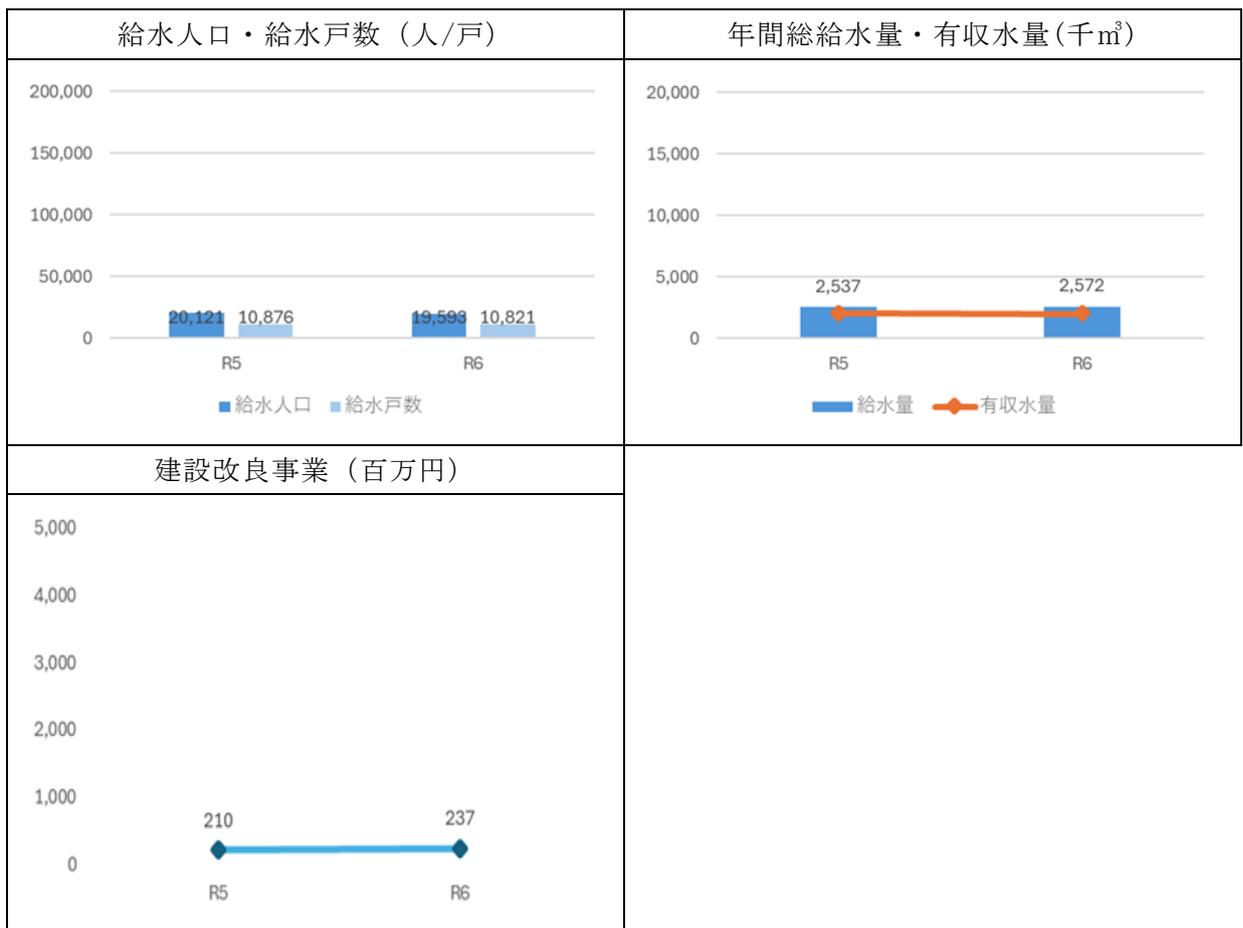
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は19,593人となり、前年度と比べて528人の減少となりました。

年間総給水量は2,572千 $\text{m}^3$ （1日平均7.0千 $\text{m}^3$ ）となり、前年度と比べて35千 $\text{m}^3$ （1日平均0.1千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、昭和橋添架配水管更新工事など2.4億円を執行しており、前年度と比べて0.3億円の増加となりました。

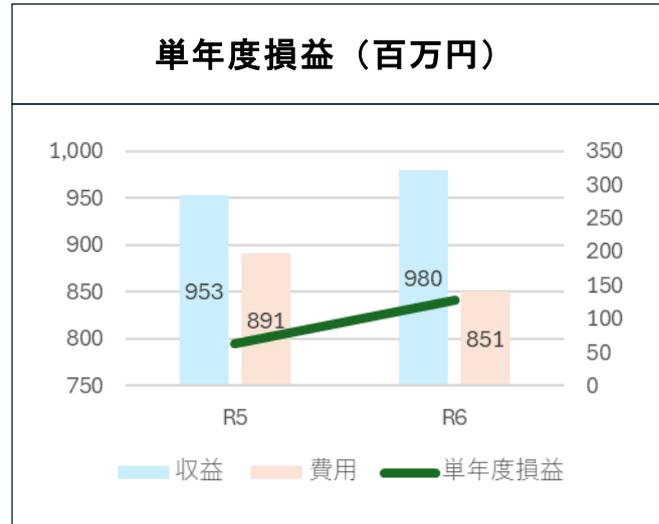
|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 給水人口（人）                 | 20,121 | 19,593 | ▲ 528 |
| 給水戸数（戸）                 | 10,876 | 10,821 | ▲ 55  |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 2,537  | 2,572  | 35    |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 2,065  | 2,039  | ▲ 26  |
| 建設改良事業（百万円）             | 210    | 237    | 27    |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は128百万円の黒字となり、前年度と比べて66百万円の増加となりました。

主な要因としては、令和5年10月に実施した水道料金の改定により給水収益が増加したことに加え、減価償却費が減少したためです。



（単位：百万円，％）

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 442           | 467           | 24     | 105.5  |
| うち給水収益       | 441           | 466           | 26     | 105.8  |
| 営業費用 b       | 837           | 803           | ▲ 34   | 95.9   |
| うち維持管理費      | 416           | 404           | ▲ 12   | 97.1   |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 395         | ▲ 336         | 59     | 85.1   |
| 営業外収益 d      | 511           | 513           | 2      | 100.5  |
| 営業外費用 e      | 53            | 49            | ▲ 5    | 91.0   |
| 経常損益 f=c+d-e | 62            | 128           | 66     | 206.2  |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | ▲ 0    | 皆減     |
| 当年度純利益 f+g+h | 62            | 128           | 66     | 206.7  |
| (総収益) a+d+g  | 953           | 980           | 27     | 102.8  |
| (総費用) b+e+h  | 891           | 851           | ▲ 39   | 95.6   |

## 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は98.4億円となり、減価償却による有形固定資産の減少などにより、前年度と比べて1.7億円減少しました。

負債は67.6億円となり、企業債の償還などにより、3.2億円減少しました。

資本は30.8億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加などにより、1.5億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

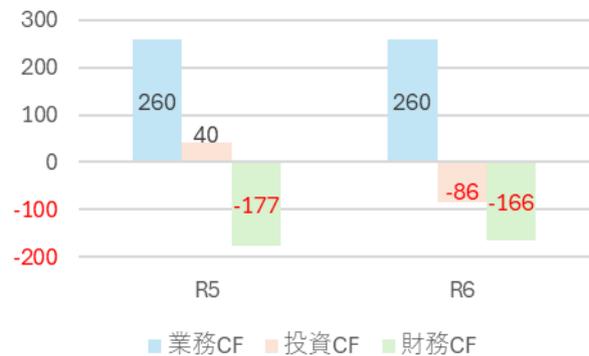
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 9,268         | 9,091         | ▲ 176  | 98.1   |
|         | うち有形固定資産 | 9,264         | 9,083         | ▲ 181  | 98.0   |
|         | うち無形固定資産 | 4             | 8             | 5      | 228.2  |
|         | 流動資産     | 745           | 747           | 3      | 100.4  |
|         | うち現金・預金  | 619           | 627           | 8      | 101.3  |
| 資産合計    |          | 10,012        | 9,838         | ▲ 174  | 98.3   |
| 負債の部    | 固定負債     | 3,216         | 3,038         | ▲ 178  | 94.5   |
|         | うち企業債    | 3,214         | 3,037         | ▲ 177  | 94.5   |
|         | 流動負債     | 628           | 554           | ▲ 74   | 88.2   |
|         | うち企業債    | 305           | 301           | ▲ 5    | 98.5   |
|         | 繰延収益     | 3,238         | 3,168         | ▲ 70   | 97.8   |
| 負債合計    |          | 7,082         | 6,760         | ▲ 322  | 95.5   |
| 資本の部    | 資本金      | 2,333         | 2,368         | 35     | 101.5  |
|         | うち繰入資本金  | 263           | 279           | 16     | 106.0  |
|         | うち組入資本金  | 393           | 413           | 20     | 105.0  |
|         | 剰余金      | 597           | 710           | 113    | 118.9  |
|         | うち利益剰余金  | 403           | 512           | 109    | 127.0  |
| 資本合計    |          | 2,930         | 3,078         | 148    | 105.1  |
| 負債・資本合計 |          | 10,012        | 9,838         | ▲ 174  | 98.3   |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により2.6億円のプラス、建設工事などの投資活動により0.9億円のマイナス、企業債償還などの財務活動により1.7億円のマイナスとなりました。

年度末時点の資金残高は6.3億円で、8百万円のプラスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |          |
|-----------|---------------|---------------|--------|----------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A   |
| 業務活動によるCF | 260           | 260           | ▲ 1    | 99.75    |
| うち当年度純利益  | 62            | 128           | 66     | 206.71   |
| うち減価償却費   | 414           | 397           | ▲ 17   | 95.84    |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 141         | ▲ 129         | 13     | 91.02    |
| 投資活動によるCF | 40            | ▲ 86          | ▲ 126  | ▲ 213.77 |
| うち建設改良費   | ▲ 99          | ▲ 254         | ▲ 155  | 255.59   |
| うち国庫補助金   | 32            | 71            | 39     | 223.57   |
| 財務活動によるCF | ▲ 177         | ▲ 166         | 11     | 93.97    |
| うち企業債発行   | 134           | 123           | ▲ 11   | 91.88    |
| うち企業債償還金  | ▲ 318         | ▲ 305         | 12     | 96.08    |
| うち一般会計出資金 | 7             | 16            | 9      | 237.86   |
| 資金増減額     | 123           | 8             | ▲ 116  | 6.31     |
| 資金期首残高    | 495           | 619           | 123    | 124.89   |
| 資金期末残高    | 619           | 627           | 8      | 101.26   |

## 5 経営指標

経常収支比率は115.1%で、健全経営の水準となる100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は64.5%で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる100%を下回っており、構成団体からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

給水原価は354.6円で、減価償却費の減少により、抑制されています。

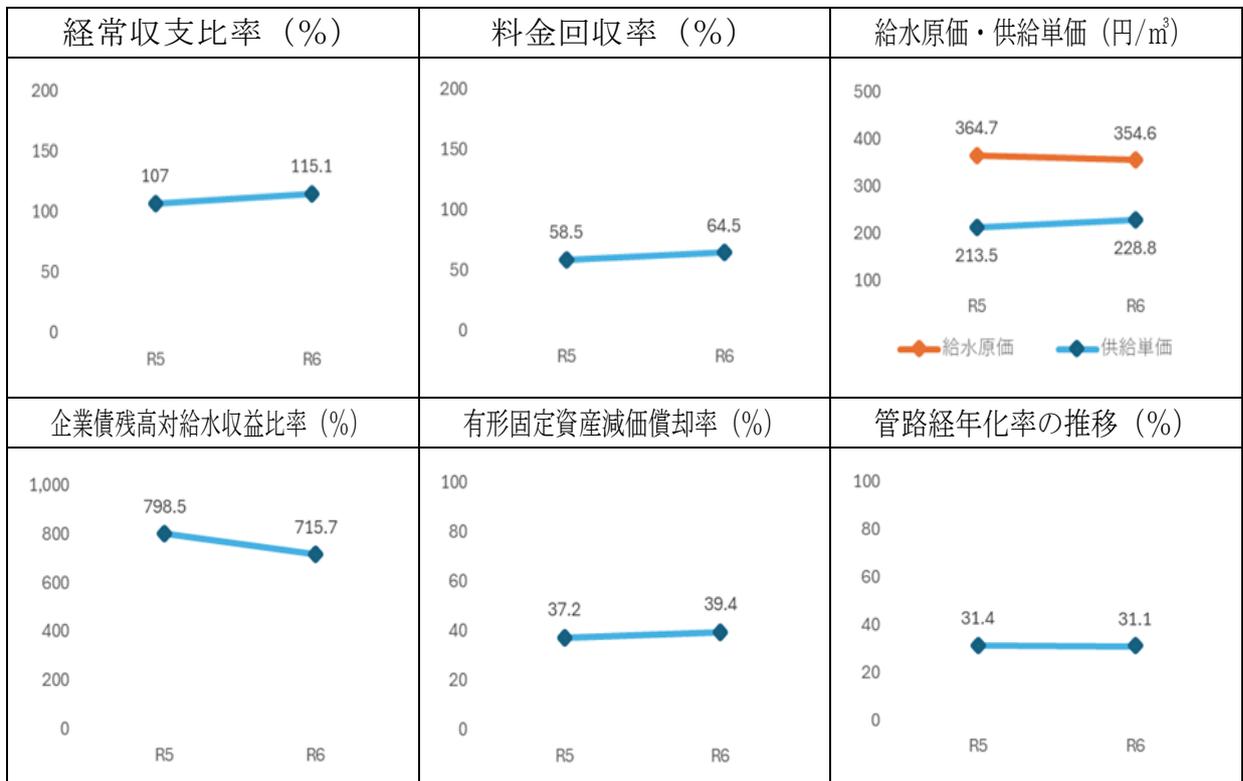
供給単価は228.8円で、給水収益が増加により、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は715.7%で、給水収益の増加により、減少しています。

有形固定資産減価償却率は39.4%で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は31.1%で、管路の老朽化は進行していますが、近年はほぼ横ばいの状況となっています。

|                  | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減     |
|------------------|-------|-------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 107.0 | 115.1 | 8.1    |
| 料金回収率 (%)        | 58.5  | 64.5  | 6.0    |
| 給水原価 (円)         | 364.7 | 354.6 | ▲ 10.1 |
| 供給単価 (円)         | 213.5 | 228.8 | 15.3   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 798.5 | 715.7 | ▲ 82.9 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 37.2  | 39.4  | 2.2    |
| 管路経年化率 (%)       | 31.4  | 31.1  | ▲ 0.3  |



## ■江田島市水道事業

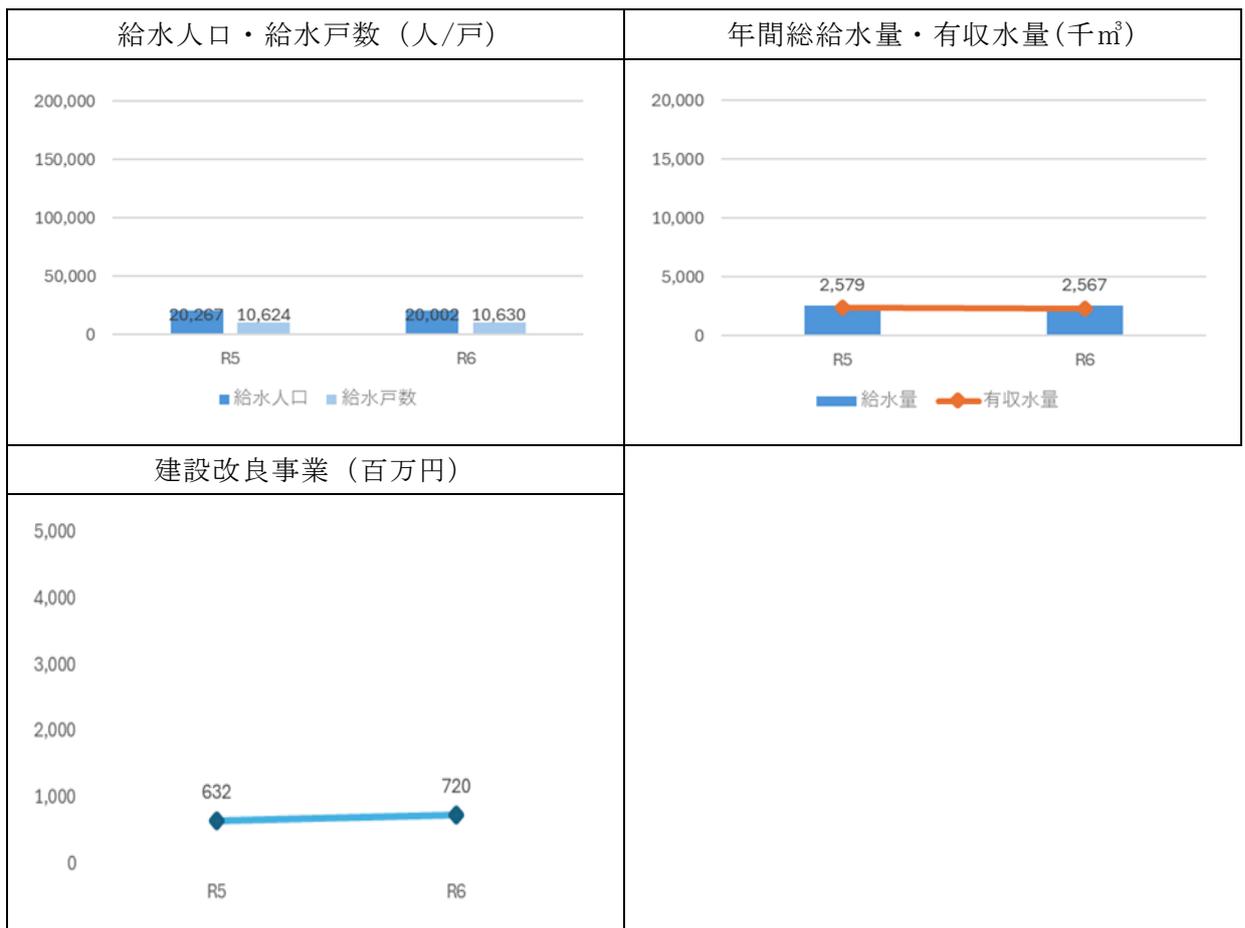
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は20,002人となり、前年度と比べて265人の減少となりました。

年間総給水量は2,567千 $\text{m}^3$ （1日平均7.0千 $\text{m}^3$ ）となり、給水人口の減少により、前年度と比べて12千 $\text{m}^3$ （1日平均0.0千 $\text{m}^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、新第2配水池更新工事など7.2億円を執行しており、前年度と比べて0.9億円の増加となりました。

|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 給水人口（人）                 | 20,267 | 20,002 | ▲ 265 |
| 給水戸数（戸）                 | 10,624 | 10,630 | 6     |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 2,579  | 2,567  | ▲ 12  |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 2,364  | 2,329  | ▲ 35  |
| 建設改良事業（百万円）             | 632    | 720    | 88    |

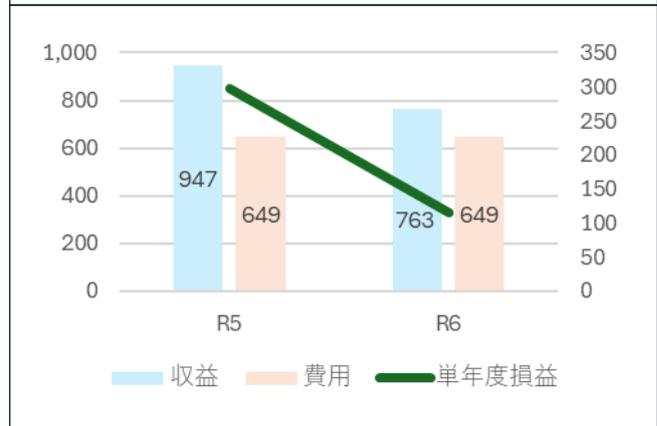


## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は1.2億円の黒字となり、前年度と比べて1.8億円の減少となりました。

主な要因は、前年度に引当金の取崩により計上した特別利益の皆減によるものです。

### 単年度損益（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分      | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |       |
|---------|---------------|---------------|--------|--------|-------|
|         |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |       |
| 営業収益    | a             | 683           | 662    | ▲ 21   | 96.9  |
| うち給水収益  |               | 651           | 628    | ▲ 23   | 96.5  |
| 営業費用    | b             | 633           | 632    | ▲ 1    | 99.9  |
| うち維持管理費 |               | 434           | 435    | 1      | 100.3 |
| 営業損益    | c=a-b         | 50            | 30     | ▲ 21   | 59.2  |
| 営業外収益   | d             | 94            | 101    | 7      | 107.9 |
| 営業外費用   | e             | 16            | 17     | 1      | 105.7 |
| 経常損益    | f=c+d-e       | 128           | 115    | ▲ 14   | 89.1  |
| 特別利益    | g             | 170           | 0      | ▲ 170  | 皆減    |
| 特別損失    | h             | 0             | 0      | 0      | —     |
| 当年度純利益  | f+g+h         | 298           | 115    | ▲ 184  | 38.4  |
| （総収益）   | a+d+g         | 947           | 763    | ▲ 184  | 80.6  |
| （総費用）   | b+e+h         | 649           | 649    | 0      | 100.0 |

## 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は73.3億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度と比べて4.7億円増加しました。

負債は36.4億円となり、企業債の発行などにより、3.6億円増加しました。

資本は36.9億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加により、1.1億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

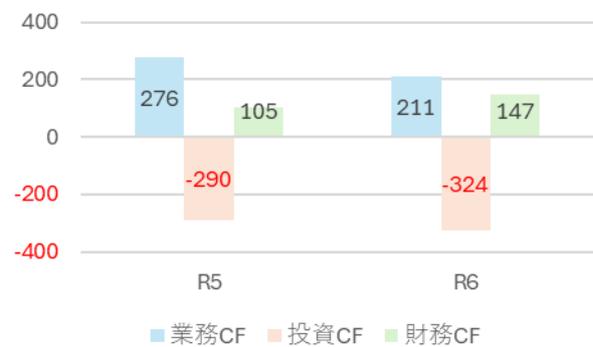
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 4,852         | 5,315         | 463    | 109.5  |
|         | うち有形固定資産 | 4,851         | 5,314         | 463    | 109.6  |
|         | うち無形固定資産 | 2             | 1             | ▲ 0    | 75.0   |
|         | 流動資産     | 2,008         | 2,015         | 7      | 100.4  |
|         | うち現金・預金  | 1,941         | 1,975         | 34     | 101.8  |
| 資産合計    |          | 6,860         | 7,330         | 470    | 106.9  |
| 負債の部    | 固定負債     | 1,191         | 1,342         | 150    | 112.6  |
|         | うち企業債    | 1,188         | 1,340         | 151    | 112.7  |
|         | 流動負債     | 335           | 454           | 118    | 135.2  |
|         | うち企業債    | 95            | 91            | ▲ 4    | 95.5   |
|         | 繰延収益     | 1,756         | 1,843         | 87     | 105.0  |
| 負債合計    |          | 3,282         | 3,638         | 356    | 110.8  |
| 資本の部    | 資本金      | 1,124         | 1,327         | 203    | 118.1  |
|         | うち繰入資本金  | 0             | 0             | 0      | —      |
|         | うち組入資本金  | 0             | 203           | 203    | 皆増     |
|         | 剰余金      | 2,454         | 2,365         | ▲ 89   | 96.4   |
|         | うち利益剰余金  | 2,425         | 2,335         | ▲ 89   | 96.3   |
| 資本合計    |          | 3,578         | 3,692         | 114    | 103.2  |
| 負債・資本合計 |          | 6,860         | 7,330         | 470    | 106.9  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により2.1億円のプラス、建設工事などの投資活動により3.2億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により1.5億円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は19.8億円で、0.3億円のプラスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，%）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|-----------|---------------|---------------|--------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 276           | 211           | ▲ 64   | 76.64  |
| うち当年度純利益  | 298           | 115           | ▲ 184  | 38.40  |
| うち減価償却費   | 193           | 192           | ▲ 0    | 99.90  |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 90          | ▲ 75          | 15     | 83.37  |
| 投資活動によるCF | ▲ 290         | ▲ 324         | ▲ 34   | 111.89 |
| うち建設改良費   | ▲ 471         | ▲ 516         | ▲ 45   | 109.45 |
| うち国庫補助金   | 154           | 187           | 32     | 120.87 |
| 財務活動によるCF | 105           | 147           | 42     | 140.03 |
| うち企業債発行   | 200           | 242           | 42     | 121.00 |
| うち企業債償還金  | ▲ 95          | ▲ 95          | 0      | 99.94  |
| うち一般会計出資金 | 0             | 0             | 0      | —      |
| 資金増減額     | 91            | 34            | ▲ 57   | 37.56  |
| 資金期首残高    | 1,850         | 1,941         | 91     | 104.91 |
| 資金期末残高    | 1,941         | 1,975         | 34     | 101.76 |

## 5 経営指標

経常収支比率は 117.7% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。料金回収率は 111.8% で、給水に係る費用を給水収益で賄えている状況とされる 100% を上回っており、健全な経営が確保できています。

給水原価は 241.2 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。

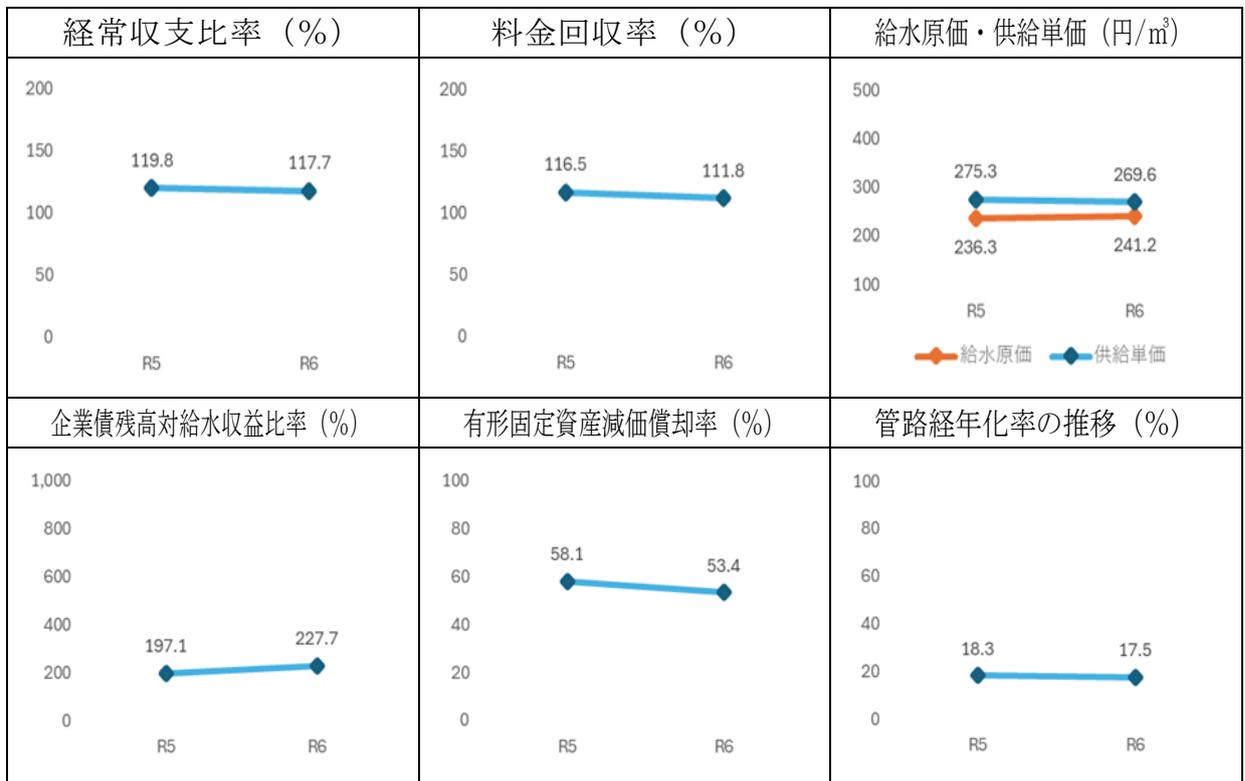
供給単価は 269.6 円で、給水収益の減少により、減少しています。

企業債残高対給水収益比率は 227.7% で、施設の再編整備などの建設改良事業の実施により、増加傾向にあります。

有形固定資産減価償却率は 53.4% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 17.5% で、市町水道事業全体の比率と比べて低いものの、今後、更新需要のピークを迎える見込みです。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減    |
|------------------|---------|---------|-------|
| 経常収支比率 (%)       | 119.8   | 117.7   | ▲ 2.1 |
| 料金回収率 (%)        | 116.5   | 111.8   | ▲ 4.7 |
| 給水原価 (円)         | 236.3   | 241.2   | 4.9   |
| 供給単価 (円)         | 275.3   | 269.6   | ▲ 5.7 |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 197.1   | 227.7   | 30.6  |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 58.1    | 53.4    | ▲ 4.7 |
| 管路経年化率 (%)       | 18.3    | 17.5    | ▲ 0.8 |



## ■熊野町水道事業

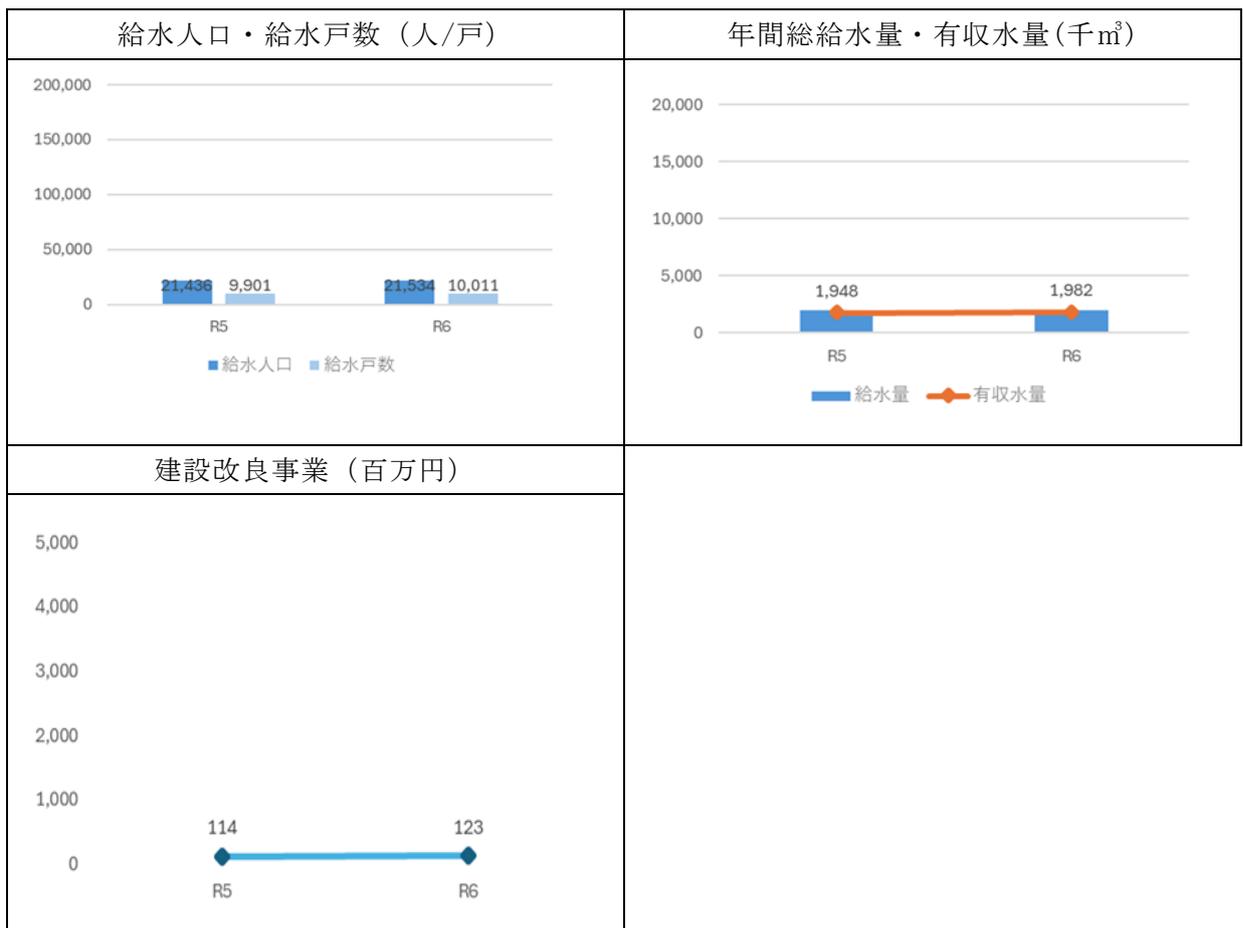
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は21,534人となり、前年度と比べて98人の増加となりました。

年間総給水量は1,982千 $\text{m}^3$ （1日平均5.4千 $\text{m}^3$ ）となり、給水人口の増加により、前年度と比べて34千 $\text{m}^3$ （1日平均0.1千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、初神地区（6-1）配水管布設替工事など1.2億円を執行しており、前年度と比べて9百万円の増加となりました。

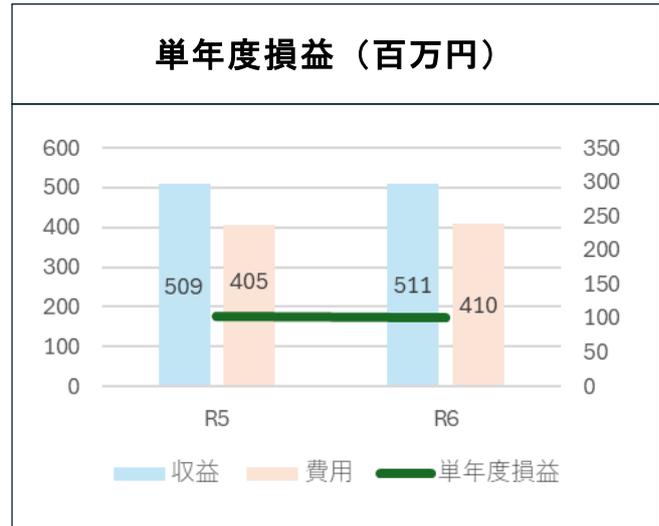
|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減  |
|-------------------------|--------|--------|-----|
| 給水人口（人）                 | 21,436 | 21,534 | 98  |
| 給水戸数（戸）                 | 9,901  | 10,011 | 110 |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 1,948  | 1,982  | 34  |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 1,809  | 1,813  | 4   |
| 建設改良事業（百万円）             | 114    | 123    | 9   |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は1.0億円の黒字となり、前年度と比べて2百万円の減少となりました。

主な要因としては、団地開発などに伴う営業外収益が増加した一方で、前年度に引当金の取崩により計上した特別利益が皆減したためです。



（単位：百万円，％）

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 450           | 456           | 6      | 101.3  |
| うち給水収益       | 429           | 434           | 5      | 101.1  |
| 営業費用 b       | 405           | 410           | 5      | 101.2  |
| うち維持管理費      | 337           | 341           | 5      | 101.4  |
| 営業損益 c=a-b   | 44            | 45            | 1      | 102.3  |
| 営業外収益 d      | 39            | 55            | 16     | 141.2  |
| 営業外費用 e      | 0             | 0             | 0      | 130.8  |
| 経常損益 f=c+d-e | 84            | 101           | 17     | 120.6  |
| 特別利益 g       | 20            | 0             | ▲ 20   | 皆減     |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 当年度純利益 f+g+h | 103           | 101           | ▲ 2    | 97.7   |
| (総収益) a+d+g  | 509           | 511           | 2      | 100.5  |
| (総費用) b+e+h  | 405           | 410           | 5      | 101.2  |

### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は33.0億円となり、業務活動による現金・預金の増加などにより、前年度より1.3億円増加しました。

負債は10.8億円となり、国庫補助金収入による繰延収益の増加により、0.3億円増加しました。

資本は22.2億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加により、1.0億円増加しました。

#### 年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

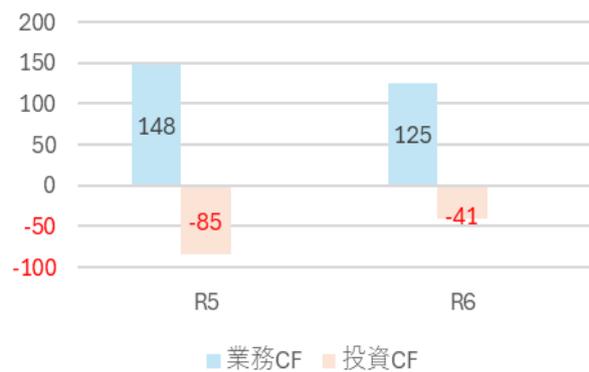
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 1,829         | 1,877         | 48     | 102.6  |
|         | うち有形固定資産 | 1,827         | 1,875         | 48     | 102.6  |
|         | うち無形固定資産 | 2             | 1             | ▲ 0    | 73.4   |
|         | 流動資産     | 1,347         | 1,427         | 81     | 106.0  |
|         | うち現金・預金  | 1,312         | 1,396         | 84     | 106.4  |
| 資産合計    |          | 3,175         | 3,304         | 129    | 104.0  |
| 負債の部    | 固定負債     | 1             | 1             | ▲ 0    | 66.7   |
|         | うち企業債    | 0             | 0             | 0      | —      |
|         | 流動負債     | 123           | 122           | ▲ 1    | 99.2   |
|         | うち企業債    | 0             | 0             | 0      | —      |
|         | 繰延収益     | 927           | 956           | 29     | 103.2  |
| 負債合計    |          | 1,052         | 1,080         | 28     | 102.7  |
| 資本の部    | 資本金      | 1,156         | 1,156         | 0      | 100.0  |
|         | うち繰入資本金  | 42            | 42            | 0      | 100.0  |
|         | うち組入資本金  | 1,113         | 1,113         | 0      | 100.0  |
|         | 剰余金      | 968           | 1,069         | 101    | 110.4  |
|         | うち利益剰余金  | 933           | 1,033         | 101    | 110.8  |
| 資本合計    |          | 2,123         | 2,224         | 101    | 104.7  |
| 負債・資本合計 |          | 3,175         | 3,304         | 129    | 104.0  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により1.3億円のプラス、建設工事などの投資活動により0.4億円のマイナスとなりました。なお、財務活動によるキャッシュフローはありませんでした。

年度末時点の資金残高は14.0億円で、0.8億円のプラスとなりました。

キャッシュフローの状況（百万円）



(単位:百万円, %)

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|-----------|---------------|---------------|--------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 148           | 125           | ▲ 23   | 84.47  |
| うち当年度純利益  | 103           | 101           | ▲ 2    | 97.67  |
| うち減価償却費   | 68            | 69            | 1      | 101.01 |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 38          | ▲ 37          | 1      | 97.69  |
| 投資活動によるCF | ▲ 85          | ▲ 41          | 44     | 48.58  |
| うち建設改良費   | ▲ 119         | ▲ 126         | ▲ 7    | 105.59 |
| うち国庫補助金   | 0             | 18            | 18     | 皆増     |
| 財務活動によるCF | 0             | 0             | 0      | —      |
| うち企業債発行   | 0             | 0             | 0      | —      |
| うち企業債償還金  | 0             | 0             | 0      | —      |
| うち一般会計出資金 | 0             | 0             | 0      | —      |
| 資金増減額     | 64            | 84            | 21     | 132.19 |
| 資金期首残高    | 1,248         | 1,312         | 64     | 105.10 |
| 資金期末残高    | 1,312         | 1,396         | 84     | 106.42 |

## 5 経営指標

経常収支比率は 124.5% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。料金回収率は 116.4% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を上回っており、健全な経営が確保できています。

給水原価は 239.5 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。

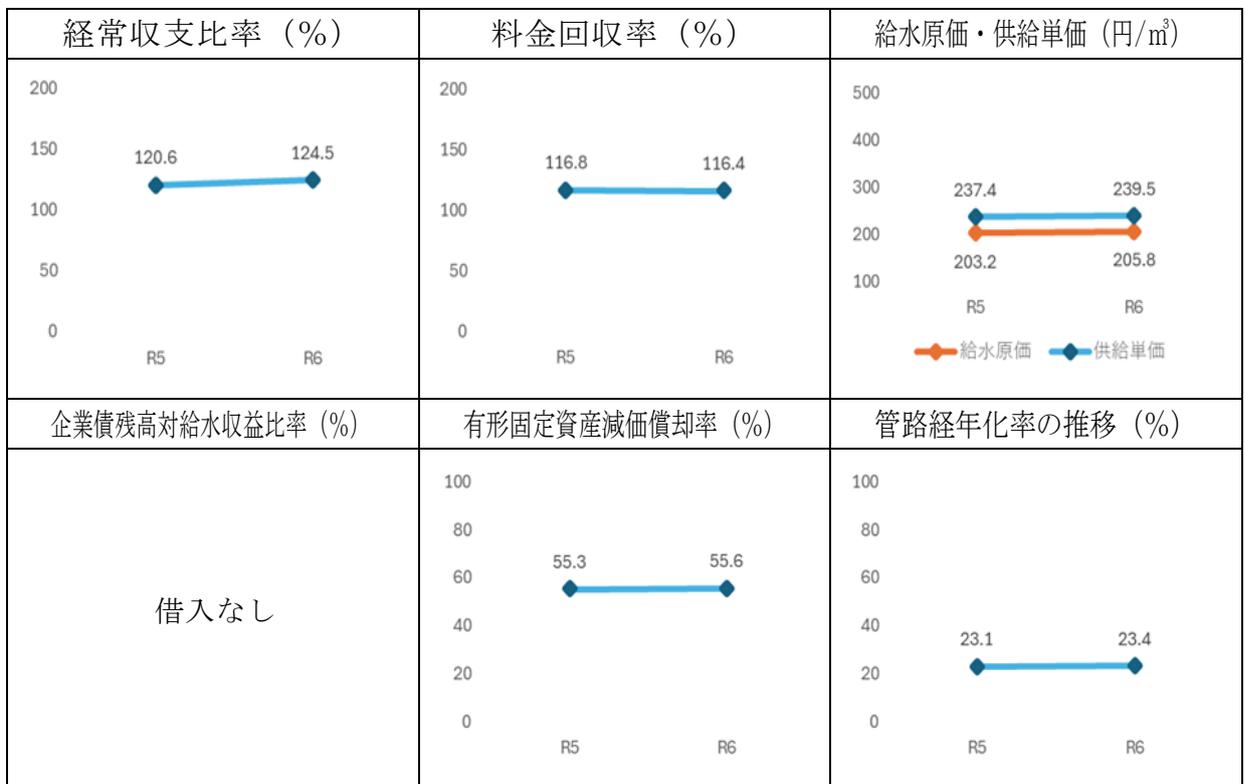
供給単価は 205.8 円で、給水収益の増加により、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は 0.0% で、企業債を発行せずに経営ができています。

有形固定資産減価償却率は 55.6% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 23.4% で、市町水道事業全体の比率と比べて低いものの、今後、更新需要のピークを迎える見込みです。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減    |
|------------------|---------|---------|-------|
| 経常収支比率 (%)       | 120.6   | 124.5   | 3.9   |
| 料金回収率 (%)        | 116.8   | 116.4   | ▲ 0.4 |
| 給水原価 (円)         | 203.2   | 205.8   | 2.6   |
| 供給単価 (円)         | 237.4   | 239.5   | 2.1   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 0.0     | 0.0     | 0.0   |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 55.3    | 55.6    | 0.3   |
| 管路経年化率 (%)       | 23.1    | 23.4    | 0.3   |



## ■北広島町水道事業

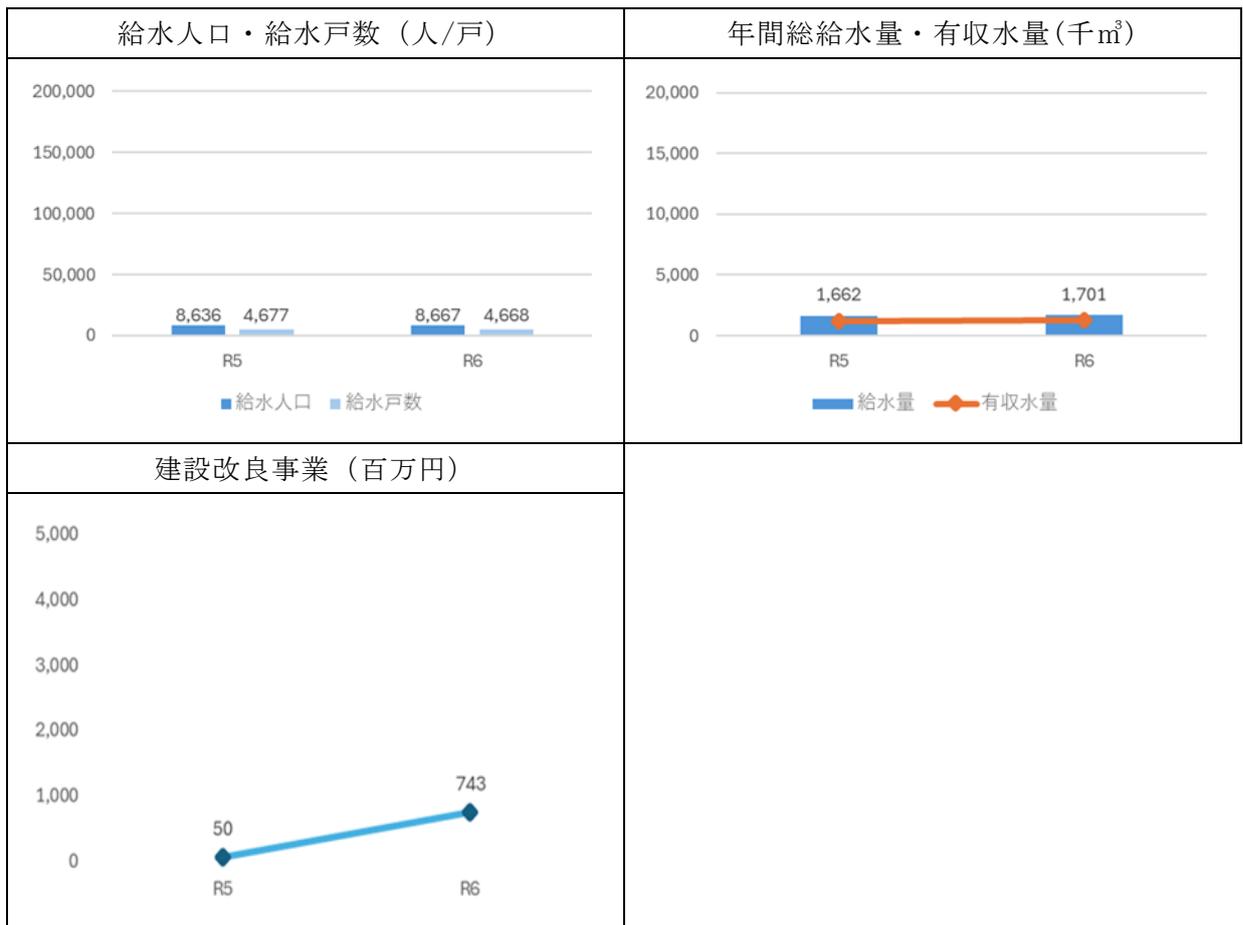
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は8,667人となり、前年度と比べて31人の増加となりました。

年間総給水量は1,701千 $\text{m}^3$ （1日平均4.7千 $\text{m}^3$ ）となり、前年度と比べて39千 $\text{m}^3$ （1日平均0.1千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、土師広域浄水場新設に伴う送水管設備工事など7.4億円を執行しており、前年度と比べて6.9億円の増加となりました。

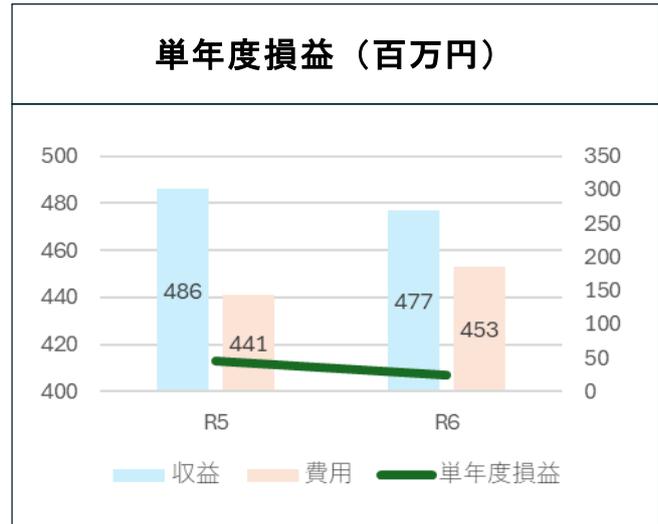
|                         | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減  |
|-------------------------|-------|-------|-----|
| 給水人口（人）                 | 8,636 | 8,667 | 31  |
| 給水戸数（戸）                 | 4,677 | 4,668 | ▲ 9 |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 1,662 | 1,701 | 39  |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 1,223 | 1,249 | 26  |
| 建設改良事業（百万円）             | 50    | 743   | 693 |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は0.2億円の黒字となり、前年度と比べて0.2億円の減少となりました。

主な要因としては、加入分担金による営業外収益の減少に加え、物価上昇等により維持管理費が増加したためです。



（単位：百万円，％）

| 区分      | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益    | 243           | 248           | 4      | 101.8  |
| うち給水収益  | 233           | 239           | 5      | 102.3  |
| 営業費用    | 413           | 430           | 17     | 104.2  |
| うち維持管理費 | 197           | 215           | 19     | 109.5  |
| 営業損益    | ▲ 170         | ▲ 183         | ▲ 13   | 107.6  |
| 営業外収益   | 242           | 229           | ▲ 13   | 94.7   |
| 営業外費用   | 28            | 23            | ▲ 5    | 82.8   |
| 経常損益    | 45            | 24            | ▲ 21   | 53.2   |
| 特別利益    | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失    | 0             | 0             | ▲ 0    | 皆減     |
| 当年度純利益  | 45            | 24            | ▲ 21   | 53.4   |
| （総収益）   | 486           | 477           | ▲ 9    | 98.2   |
| （総費用）   | 441           | 453           | 12     | 102.8  |

### 3 貸借対照表

令和6年度末の資産は50.0億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度と比べて、3.4億円の増加となりました。

負債は25.5億円となり、国庫補助金収入による繰延収益の増加などにより、0.8億円の増加となりました。

資本は24.5億円となり、構成団体からの出資金などにより、2.7億円の増加となりました。

#### 年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

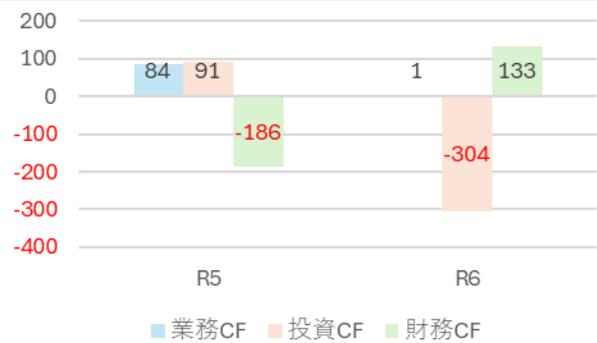
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |         |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|---------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A  |
| 資産の部    | 固定資産     | 4,067         | 4,563         | 496    | 112.2   |
|         | うち有形固定資産 | 4,054         | 4,550         | 496    | 112.2   |
|         | うち無形固定資産 | 13            | 12            | ▲ 1    | 95.4    |
|         | 流動資産     | 584           | 431           | ▲ 153  | 73.9    |
|         | うち現金・預金  | 557           | 387           | ▲ 170  | 69.5    |
| 資産合計    |          | 4,651         | 4,994         | 343    | 107.4   |
| 負債の部    | 固定負債     | 1,043         | 964           | ▲ 79   | 92.5    |
|         | うち企業債    | 1,042         | 964           | ▲ 78   | 92.5    |
|         | 流動負債     | 292           | 299           | 7      | 102.4   |
|         | うち企業債    | 206           | 178           | ▲ 28   | 86.6    |
|         | 繰延収益     | 1,136         | 1,286         | 149    | 113.1   |
| 負債合計    |          | 2,472         | 2,549         | 78     | 103.1   |
| 資本の部    | 資本金      | 1,553         | 1,866         | 313    | 120.2   |
|         | うち繰入資本金  | 13            | 252           | 239    | 1,983.1 |
|         | うち組入資本金  | 433           | 507           | 74     | 117.1   |
|         | 剰余金      | 626           | 579           | ▲ 47   | 92.4    |
|         | うち利益剰余金  | 572           | 522           | ▲ 50   | 91.2    |
| 資本合計    |          | 2,179         | 2,445         | 266    | 112.2   |
| 負債・資本合計 |          | 4,651         | 4,994         | 343    | 107.4   |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により1百万円のプラス、建設工事などの投資活動により3.0億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により1.3億円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は3.9億円で、1.7億円のマイナスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |          |
|-----------|---------------|---------------|--------|----------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A   |
| 業務活動によるCF | 84            | 1             | ▲ 82   | 1.46     |
| うち当年度純利益  | 45            | 24            | ▲ 21   | 53.35    |
| うち減価償却費   | 215           | 214           | ▲ 1    | 99.56    |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 70          | ▲ 69          | 2      | 97.40    |
| 投資活動によるCF | 91            | ▲ 304         | ▲ 396  | ▲ 332.99 |
| うち建設改良費   | ▲ 45          | ▲ 693         | ▲ 648  | 1,542.55 |
| うち国庫補助金   | 0             | 254           | 254    | 皆増       |
| 財務活動によるCF | ▲ 186         | 133           | 320    | ▲ 71.55  |
| うち企業債発行   | 14            | 100           | 86     | 723.91   |
| うち企業債償還金  | ▲ 213         | ▲ 206         | 7      | 96.66    |
| うち一般会計出資金 | 13            | 239           | 226    | 1,883.15 |
| 資金増減額     | ▲ 11          | ▲ 170         | ▲ 159  | 1,509.56 |
| 資金期首残高    | 569           | 557           | ▲ 11   | 98.02    |
| 資金期末残高    | 557           | 387           | ▲ 170  | 69.52    |

## 5 経営指標

経常収支比率は 105.3% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は 62.0% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を下回っており、構成団体からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

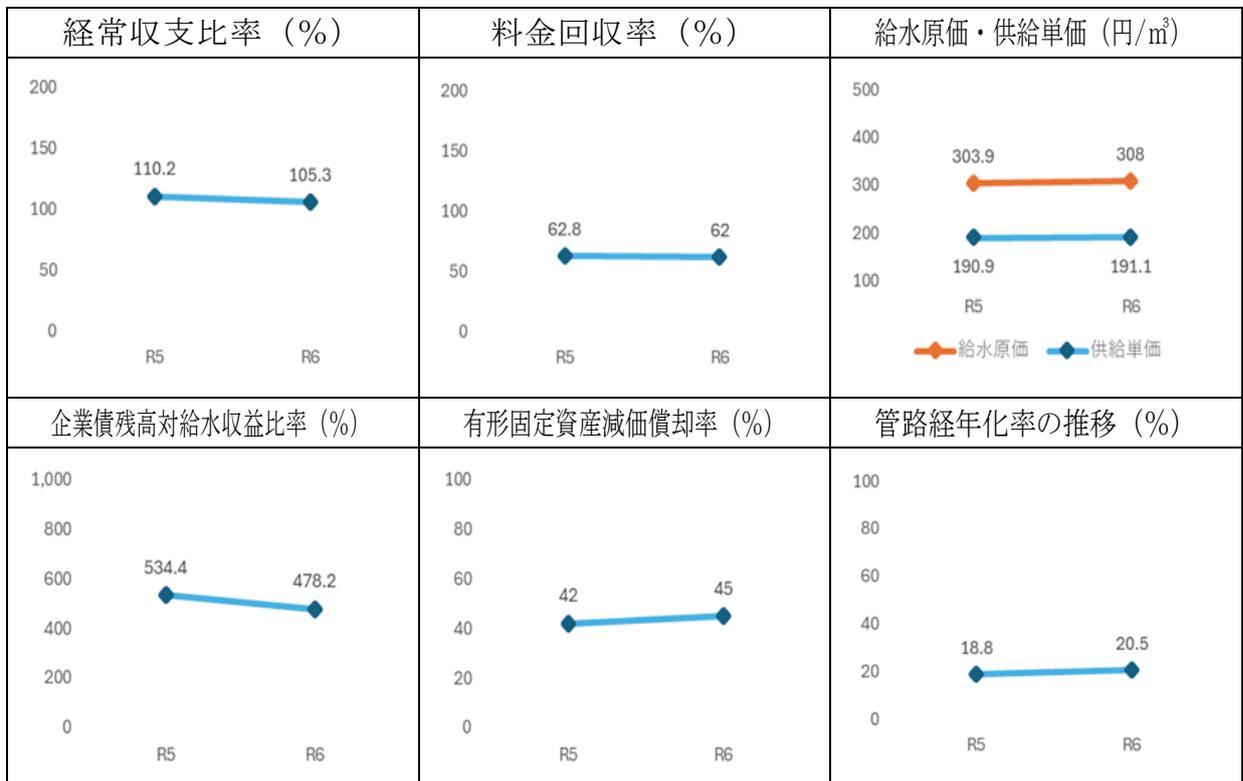
給水原価は 308.0 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。供給単価は 191.1 円で、前年度と同程度の水準となっています。

企業債残高対給水収益比率は 478.2% で、企業債の償還により、減少しています。

有形固定資産減価償却率は 45.0% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 20.5% で、市町水道事業全体の比率と比べて低いものの、今後、更新需要のピークを迎える見込みです。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減     |
|------------------|---------|---------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 110.2   | 105.3   | ▲ 4.9  |
| 料金回収率 (%)        | 62.8    | 62.0    | ▲ 0.8  |
| 給水原価 (円)         | 303.9   | 308.0   | 4.1    |
| 供給単価 (円)         | 190.9   | 191.1   | 0.2    |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 534.4   | 478.2   | ▲ 56.2 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 42.0    | 45.0    | 3.0    |
| 管路経年化率 (%)       | 18.8    | 20.5    | 1.7    |



## ■大崎上島町水道事業

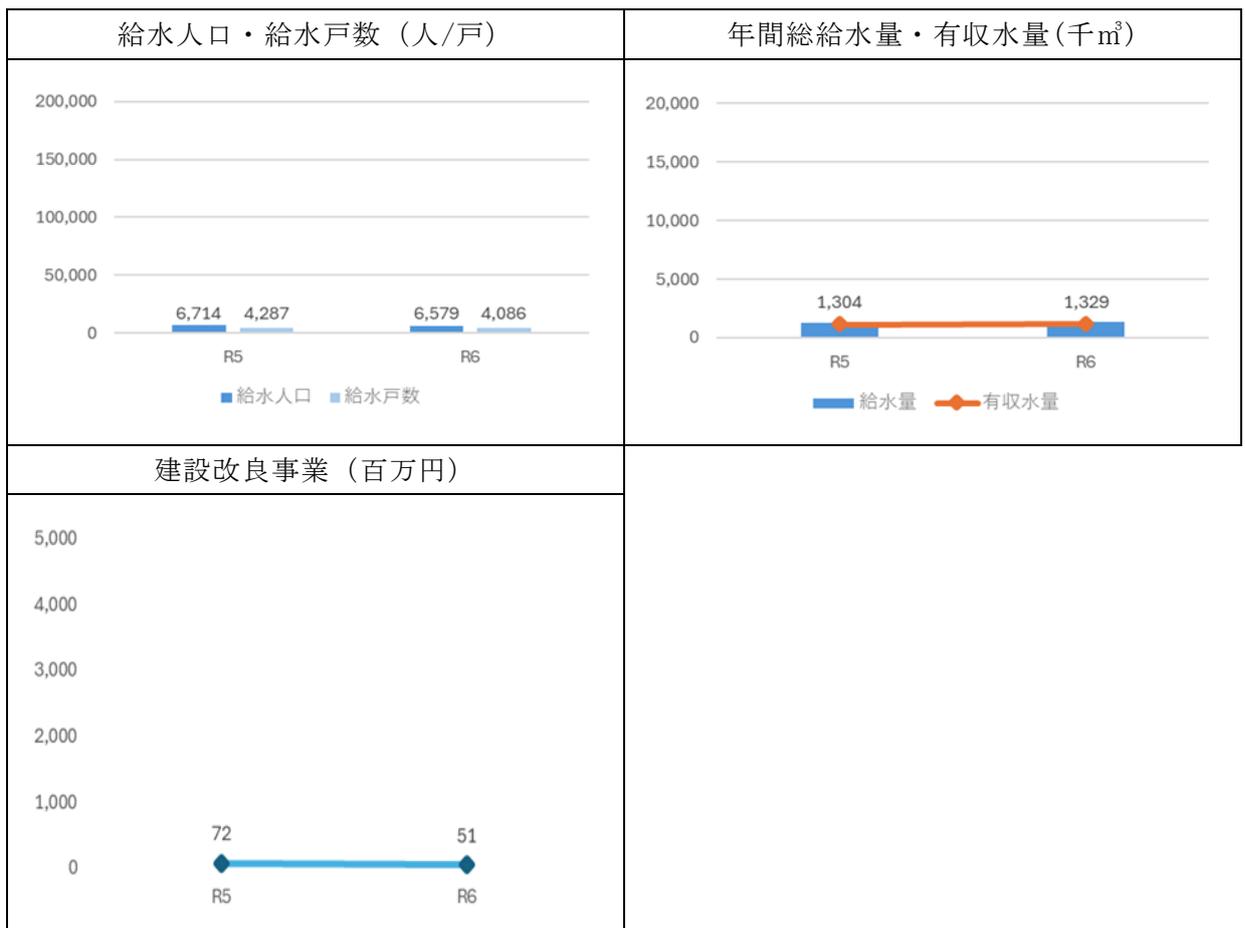
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は6,579人となり、前年度と比べて135人の減少となりました。

年間総給水量は1,329千 $\text{m}^3$ （1日平均3.6千 $\text{m}^3$ ）となり、前年度と比べて25千 $\text{m}^3$ （1日平均0.1千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、原田配水池ほか計測設備更工事など0.5億円を執行しており、前年度と比べて0.2億円の減少となりました。

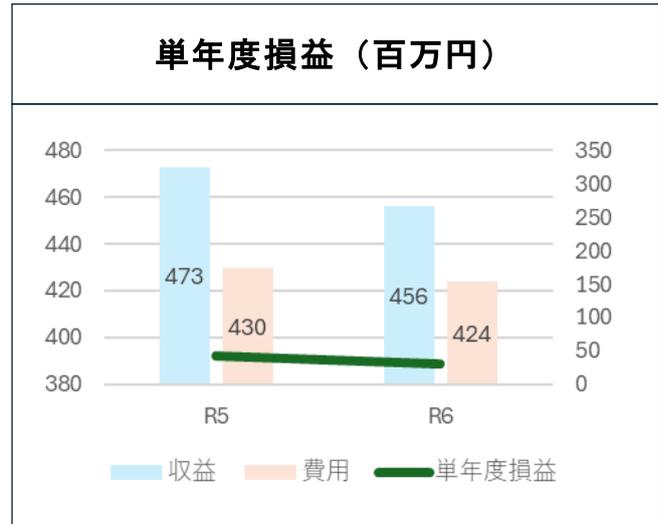
|                         | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減    |
|-------------------------|-------|-------|-------|
| 給水人口（人）                 | 6,714 | 6,579 | ▲ 135 |
| 給水戸数（戸）                 | 4,287 | 4,086 | ▲ 201 |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 1,304 | 1,329 | 25    |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 1,154 | 1,196 | 42    |
| 建設改良事業（百万円）             | 72    | 51    | ▲ 21  |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は0.3億円の黒字となり、前年度と比べて0.1億円の減少となりました。

主な要因は、給水量の増加により給水収益が増加した一方、構成団体からの繰入金が増加したことにより営業外収益が減少したためです。



（単位：百万円，％）

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 274           | 298           | 24     | 108.9  |
| うち給水収益       | 273           | 296           | 23     | 108.6  |
| 営業費用 b       | 418           | 413           | ▲ 5    | 98.8   |
| うち維持管理費      | 270           | 269           | ▲ 1    | 99.6   |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 144         | ▲ 115         | 29     | 79.7   |
| 営業外収益 d      | 190           | 158           | ▲ 33   | 82.9   |
| 営業外費用 e      | 12            | 12            | ▲ 1    | 94.2   |
| 経常損益 f=c+d-e | 34            | 31            | ▲ 2    | 92.6   |
| 特別利益 g       | 9             | 0             | ▲ 9    | 皆減     |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 当年度純利益 f+g+h | 43            | 31            | ▲ 11   | 73.5   |
| (総収益) a+d+g  | 473           | 456           | ▲ 17   | 96.4   |
| (総費用) b+e+h  | 430           | 424           | ▲ 6    | 98.7   |

### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は33.4億円となり、減価償却に伴う有形固定資産の減少などにより、0.5億円の減少となりました。

負債は31.7億円となり、減価償却に伴う繰延収益の収益化により、1.0億円の減少となりました。

資本は1.7億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加により、0.4億円の増加となりました。

#### 年度末財政状況（百万円）



（単位：百万円，％）

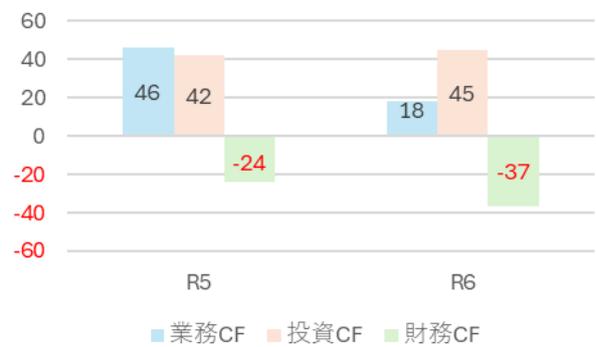
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 3,188         | 3,092         | ▲ 96   | 97.0   |
|         | うち有形固定資産 | 3,187         | 3,091         | ▲ 96   | 97.0   |
|         | うち無形固定資産 | 1             | 1             | ▲ 0    | 75.0   |
|         | 流動資産     | 207           | 251           | 44     | 121.1  |
|         | うち現金・預金  | 186           | 212           | 25     | 113.6  |
| 資産合計    |          | 3,395         | 3,343         | ▲ 53   | 98.4   |
| 負債の部    | 固定負債     | 812           | 763           | ▲ 49   | 94.0   |
|         | うち企業債    | 811           | 762           | ▲ 49   | 94.0   |
|         | 流動負債     | 133           | 156           | 22     | 116.7  |
|         | うち企業債    | 60            | 60            | 0      | 100.0  |
|         | 繰延収益     | 2,325         | 2,256         | ▲ 69   | 97.0   |
| 負債合計    |          | 3,270         | 3,174         | ▲ 96   | 97.1   |
| 資本の部    | 資本金      | 0             | 12            | 12     | 皆増     |
|         | うち繰入資本金  | 0             | 12            | 12     | 皆増     |
|         | うち組入資本金  | 0             | 0             | 0      | —      |
|         | 剰余金      | 126           | 157           | 31     | 124.9  |
|         | うち利益剰余金  | 88            | 119           | 31     | 135.5  |
| 資本合計    |          | 126           | 169           | 43     | 134.0  |
| 負債・資本合計 |          | 3,395         | 3,343         | ▲ 53   | 98.4   |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により0.2億円のプラス、建設工事に係る補助金収入などの投資活動により0.5億円のプラス、企業債償還などの財務活動により0.4億円のマイナスとなりました。

年度末時点の資金残高は2.1億円で、0.3億円のプラスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|-----------|---------------|---------------|--------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 46            | 18            | ▲ 28   | 39.14  |
| うち当年度純利益  | 43            | 31            | ▲ 11   | 73.46  |
| うち減価償却費   | 141           | 143           | 2      | 101.36 |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 153         | ▲ 143         | 10     | 93.19  |
| 投資活動によるCF | 42            | 45            | 3      | 106.37 |
| うち建設改良費   | ▲ 49          | ▲ 28          | 21     | 56.38  |
| うち国庫補助金   | 0             | 12            | 12     | 皆増     |
| 財務活動によるCF | ▲ 24          | ▲ 37          | ▲ 13   | 155.75 |
| うち企業債発行   | 36            | 12            | ▲ 24   | 32.58  |
| うち企業債償還金  | ▲ 60          | ▲ 60          | ▲ 1    | 101.43 |
| うち一般会計出資金 | 0             | 12            | 12     | 皆増     |
| 資金増減額     | 64            | 25            | ▲ 39   | 39.49  |
| 資金期首残高    | 122           | 186           | 64     | 152.54 |
| 資金期末残高    | 186           | 212           | 25     | 113.60 |

## 5 経営指標

経常収支比率は 107.4% で、健全経営の水準となる 100% を上回っており、堅調な経営を維持しています。料金回収率は 105.2% で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100% を上回っており、健全な経営が確保できています。

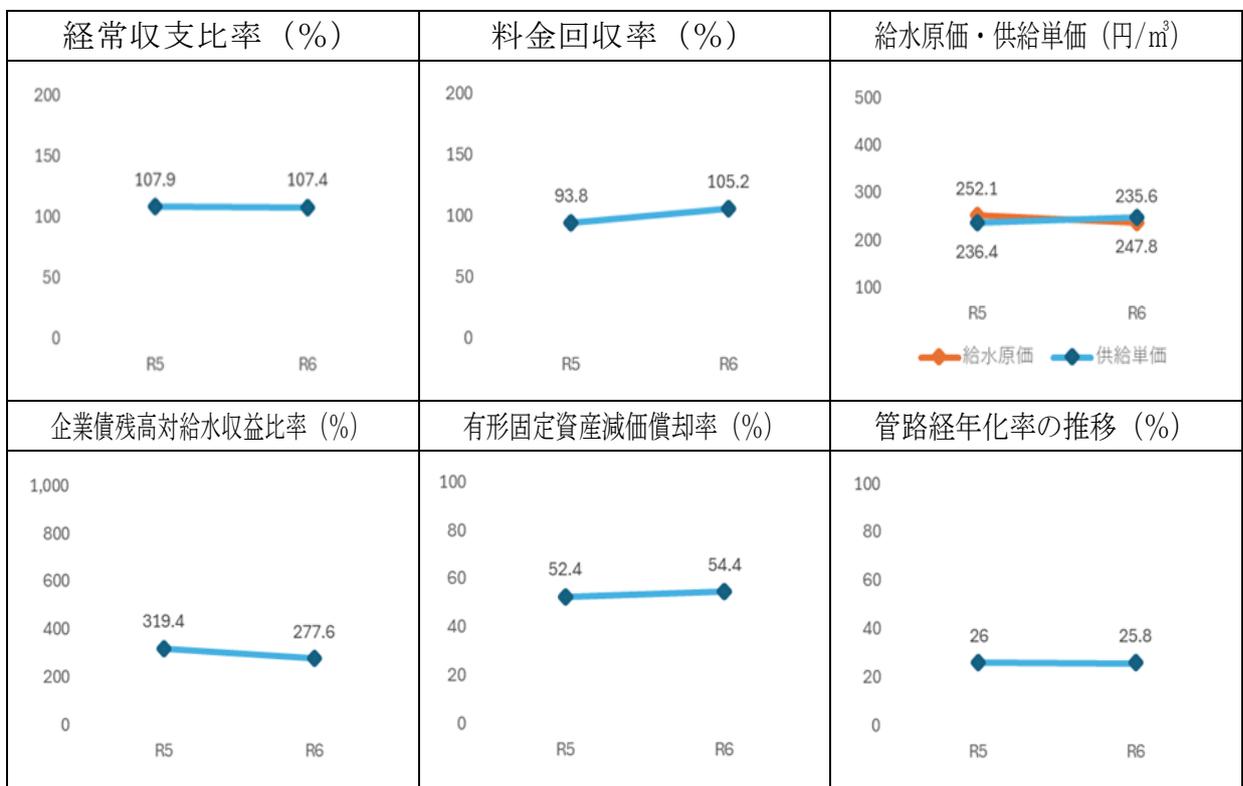
給水原価は 235.6 円で、資産減耗費などの費用の減少に加え、給水量が増加したことより、抑制されています。供給単価は 247.8 円で、給水収益の増加により、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は 277.6% で、企業債の償還により、減少しています。

有形固定資産減価償却率は 54.4% で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 25.8% で、前年度と比べて減少したものの、老朽化が進行しています。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減     |
|------------------|---------|---------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 107.9   | 107.4   | ▲ 0.5  |
| 料金回収率 (%)        | 93.8    | 105.2   | 11.4   |
| 給水原価 (円)         | 252.1   | 235.6   | ▲ 16.5 |
| 供給単価 (円)         | 236.4   | 247.8   | 11.4   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 319.4   | 277.6   | ▲ 41.7 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 52.4    | 54.4    | 2.0    |
| 管路経年化率 (%)       | 26.0    | 25.8    | ▲ 0.2  |



## ■世羅町水道事業

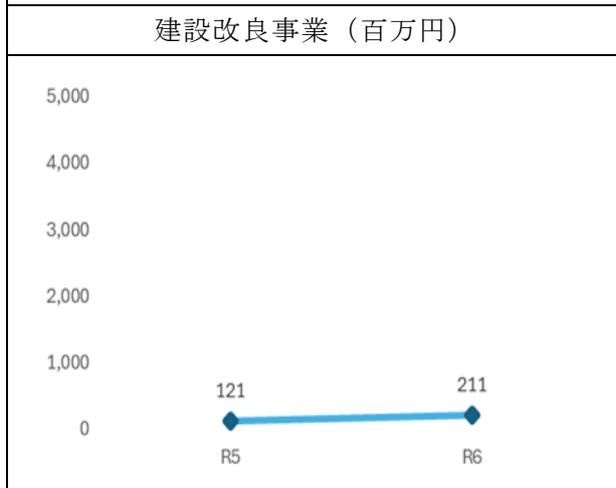
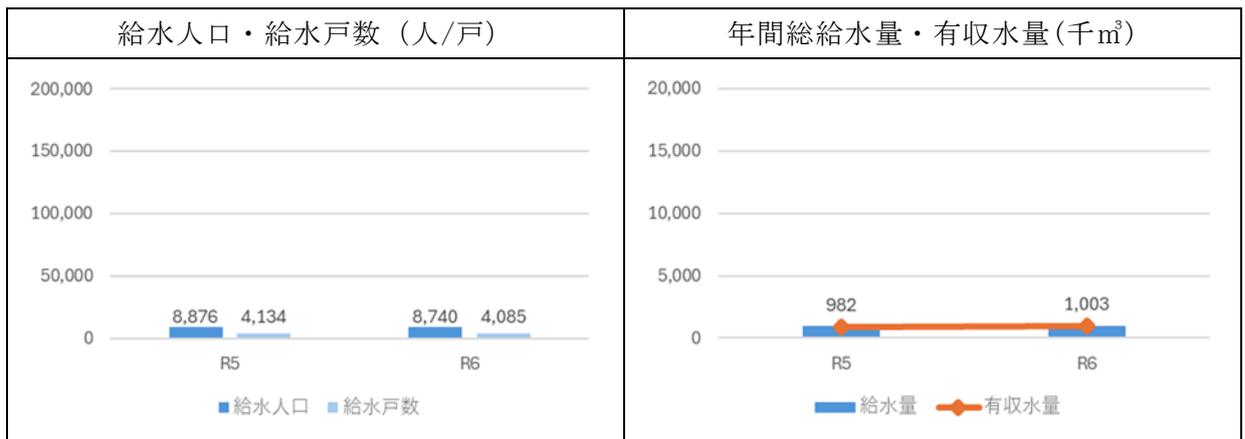
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は8,740人となり、前年度と比べて136人の減少となりました。

年間総給水量は1,003千 $\text{m}^3$ （1日平均2.7千 $\text{m}^3$ ）となり、前年度と比べて21千 $\text{m}^3$ （1日平均0.1千 $\text{m}^3$ ）の増加となりました。

建設改良事業は、賀茂地区配水管布設替工事（1工区）など2.1億円を執行しており、前年度と比べて0.9億円の増加となりました。

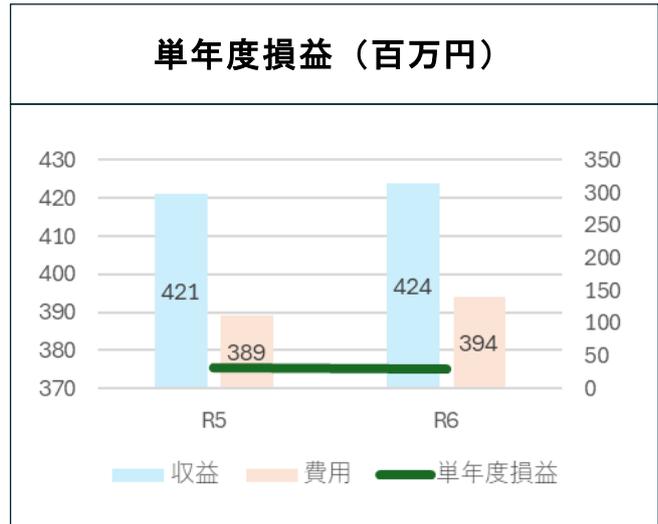
|                         | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減    |
|-------------------------|-------|-------|-------|
| 給水人口（人）                 | 8,876 | 8,740 | ▲ 136 |
| 給水戸数（戸）                 | 4,134 | 4,085 | ▲ 49  |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 982   | 1,003 | 21    |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 912   | 933   | 21    |
| 建設改良事業（百万円）             | 121   | 211   | 90    |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は0.3億円の黒字となり、前年度と比べて3百万円の減少となりました。

主な要因としては、固定資産の除却に伴う資産減耗費の増加によるものです。



(単位:百万円, %)

| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 190           | 196           | 6      | 103.3  |
| うち給水収益       | 190           | 195           | 5      | 102.6  |
| 営業費用 b       | 373           | 382           | 9      | 102.4  |
| うち維持管理費      | 185           | 188           | 3      | 101.6  |
| 営業損益 c=a-b   | ▲ 183         | ▲ 186         | ▲ 3    | 101.6  |
| 営業外収益 d      | 231           | 227           | ▲ 4    | 98.3   |
| 営業外費用 e      | 16            | 12            | ▲ 4    | 77.1   |
| 経常損益 f=c+d-e | 32            | 29            | ▲ 3    | 90.4   |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 当年度純利益 f+g+h | 32            | 29            | ▲ 3    | 90.4   |
| (総収益) a+d+g  | 421           | 424           | 2      | 100.6  |
| (総費用) b+e+h  | 389           | 394           | 5      | 101.4  |

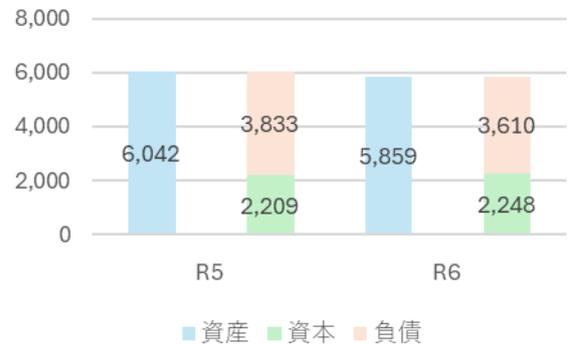
### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は58.6億円となり、建設改良事業の実施による現金・預金の減少などにより、前年度と比べて1.8億円減少しました。

負債は36.1億円となり、企業債の償還などにより2.2億円減少しました。

資本は22.5億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加などにより、0.4億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



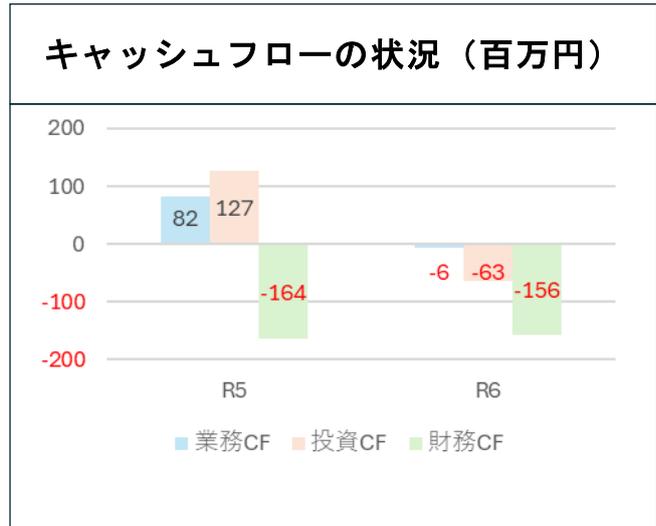
(単位:百万円, %)

| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 4,409         | 4,408         | ▲ 1    | 100.0  |
|         | うち有形固定資産 | 4,274         | 4,292         | 18     | 100.4  |
|         | うち無形固定資産 | 135           | 116           | ▲ 19   | 85.7   |
|         | 流動資産     | 1,633         | 1,451         | ▲ 182  | 88.8   |
|         | うち現金・預金  | 1,575         | 1,349         | ▲ 226  | 85.6   |
| 資産合計    |          | 6,042         | 5,859         | ▲ 184  | 97.0   |
| 負債の部    | 固定負債     | 875           | 738           | ▲ 138  | 84.3   |
|         | うち企業債    | 840           | 703           | ▲ 137  | 83.7   |
|         | 流動負債     | 343           | 255           | ▲ 89   | 74.2   |
|         | うち企業債    | 167           | 137           | ▲ 29   | 82.3   |
|         | 繰延収益     | 2,615         | 2,618         | 3      | 100.1  |
| 負債合計    |          | 3,833         | 3,610         | ▲ 223  | 94.2   |
| 資本の部    | 資本金      | 109           | 119           | 10     | 109.5  |
|         | うち繰入資本金  | 12            | 23            | 10     | 184.4  |
|         | うち組入資本金  | 40            | 40            | 0      | 100.0  |
|         | 剰余金      | 2,100         | 2,129         | 29     | 101.4  |
|         | うち利益剰余金  | 1,038         | 1,067         | 29     | 102.8  |
| 資本合計    |          | 2,209         | 2,248         | 40     | 101.8  |
| 負債・資本合計 |          | 6,042         | 5,859         | ▲ 184  | 97.0   |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により6百万円のマイナス、建設工事などの投資活動により0.6億円のマイナス、企業債償還などの財務活動により1.6億円のマイナスとなりました。

年度末時点の資金残高は13.5億円となり、2.3億円のマイナスとなりました。



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |          |
|-----------|---------------|---------------|--------|----------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A   |
| 業務活動によるCF | 82            | ▲ 6           | ▲ 89   | —        |
| うち当年度純利益  | 32            | 29            | ▲ 3    | 90.41    |
| うち減価償却費   | 188           | 186           | ▲ 2    | 99.09    |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 196         | ▲ 187         | 9      | 95.42    |
| 投資活動によるCF | 127           | ▲ 63          | ▲ 190  | —        |
| うち建設改良費   | ▲ 40          | ▲ 237         | ▲ 197  | 598.84   |
| うち国庫補助金   | 0             | 30            | 30     | 皆増       |
| 財務活動によるCF | ▲ 164         | ▲ 156         | 7      | 95.50    |
| うち企業債発行   | 0             | 0             | 0      | —        |
| うち企業債償還金  | ▲ 176         | ▲ 167         | 9      | 94.74    |
| うち一般会計出資金 | 12            | 10            | ▲ 2    | 84.43    |
| 資金増減額     | 45            | ▲ 226         | ▲ 272  | ▲ 496.76 |
| 資金期首残高    | 1,529         | 1,575         | 45     | 102.98   |
| 資金期末残高    | 1,575         | 1,349         | ▲ 226  | 85.65    |

## 5 経営指標

経常収支比率は 107.4%で、健全経営の水準となる 100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は 94.0%で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる 100%を下回っており、構成団体からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

給水原価は 221.9 円で、物価上昇等による費用の増加により、上昇傾向にあります。

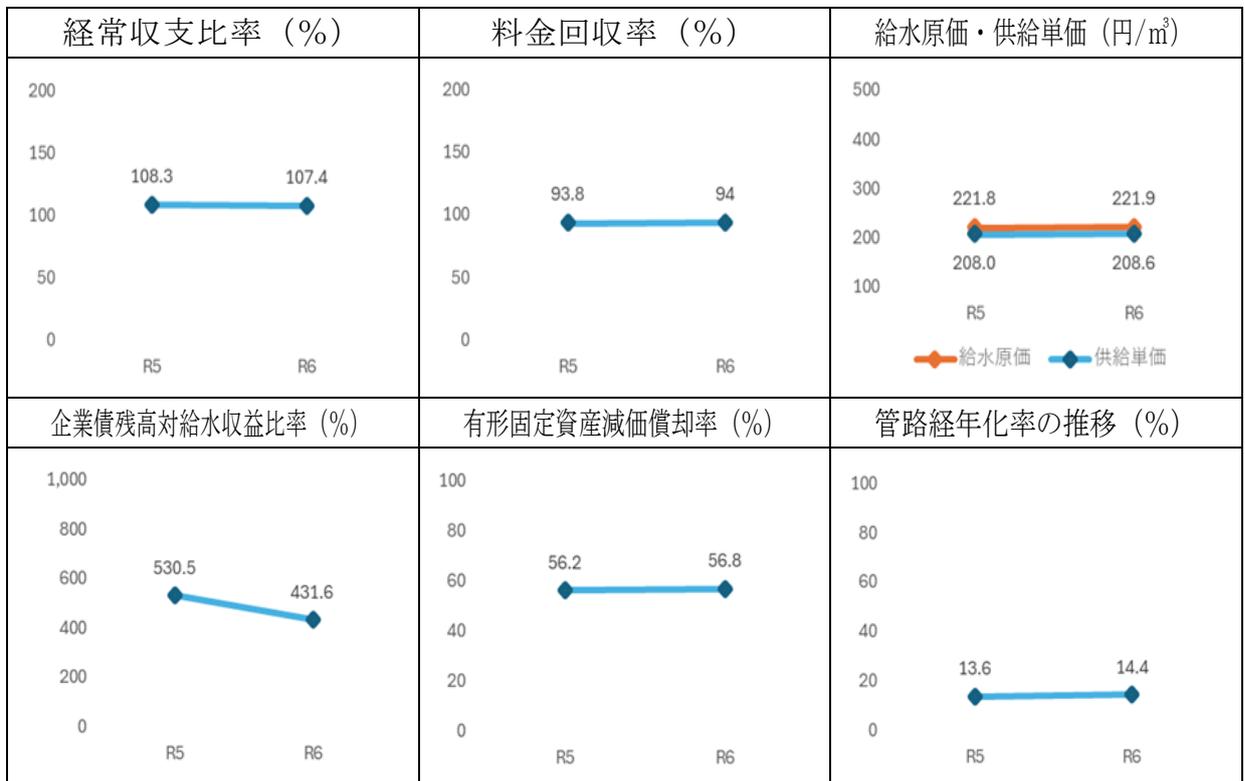
供給単価は 208.6 円で、給水収益の増加により、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は 431.6%で、企業債の償還により、減少しています。

有形固定資産減価償却率は 56.8%で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は 14.4%で、市町水道事業全体の比率と比べて低いものの、今後、更新需要のピークを迎える見込みです。

|                  | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 増減     |
|------------------|---------|---------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 108.3   | 107.4   | ▲ 0.9  |
| 料金回収率 (%)        | 93.8    | 94.0    | 0.2    |
| 給水原価 (円)         | 221.8   | 221.9   | 0.1    |
| 供給単価 (円)         | 208.0   | 208.6   | 0.6    |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 530.5   | 431.6   | ▲ 98.9 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 56.2    | 56.8    | 0.6    |
| 管路経年化率 (%)       | 13.6    | 14.4    | 0.8    |



## ■神石高原町簡易水道事業

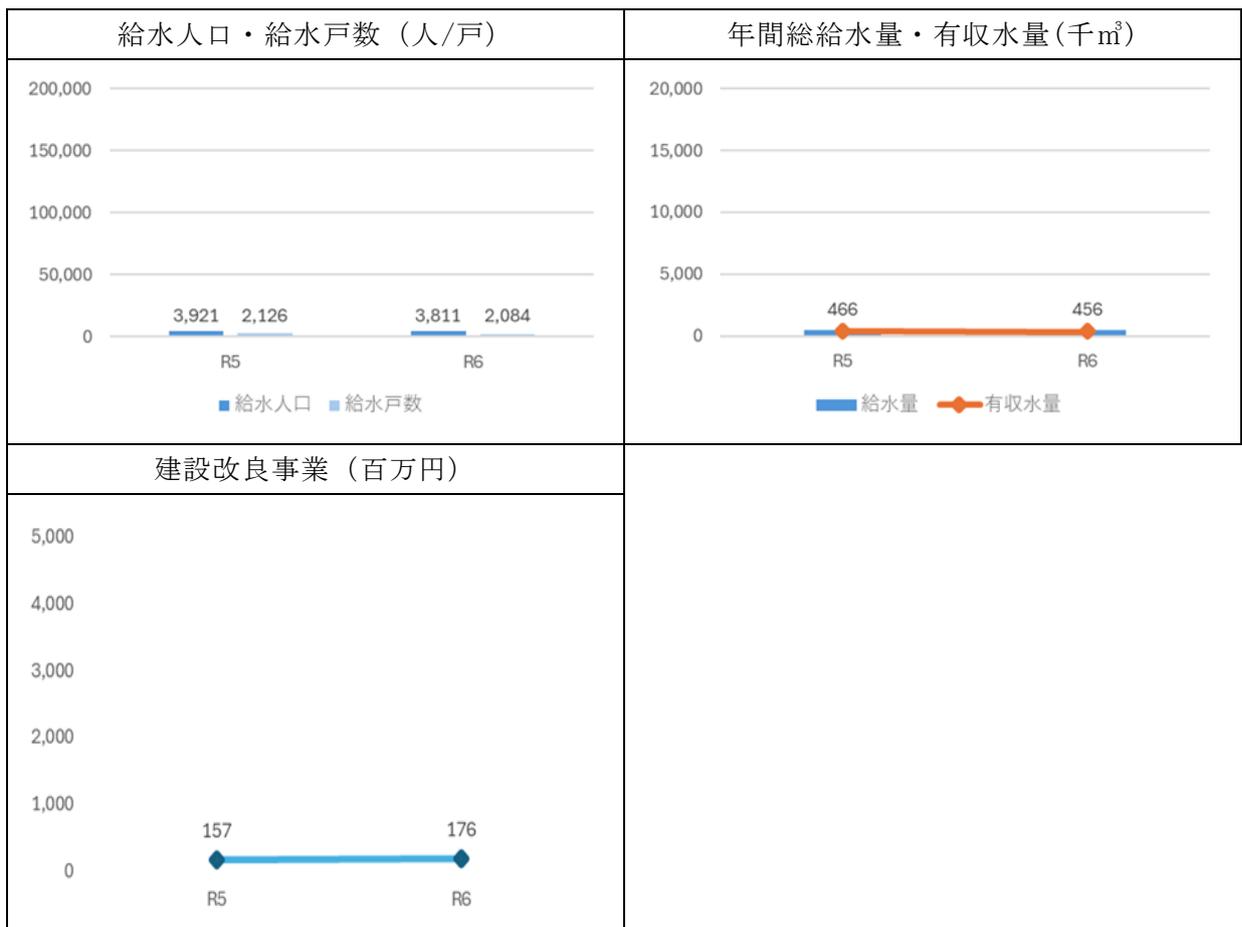
### 1 業務量

令和6年度末の給水人口は3,811人となり、前年度と比べて110人の減少となりました。

年間総給水量は456千 $\text{m}^3$ （1日平均1.3千 $\text{m}^3$ ）となり、給水人口の減少により、前年度と比べて10千 $\text{m}^3$ （1日平均0.0千 $\text{m}^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、高蓋地区簡易水道水道管敷設替工事など1.8億円を執行しており、前年度と比べて0.2億円の増加となりました。

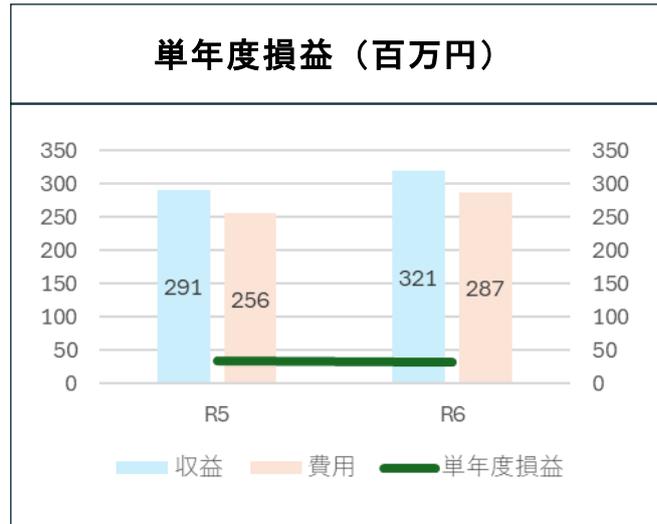
|                         | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減    |
|-------------------------|-------|-------|-------|
| 給水人口（人）                 | 3,921 | 3,811 | ▲ 110 |
| 給水戸数（戸）                 | 2,126 | 2,084 | ▲ 42  |
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 466   | 456   | ▲ 10  |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 422   | 414   | ▲ 8   |
| 建設改良事業（百万円）             | 157   | 176   | 19    |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は0.3億円の黒字となり、前年度と比べて2百万円の減少となりました。

主な要因は、構成団体からの繰入金の増加などにより営業外収益は増加した一方、物価上昇等により維持管理費が増加したためです。



(単位:百万円, %)

| 区分     |         | 令和5年度 | 令和6年度 | 前年度比較  |        |
|--------|---------|-------|-------|--------|--------|
|        |         | 決算 A  | 決算 B  | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益   | a       | 113   | 115   | 1      | 101.3  |
|        | うち給水収益  | 105   | 104   | ▲ 1    | 98.9   |
| 営業費用   | b       | 236   | 275   | 39     | 116.5  |
|        | うち維持管理費 | 101   | 132   | 31     | 130.8  |
| 営業損益   | c=a-b   | ▲ 123 | ▲ 161 | ▲ 38   | 130.5  |
| 営業外収益  | d       | 178   | 206   | 28     | 115.7  |
| 営業外費用  | e       | 13    | 12    | ▲ 1    | 90.2   |
| 経常損益   | f=c+d-e | 42    | 34    | ▲ 8    | 80.2   |
| 特別利益   | g       | 0     | 0     | 0      | —      |
| 特別損失   | h       | 7     | 0     | ▲ 7    | 皆減     |
| 当年度純利益 | f+g+h   | 35    | 34    | ▲ 2    | 95.7   |
| (総収益)  | a+d+g   | 291   | 321   | 29     | 110.1  |
| (総費用)  | b+e+h   | 256   | 287   | 31     | 112.1  |

### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は42.3億円となり、業務活動による現金・預金の増加などにより0.6億円増加しました。

負債は42.9億円となり、国庫補助金収入による繰延収益の増加などにより、0.3億円増加しました。

資本は▲0.5億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加により0.3億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

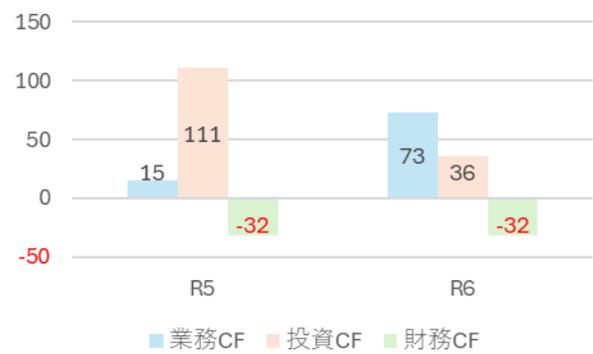
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|---------------|---------------|--------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 3,926         | 3,944         | 18     | 100.5  |
|         | うち有形固定資産 | 3,925         | 3,943         | 18     | 100.5  |
|         | うち無形固定資産 | 1             | 1             | ▲ 0    | 75.0   |
|         | 流動資産     | 248           | 289           | 41     | 116.5  |
|         | うち現金・預金  | 120           | 197           | 77     | 163.6  |
| 資産合計    |          | 4,175         | 4,233         | 59     | 101.4  |
| 負債の部    | 固定負債     | 756           | 718           | ▲ 38   | 95.0   |
|         | うち企業債    | 755           | 717           | ▲ 37   | 95.0   |
|         | 流動負債     | 229           | 248           | 20     | 108.5  |
|         | うち企業債    | 71            | 76            | 5      | 107.1  |
|         | 繰延収益     | 3,278         | 3,321         | 43     | 101.3  |
| 負債合計    |          | 4,262         | 4,287         | 25     | 100.6  |
| 資本の部    | 資本金      | 20            | 20            | 0      | 100.0  |
|         | うち繰入資本金  | 4             | 4             | 0      | 100.0  |
|         | うち組入資本金  | 0             | 0             | 0      | —      |
|         | 剰余金      | ▲ 107         | ▲ 74          | 34     | 68.6   |
|         | うち利益剰余金  | ▲ 112         | ▲ 78          | 34     | 69.9   |
| 資本合計    |          | ▲ 88          | ▲ 54          | 34     | 61.4   |
| 負債・資本合計 |          | 4,175         | 4,233         | 59     | 101.4  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により0.7億円のプラス、建設工事に係る補助金収入などの投資活動により0.4億円のプラス、企業債償還などの財務活動により0.3億円のマイナスとなりました。

年度末時点の資金残高は2.0億円で、0.8億円のプラスとなりました。

キャッシュフローの状況（百万円）



(単位:百万円, %)

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|-----------|---------------|---------------|--------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 15            | 73            | 58     | 480.99 |
| うち当年度純利益  | 35            | 34            | ▲ 2    | 95.74  |
| うち減価償却費   | 136           | 140           | 4      | 103.00 |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 143         | ▲ 131         | 12     | 91.53  |
| 投資活動によるCF | 111           | 36            | ▲ 75   | 32.61  |
| うち建設改良費   | ▲ 51          | ▲ 156         | ▲ 105  | 304.97 |
| うち国庫補助金   | 44            | 55            | 11     | 124.86 |
| 財務活動によるCF | ▲ 32          | ▲ 32          | ▲ 0    | 101.43 |
| うち企業債発行   | 33            | 39            | 6      | 117.88 |
| うち企業債償還金  | ▲ 69          | ▲ 71          | ▲ 2    | 102.94 |
| うち一般会計出資金 | 4             | 0             | ▲ 4    | 皆減     |
| 資金増減額     | 94            | 77            | ▲ 18   | 81.19  |
| 資金期首残高    | 26            | 120           | 94     | 462.43 |
| 資金期末残高    | 120           | 197           | 77     | 163.64 |

## 5 経営指標

經常収支比率は111.8%で、健全経営の水準となる100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は66.4%で、給水に係る費用を給水収益で賄っている状況とされる100%を下回っており、一般会計からの繰入金など、営業外収益に依存している状況となっています。

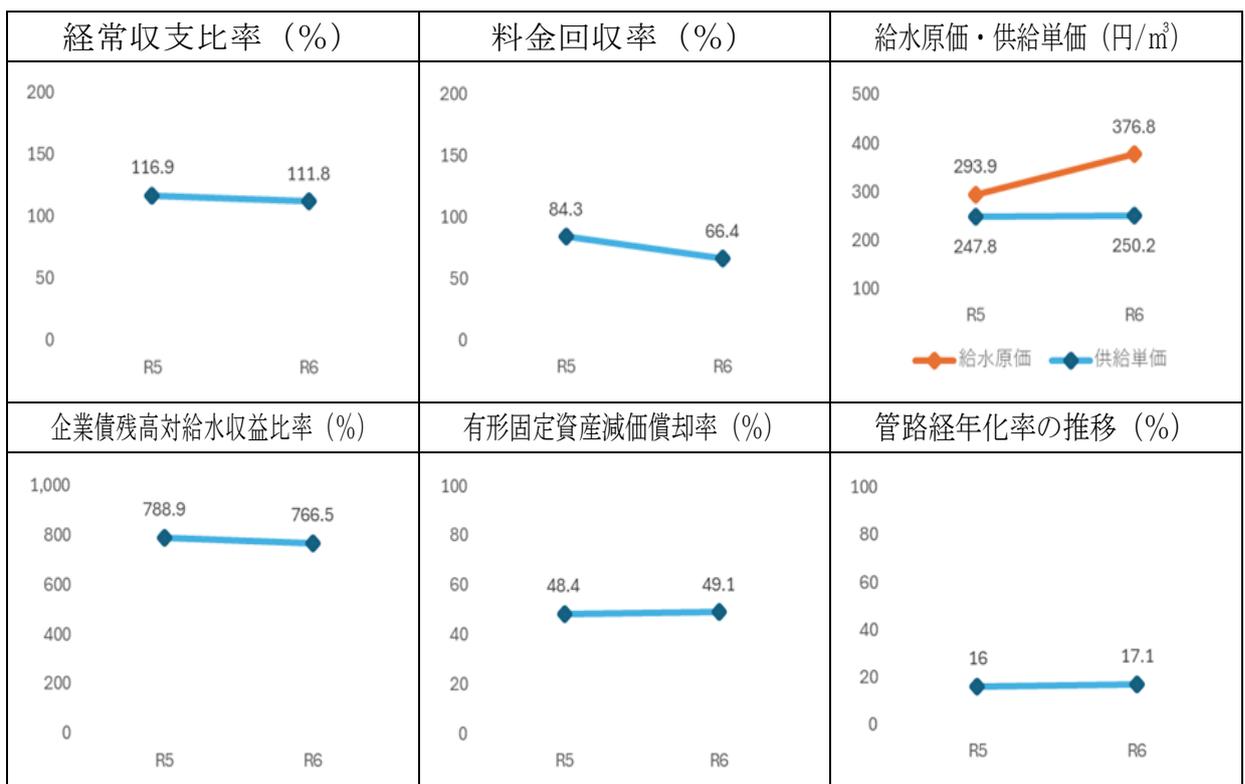
給水原価は376.8円で、物価上昇による費用の増加や給水量の減少に加え、水源の水質調査を実施したことなどにより、大幅に上昇しています。供給単価は250.2円で、給水収益はほぼ横ばいとなった一方、給水量が減少したことにより、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は766.5%で、企業債の償還により、減少しています。

有形固定資産減価償却率は49.1%で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は17.1%で、市町水道事業全体の比率と比べて低いものの、今後、更新需要のピークを迎える見込みです。

|                  | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減     |
|------------------|-------|-------|--------|
| 經常収支比率 (%)       | 116.9 | 111.8 | ▲ 5.1  |
| 料金回収率 (%)        | 84.3  | 66.4  | ▲ 17.9 |
| 給水原価 (円)         | 293.9 | 376.8 | 82.9   |
| 供給単価 (円)         | 247.8 | 250.2 | 2.4    |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 788.9 | 766.5 | ▲ 22.4 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 48.4  | 49.1  | 0.7    |
| 管路経年化率 (%)       | 16.0  | 17.1  | 1.1    |



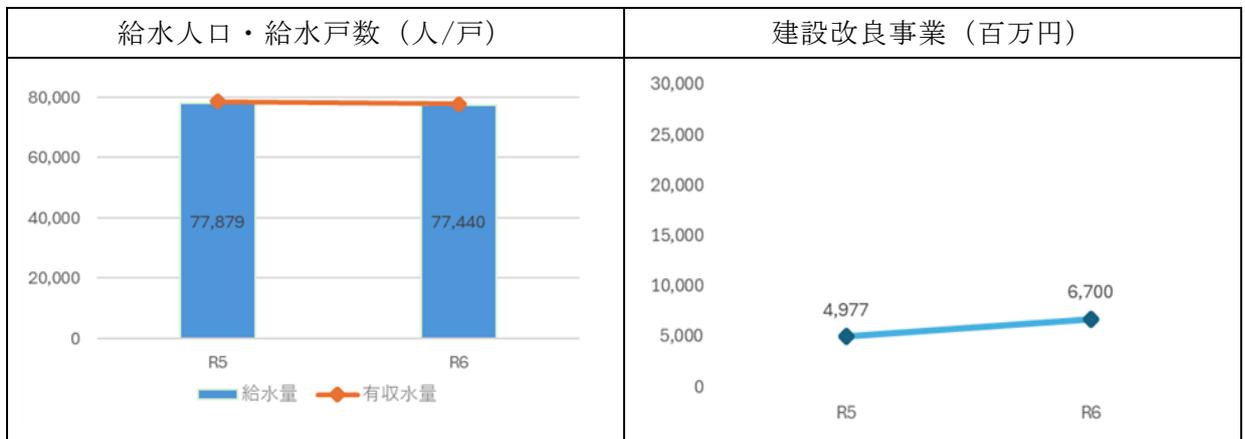
## ■水道用水供給事業

### 1 業務量

年間総給水量は77,440千 $\text{m}^3$ （1日平均212.2千 $\text{m}^3$ ）となり、前年度と比べて439千 $\text{m}^3$ （1日平均1.2千 $\text{m}^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、瀬野川浄水場中央監視設備等更新工事など67.0億円（受託工事費を除く。）を執行しており、前年度と比べて17.2億円の増加となりました。

|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減    |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 77,879 | 77,440 | ▲ 439 |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 78,582 | 77,770 | ▲ 812 |
| 建設改良事業（百万円）             | 4,977  | 6,700  | 1,723 |

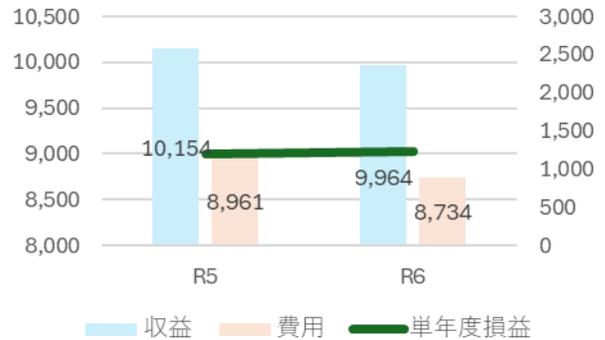


## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は12.3億円の黒字となり、前年度と比べて0.4億円の増額となりました。

主な要因としては、給水量の減少により給水収益が減少した一方で、動力費の減少により維持管理費が減少したためです。

単年度損益（百万円）



(単位:百万円, %)

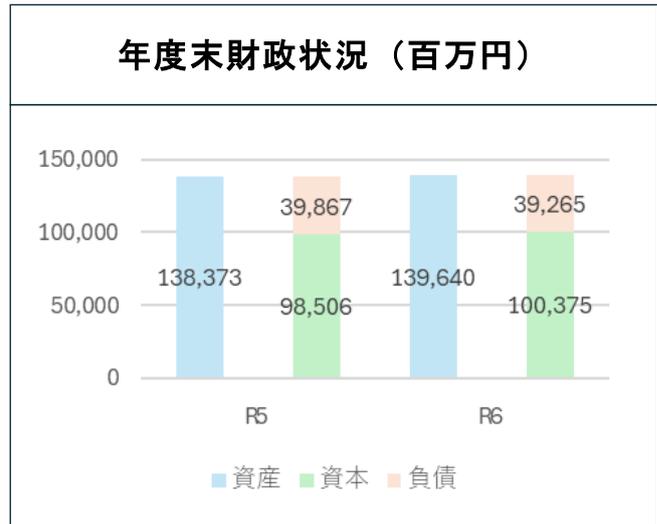
| 区分           | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較  |        |
|--------------|---------------|---------------|--------|--------|
|              |               |               | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益 a       | 8,961         | 8,877         | ▲ 84   | 99.1   |
| うち給水収益       | 8,908         | 8,823         | ▲ 85   | 99.0   |
| 営業費用 b       | 8,702         | 8,514         | ▲ 188  | 97.8   |
| うち維持管理費      | 4,625         | 4,548         | ▲ 77   | 98.3   |
| 営業損益 c=a-b   | 259           | 363           | 103    | 139.9  |
| 営業外収益 d      | 1,193         | 1,087         | ▲ 106  | 91.2   |
| 営業外費用 e      | 259           | 220           | ▲ 39   | 85.0   |
| 経常損益 f=c+d-e | 1,193         | 1,230         | 37     | 103.1  |
| 特別利益 g       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 特別損失 h       | 0             | 0             | 0      | —      |
| 当年度純利益 f+g+h | 1,193         | 1,230         | 37     | 103.1  |
| (総収益) a+d+g  | 10,154        | 9,964         | ▲ 190  | 98.1   |
| (総費用) b+e+h  | 8,961         | 8,734         | ▲ 227  | 97.5   |

### 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は1,396.4億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度と比べて12.7億円増加しました。

負債は392.7億円となり、企業債の償還などにより6.0億円減少しました。

資本は1,003.8億円となり、構成団体からの出資金などにより、18.7億円増加しました。



(単位:百万円, %)

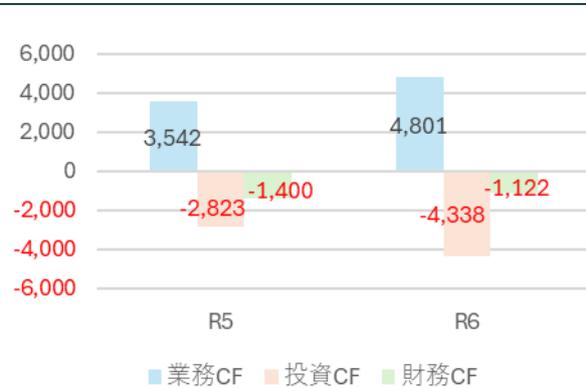
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較   |        |
|---------|----------|---------------|---------------|---------|--------|
|         |          |               |               | 増減 B-A  | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 113,966       | 116,260       | 2,294   | 102.0  |
|         | うち有形固定資産 | 91,536        | 94,705        | 3,169   | 103.5  |
|         | うち無形固定資産 | 22,380        | 21,505        | ▲ 875   | 96.1   |
|         | 流動資産     | 24,408        | 23,381        | ▲ 1,027 | 95.8   |
|         | うち現金・預金  | 22,075        | 21,416        | ▲ 659   | 97.0   |
| 資産合計    |          | 138,373       | 139,640       | 1,267   | 100.9  |
| 負債の部    | 固定負債     | 11,180        | 9,727         | ▲ 1,454 | 87.0   |
|         | うち企業債    | 10,237        | 8,633         | ▲ 1,604 | 84.3   |
|         | 流動負債     | 6,177         | 6,740         | 563     | 109.1  |
|         | うち企業債    | 1,837         | 1,679         | ▲ 157   | 91.4   |
|         | 繰延収益     | 22,510        | 22,798        | 288     | 101.3  |
| 負債合計    |          | 39,867        | 39,265        | ▲ 602   | 98.5   |
| 資本の部    | 資本金      | 74,409        | 78,191        | 3,782   | 105.1  |
|         | うち繰入資本金  | 30,686        | 31,325        | 639     | 102.1  |
|         | うち組入資本金  | 43,723        | 46,866        | 3,143   | 107.2  |
|         | 剰余金      | 24,098        | 22,184        | ▲ 1,913 | 92.1   |
|         | うち利益剰余金  | 19,996        | 18,082        | ▲ 1,913 | 90.4   |
| 資本合計    |          | 98,506        | 100,375       | 1,869   | 101.9  |
| 負債・資本合計 |          | 138,373       | 139,640       | 1,267   | 100.9  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により48.0億円のプラス、建設工事などの投資活動により43.4億円のマイナス、企業債償還などの財務活動により11.2億円のマイナスとなりました。

年度末時点の資金残高は214.2億円で、6.6億円のマイナスとなりました。

キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算 A | 令和6年度<br>決算 B | 前年度比較   |        |
|-----------|---------------|---------------|---------|--------|
|           |               |               | 増減 B-A  | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 3,542         | 4,801         | 1,259   | 135.5  |
| うち当年度純利益  | 1,193         | 1,230         | 37      | 103.1  |
| うち減価償却費   | 3,996         | 3,879         | ▲ 117   | 97.1   |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 914         | ▲ 782         | 132     | 85.6   |
| 投資活動によるCF | ▲ 2,823       | ▲ 4,338       | ▲ 1,515 | 153.7  |
| うち建設改良費   | ▲ 3,780       | ▲ 5,600       | ▲ 1,821 | 148.2  |
| うち国庫補助金   | 899           | 1,170         | 271     | 130.1  |
| 財務活動によるCF | ▲ 1,400       | ▲ 1,122       | 277     | 80.2   |
| うち企業債発行   | 28            | 75            | 47      | 265.5  |
| うち企業債償還金  | ▲ 1,975       | ▲ 1,837       | 139     | 93.0   |
| うち一般会計出資金 | 547           | 639           | 91      | 116.7  |
| 資金増減額     | ▲ 681         | ▲ 659         | 21      | 96.9   |
| 資金期首残高    | 22,756        | 22,075        | ▲ 681   | 97.0   |
| 資金期末残高    | 22,075        | 21,416        | ▲ 659   | 97.0   |

## 5 経営指標

経常収支比率は114.1%で、健全経営の水準となる100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。料金回収率は111%で、給水に係る費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を上回っており、健全な経営が確保できています。

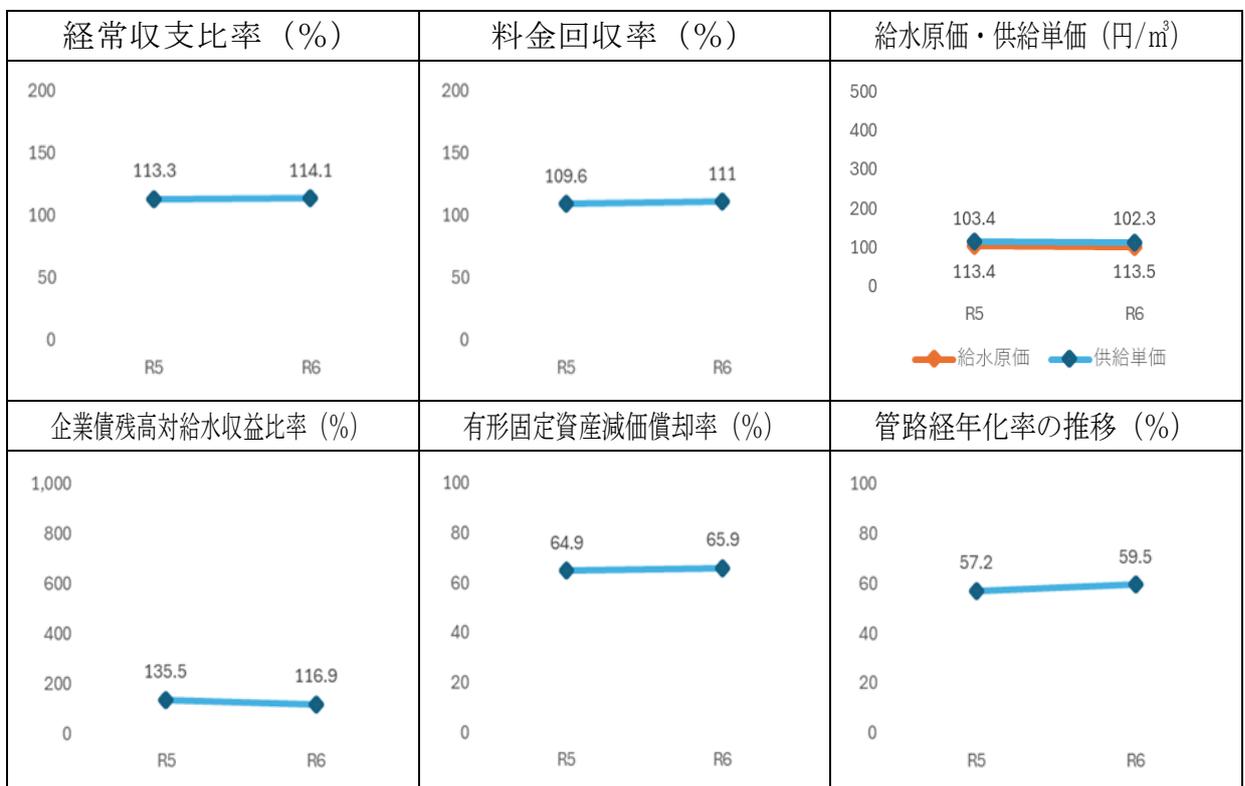
給水原価102.3円で、維持管理費の減少により、減少しています。供給単価は113.5円で、前年度と同程度の水準となっています。

企業債残高対給水収益比率は116.9%で、企業債の償還により、減少しています。

有形固定資産減価償却率は65.9%で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は59.5%で、昭和40年代から50年代に敷設した管路が多く、老朽化が進行しています。

|                  | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減     |
|------------------|-------|-------|--------|
| 経常収支比率 (%)       | 113.3 | 114.1 | 0.7    |
| 料金回収率 (%)        | 109.6 | 111.0 | 0.4    |
| 給水原価 (円)         | 103.4 | 102.3 | ▲ 1.1  |
| 供給単価 (円)         | 113.4 | 113.5 | ▲ 0.1  |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 135.5 | 116.9 | ▲ 18.6 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 64.9  | 65.9  | 1.0    |
| 管路経年化率 (%)       | 57.2  | 59.5  | 2.3    |



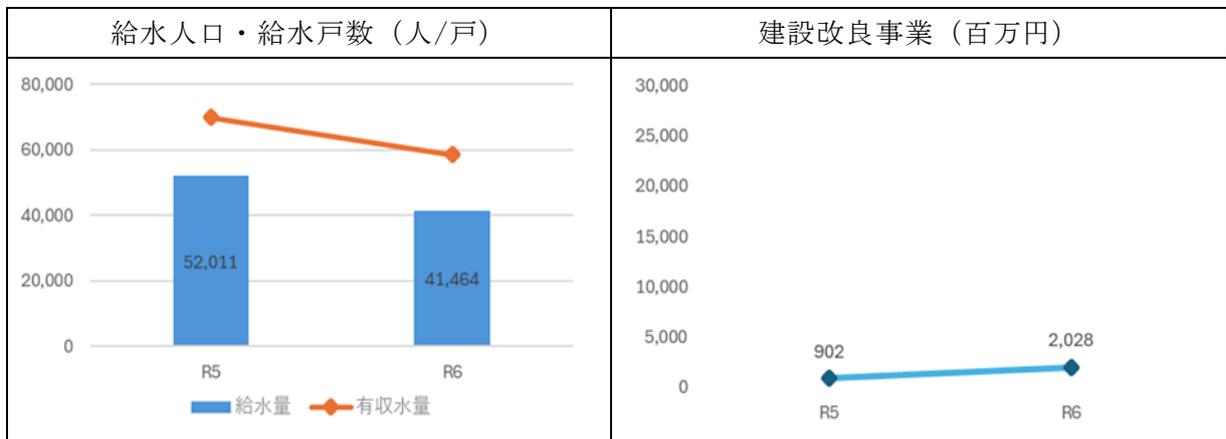
## ■工業用水道事業

### 1 業務量

年間総給水量は 41,464 千 $\text{m}^3$ （1日平均 113.6 千 $\text{m}^3$ ）となり、大口受水企業の撤退に伴い、前年度と比べて 10,547 千 $\text{m}^3$ （1日平均 28.9 千 $\text{m}^3$ ）の減少となりました。

建設改良事業は、東部配水支線管路更新工事など 20.3 億円（受託工事費を除く。）を執行しており、前年度と比べて 11.3 億円の増加となりました。

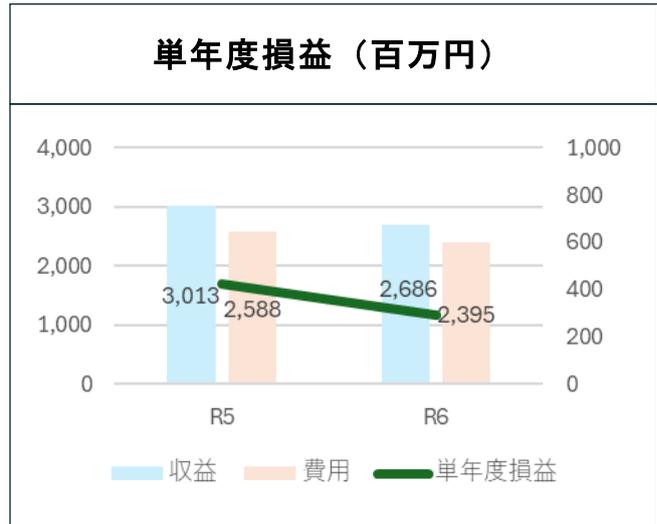
|                         | 令和5年度  | 令和6年度  | 増減       |
|-------------------------|--------|--------|----------|
| 年間総給水量（千 $\text{m}^3$ ） | 52,011 | 41,464 | ▲ 10,547 |
| 有収水量（千 $\text{m}^3$ ）   | 69,856 | 58,513 | ▲ 11,343 |
| 建設改良事業（百万円）             | 902    | 2,028  | 1,126    |



## 2 損益計算書

令和6年度の単年度損益は2.9億円の黒字となり、前年度と比べて1.3億円の減少となりました。

主な要因としては、動力費の減少により維持管理費が減少した一方、大口受水企業の撤退に伴う給水量減少により給水収益が減少したためです。



（単位：百万円，％）

| 区分     |         | 令和5年度<br>決算A | 令和6年度<br>決算B | 前年度比較  |        |
|--------|---------|--------------|--------------|--------|--------|
|        |         |              |              | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 営業収益   | a       | 2,633        | 2,341        | ▲ 292  | 88.9   |
|        | うち給水収益  | 1,980        | 1,742        | ▲ 238  | 88.0   |
| 営業費用   | b       | 2,495        | 2,306        | ▲ 189  | 92.4   |
|        | うち維持管理費 | 1,866        | 1,690        | ▲ 177  | 90.5   |
| 営業損益   | c=a-b   | 139          | 35           | ▲ 104  | 25.4   |
| 営業外収益  | d       | 379          | 341          | ▲ 39   | 89.8   |
| 営業外費用  | e       | 93           | 89           | ▲ 4    | 95.7   |
| 経常損益   | f=c+d-e | 425          | 287          | ▲ 138  | 67.5   |
| 特別利益   | g       | 0            | 5            | 5      | 皆増     |
| 特別損失   | h       | 0            | 0            | 0      | —      |
| 当年度純利益 | f+g+h   | 425          | 291          | ▲ 134  | 68.6   |
| (総収益)  | a+d+g   | 3,013        | 2,686        | ▲ 326  | 89.2   |
| (総費用)  | b+e+h   | 2,588        | 2,395        | ▲ 193  | 92.6   |

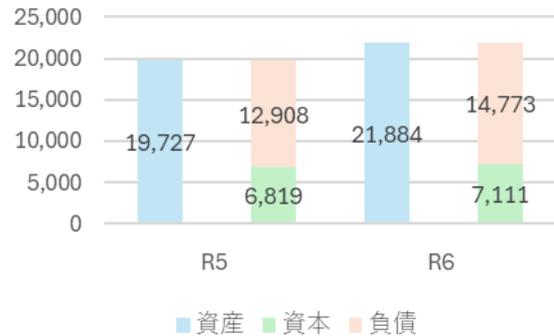
## 3 貸借対照表

令和6年度末時点の資産は218.8億円となり、建設改良事業による有形固定資産の増加などにより、前年度より21.6億円増加しました。

負債は147.7億円となり、企業債の発行などにより18.7億円増加しました。

資本は71.1億円となり、当年度純利益の計上に伴う剰余金の増加などにより、2.9億円増加しました。

年度末財政状況（百万円）



(単位:百万円, %)

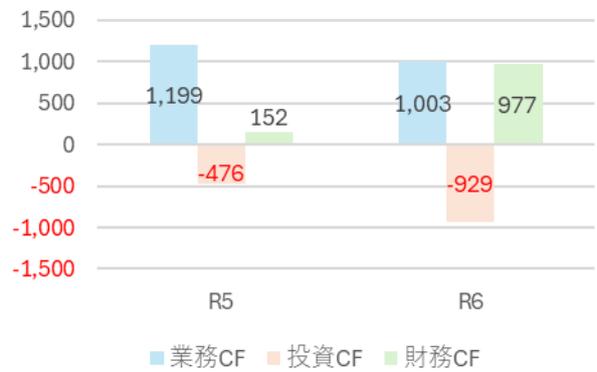
| 区分      |          | 令和5年度<br>決算A | 令和6年度<br>決算B | 前年度比較  |        |
|---------|----------|--------------|--------------|--------|--------|
|         |          |              |              | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 資産の部    | 固定資産     | 14,908       | 16,155       | 1,247  | 108.4  |
|         | うち有形固定資産 | 14,779       | 16,042       | 1,263  | 108.5  |
|         | うち無形固定資産 | 129          | 113          | ▲ 16   | 87.8   |
|         | 流動資産     | 4,819        | 5,728        | 909    | 118.9  |
|         | うち現金・預金  | 4,266        | 5,317        | 1,051  | 124.6  |
| 資産合計    |          | 19,727       | 21,884       | 2,156  | 110.9  |
| 負債の部    | 固定負債     | 9,311        | 10,367       | 1,056  | 111.3  |
|         | うち企業債    | 8,611        | 9,632        | 1,021  | 111.9  |
|         | 流動負債     | 1,947        | 2,582        | 636    | 132.7  |
|         | うち企業債    | 638          | 627          | ▲ 11   | 98.3   |
|         | 繰延収益     | 1,650        | 1,823        | 173    | 110.5  |
| 負債合計    |          | 12,908       | 14,773       | 1,865  | 114.4  |
| 資本の部    | 資本金      | 7,631        | 7,631        | 0      | 100.0  |
|         | うち繰入資本金  | 254          | 254          | 0      | 100.0  |
|         | うち組入資本金  | 7,378        | 7,378        | 0      | 100.0  |
|         | 剰余金      | ▲ 812        | ▲ 521        | 291    | 64.1   |
|         | うち利益剰余金  | ▲ 1,434      | ▲ 1,142      | 291    | 79.7   |
| 資本合計    |          | 6,819        | 7,111        | 291    | 104.3  |
| 負債・資本合計 |          | 19,727       | 21,884       | 2,156  | 110.9  |

## 4 キャッシュフロー計算書

令和6年度のキャッシュフローは、業務活動により10.0億円のプラス、建設工事などの投資活動により9.3億円のマイナス、企業債発行などの財務活動により9.8億円のプラスとなりました。

年度末時点の資金残高は53.2億円で、10.5億円のプラスとなりました。

## キャッシュフローの状況（百万円）



（単位：百万円，％）

| 区分        | 令和5年度<br>決算A | 令和6年度<br>決算B | 前年度比較  |        |
|-----------|--------------|--------------|--------|--------|
|           |              |              | 増減 B-A | 比率 B/A |
| 業務活動によるCF | 1,199        | 1,003        | ▲ 195  | 83.7   |
| うち当年度純利益  | 425          | 291          | ▲ 134  | 68.6   |
| うち減価償却費   | 623          | 607          | ▲ 16   | 97.4   |
| うち長期前受金戻入 | ▲ 96         | ▲ 92         | 4      | 95.8   |
| 投資活動によるCF | ▲ 476        | ▲ 929        | ▲ 453  | 195.2  |
| うち建設改良費   | ▲ 522        | ▲ 1,263      | ▲ 741  | 241.8  |
| うち国庫補助金   | 0            | 233          | 233    | 皆増     |
| 財務活動によるCF | 152          | 977          | 825    | 642.0  |
| うち企業債発行   | 838          | 1,648        | 810    | 196.7  |
| うち企業債償還金  | ▲ 652        | ▲ 638        | 14     | 97.8   |
| うち一般会計出資金 | 0            | 0            | 0      | -      |
| 資金増減額     | 875          | 1,051        | 176    | 120.2  |
| 資金期首残高    | 3,391        | 4,266        | 875    | 125.8  |
| 資金期末残高    | 4,266        | 5,317        | 1,051  | 124.6  |

## 5 経営指標

経常収支比率は112.0%で、健全経営の水準となる100%を上回っており、堅調な経営を維持しています。一方、料金回収率は75.6%で、給水に係る費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を下回っているが、費用には、水道用水供給事業などから管理を受託している共同施設の維持管理費用が含まれており、管理受託に係る費用を除くと98.55%で、概ね費用を給水収益で賄えている状況となっています。

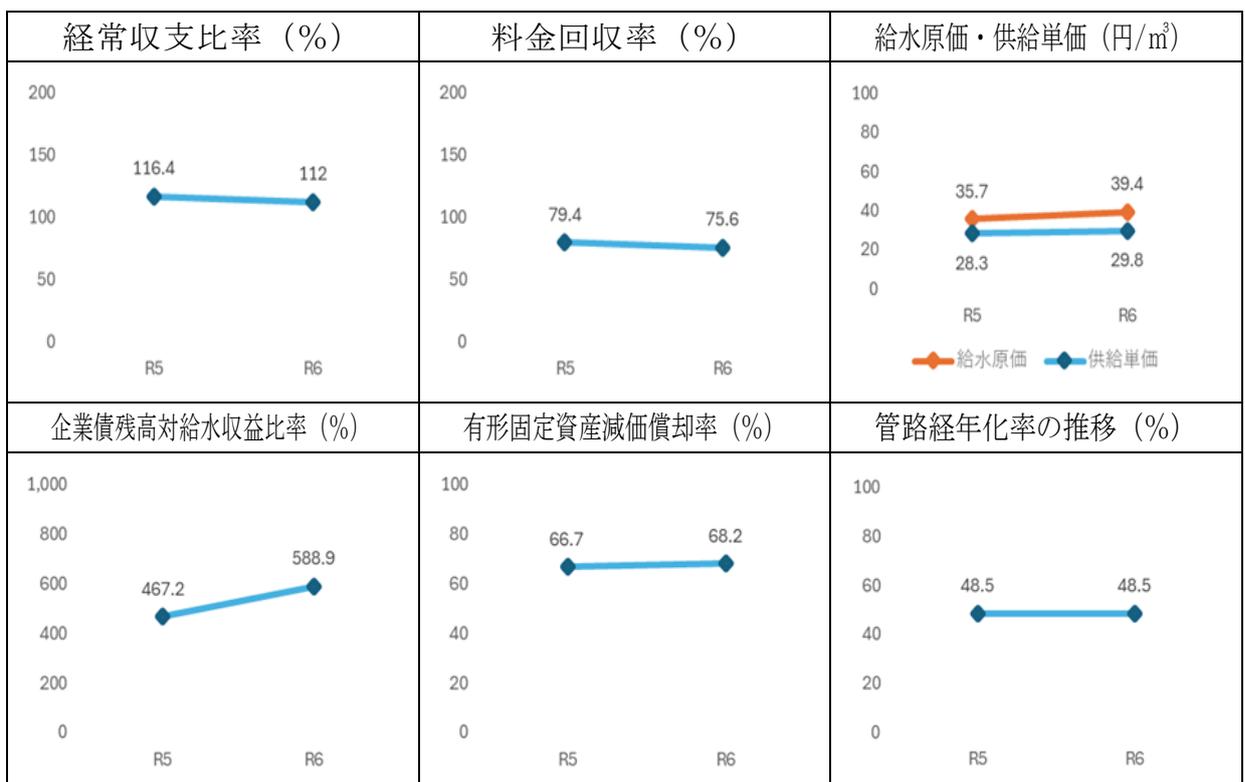
給水原価は39.4円、供給単価は29.8円で、給水量の減少により、上昇しています。

企業債残高対給水収益比率は588.9%で、施設の更新などの建設改良事業の実施により増加傾向にあります。

有形固定資産減価償却率は68.2%で、資産の老朽化が進行しています。

管路経年化率は48.5%で、昭和30年代から40年代に敷設した管路が多く、老朽化が進行しています。

|                  | 令和5年度 | 令和6年度 | 増減    |
|------------------|-------|-------|-------|
| 経常収支比率 (%)       | 116.4 | 112.0 | ▲ 4.4 |
| 料金回収率 (%)        | 79.4  | 75.6  | ▲ 3.8 |
| 給水原価 (円)         | 35.7  | 39.4  | 3.7   |
| 供給単価 (円)         | 28.3  | 29.8  | 1.5   |
| 企業債残高対給水収益比率 (%) | 467.2 | 588.9 | 467.2 |
| 有形固定資産減価償却率 (%)  | 66.7  | 68.2  | 1.5   |
| 管路経年化率 (%)       | 48.5  | 48.5  | 0.0   |



# 令和 6 年度活動報告書(アニュアルレポート)

---

令和8年3月

広島県水道広域連合企業団企画課

〒730-0011 広島市中区基町 10 番 52 号(広島県庁南館)  
TEL 050-3785-2810